

教育部 浦見宮子 小女部 寺田三千代
河本久仁江 事務部 半田光子
ミス、アングーソン

資産(種目別)
幹事器具其他物品 三千圓

維持方法
會費、寄附金、各部收入、隨時ノ催物ニ依ル收益ニヨル

昭和二年年度決算額 歳入 九、四六〇、〇〇
昭和二年年度決算額 歳出 七、四九四、〇〇六
昭和三年年度決算額 歳入 一〇、六四〇、五〇
昭和三年年度決算額 歳出 七、四五二、四五

名稱 明石自慶會

事務所所在地 明石市樽屋町一丁目二十番地
創設年月日 大正九年四月

經營主體又ハ代表者 代表者 加藤清登
沿革概要

近年世路逼迫人情浮偽動モスレハ社會頹廢ノ懼レアルヲ憂ヒ、之ヲ救フノ道精神修養教化普及ニアルヲ惟ヒ、大正八年九月ヨリ同九年四月本會設立之ニ至ル間發起者間ニ於テシハ、講演會等ヲ開催シテ一般ノ精神修養思想善導ニ努メ其間有志相諮リテ東京自慶會本部ノ本多日生氏ニ交渉ヲ遂ケ大正九年四月自慶會明石支部ヲ設立シ約百五十名ノ會員ヲ得爾來時ニ大家ヲ招キテ修養講演會ヲ開キ講師ヲ選定シテ出張講演ヲ爲サシメタリ、昭和三年十月二十三日第七回總會ニ於テ名稱ヲ明石自慶會ト改メ内容ヲ整備シ今ヤ會員ノ數百七十二名ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 健全ナル國民精神ヲ啓培シ德性ヲ涵養シ思想ヲ善導スルヲ以テ目的トス
ロ、事業 一、講演會ヲ開催スルコト

一、講師ヲ派遣シテ出張講演ヲ爲スコト
二、會報ヲ發行スルコト
三、會費總數 一七二名

內譯

明石市 一六一名 明石郡 八名
神戸市 二名 東京府 一名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員
會長 加藤清登
評議員 二口泰 一 外二十一
口、職員
幹事 坂本豊彦 外四名

資産(種目別)

一、銀行預金 百九十八圓八十錢

維持方法

會費、寄附金、其他ノ收入

昭和二年年度決算額 歳入 三九一、六一
昭和二年年度決算額 歳出 一九八、一一
昭和三年年度決算額 歳入 四一三、五〇
昭和三年年度決算額 歳出 一〇、六四〇、五〇

名稱 神戸佛教聯合會

事務所所在地 神戸市北逆瀬川町能福寺内
創設年月日 大正九年七月二十九日

經營主體又ハ代表者 代表者 雲井行善
沿革概要

大正九年九月十二日發會式ヲ舉行
大正十一年十一月佛教聯合會慈友會ヲ創設續イテ少年部ヲ設ケ今日ニ至ル。

目的及事業種類

目的 本會ハ佛教ノ本旨ニ依リ世界ノ文化ニ貢獻シ國民ノ精神ヲ振作統一シ尊皇護國濟世利民ノ

爲メニ盡スヲ以テ目的トス

會員數及分布狀況

會員數 百五十七名

神戸市在住ノ寺院及説教所

主ナル役職名並其氏名

會長 雲井行善
 副會長 大海元秀 新聞智啓
 常務理事 本川曉圓 林 義昌
 會計 小野田愨成
 監査 岡田實範 明石教道
 慈友會常務 山森順祐
 少年部主事 波來谷乘勝

資産(種目別)

少年保護所、天主谷學園建物

維持方法

會費及會員ノ臨時寄附金等

昭和二年度決算額 歳入 二、六八八、二〇〇
歳出 二、六一七、二〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

一、金三百圓 昭和二年二月十日 御下賜金
 一、金百七十圓 昭和二年十二月九日 司法省ヨリ
 一、金三百圓 昭和三年二月十一日 御下賜金

名稱 出石郡佛教各宗聯合會

事務所々在地 出石郡出石町吉祥寺内

創設年月日 大正十年六月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 伊藤 禪 優

沿革概要

從前ヨリ出石町寺院懇話會ナルモノアリ、之ヲ擴大シテ
 郡内一般寺院ニ示シタルハ明治三十年頃ナリ、大正十年
 ニ至リ尼庵ヲ加ヘ出石郡佛教各宗聯合會ハ改メ各町村及

學校ト提携シ然シテ昭和三年十月二十三日教化團體兵庫

縣聯合會ニ加盟シ今日ニ至ル。

目的及事業種類

イ、目的 各宗協同一致、思想善導
 ロ、事業 風教問題、青年指導、婦人問題、勞資問題、
 部落改善、勤儉獎勵、其他必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

出石郡ニ曹洞、臨濟、淨土、眞宗、眞言、日蓮ノ六宗アリ、寺
 院四十七ヶ寺尼庵十五庵アリ、丁年以上ノ僧侶ヲ以テ會員トシ
 出石郡中ニ散在ス

主ナル役職名並其氏名

理事 伊藤 禪 優 (會長)
 同 河村 宗 定 (會計)
 評議員 金谷正哲 同 三好能淳
 同 末澤龍雄 同 森本俊哲

維持方法

寺院住職人ノ負擔トス

昭和二年度決算額 歳入 二二〇、八〇

昭和二年度決算額 歳入 二二二、八〇

昭和二年度決算額 歳出 一八五、五三

昭和三年度決算額 歳入 二二二、八〇

備考

本會ニハ會長ヲ置カス理事二名ノ内一名ヲ會長ニ代フ
 外ニ臨時講師若干名ヲ互選ス

名稱 加古川町四恩會

事務所々在地 加古郡加古川町篠原町善照寺内

創設年月日 大正十一年十一月七日

經營主體又ハ代表者 代表者 北村 義 照

沿革概要

本會ハ豫テ町内各寺住職集リテ思想善導町風振興ニ關シ
 タル事業ヲナスヘク計畫中幸ニ小山町長ヨリ提議サレシ

ヲ以テ之ヲ好機トシテ小山町長援助ノ下ニ本會ヲ設立シ其ノ第一歩トシテ托鉢ヲナシ其ノ收獲ノ寄捨金ヲ基本トシテ第一回講演會ニ福來友吉博士ヲ招聘シテ發會式ヲ開クニ至ル維時大正十一年十一月七日ナリ爾來今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ通佛敎主義ニヨリテ報恩觀念ヲ標識ト

シ國民精神ノ剛健、宗敎的信念ノ發揚ニ努メ

治世和平ノ實ヲ舉クルヲ目的トス

ロ、事業 一、講演、屋內及路傍 二、文書宣傳ハ報

恩ヒラト稱スル印刷物ヲ毎月町内各戸ニ

配布ス、毎年釋尊降誕ノ花祭ニハ學童ニ

童話ヲ爲シ雜誌ヲ施與ス

主ナル役職名並其氏名

本會ハ會長其ノ他ノ役員ヲ置カス各寺住職交互ニ事務一切ヲ處理ス事務擔當ノ任期ハ一ケ年トス他ノ三ヶ寺住職及ヒ寺族等ハ之ヲ補佐ス

維持方法

毎年春秋二期托鉢ニ巡回シテ得タル喜捨金ト町役場ヨリノ補助

金トニヨリテ維持ス

昭和二年年度豫算額	歳入	三二〇、〇〇
	歳出	三二〇、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入	二八〇、〇〇
	歳出	二八〇、〇〇
昭和三年年度豫算額	歳入	三五〇、〇〇
	歳出	三一〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

加古川町役場ヨリ一ケ年一百五十圓ノ補助金ヲ受ク

名稱 神戸參陵會

事務所々在地 神戸市宮本通三丁目七番地(筒井八幡神社

内)

創設年月日 大正十一年十一月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 黒瀬弘志

沿革概要

我帝國ノ敎ヲ立ツルヤ忠孝ヲ以テ基トスルハ茲ニ論ヲ俟タス、既ニコノ立敎ノ基礎アリ、臣子ヲシテ常ニ敬始尊本ノ念ヲ涵養シ以テ忠孝ノ精神ヲ充實セシメサルヘカラス夫レ敬始尊本ノ涵養ノ法タル固ヨリ一ナラスト雖モ歴朝ノ天皇其祖宗ニ奉シ給フノ敬旨ヲ奉體シ列聖ノ山陵ヲ順拜スルハ其良法ノ最タルモノナリ乃チ身心ヲ淨メ親シク現地ニ莅ミ一タヒ陵前ニ拜跪セハ恰モ古先帝王ニ咫尺シ奉リ其萬感ニ觸ル、カ如ク、敬虔ノ念油然而シテ湧起シ眞ニ帝國臣民タルノ念滿身ニ滂沱タルヲ覺ユ本會ハ此ノ目的ヲ以テ大正十一年十一月三日創立シ其當時ハ無會費ナリシモ却テ愛會ノ念乏シク斯クテハ不敬ノ行爲ヲ敢ヘテスルモノナキヤヲ憂ヒ大正十二年四月ヨリ月額貳拾錢ノ會費ヲ徴シ昔ノ跡ナル小冊子ヲ刊行配付シ尙大正十三年四月ヨリ會費ヲ増額シテ一面會ノ財政ヲ鞏固ナラシムルコトニセリ、然シテ今日迄ニ促シタル例會ノ回ヲ重

ナルコト五十一講演會ヲ開キ文書ノ宣傳等ヲナシタルコト數回ニ及ヘリ

目的及事業種類

イ、目的 皇陵ヲ巡拜シ皇室尊崇ノ道念ヲ増進シ國民思

想ノ向上ニ資スルヲ目的トス

ロ、事業 毎年六回例會ヲ開キテ皇陵並ニ神社佛閣ヲ巡

拜シテ史蹟名所ヲ探リ併テ「古キヲ訪ネテ」ナ

ル會報ヲ發行頒布又尙時宜講演會文書ニ依ル

思想宣傳等ヲナス

會員數及分布狀況

現在會員 三百五名

其ノ大部分ハ神戸市内在住者ニシテ一部分ハ縣下各市郡及大阪

京都方面ニ亙ル

主ナル役職名並其氏名

會長 神戸市長 黒瀬弘志

幹事 小野清人 岡和田陽三

同	大隅眞次	同	大西大藏
同	村角司馬	同	梅田徳太郎
同	齋藤千代吉	同	阿郎鎮作
同	法泉寺基	同	押久保庚次郎
同	窪田恒太郎	同	名田直吉
同	吉本甚八郎	同	金田靜太郎
同	太田直三郎	同	鎌田虎彦
同	山口賢治郎	同	石本杉太郎
同	吉井專三	同	宮得三

資産(種目別)
器具什器並ニ圖書 約一千五百圓
印刷物 約三千五百圓
維持方法
會員ノ會費並ニ篤志者ノ寄附金品

昭和二年度決算額	歳入	一、〇〇〇、〇〇〇 ^円
	歳出	九二七、四〇〇
昭和二年度決算額	歳入	九〇八、四八
	歳出	九〇八、四八

昭和三年度決算額 歳入) 一、五〇〇、〇〇〇^円
備考

本會編纂ノ陵萬一覽五百部(實費一千圓)
昭和大典紀念トシテ圖書館學校等へ寄贈ス

名稱 赤穂義士會

事務所々在地 兵庫縣赤穂郡赤穂町東組二、〇六一番地ノ一

(元郡役所内)

創設年月日 大正十一年十一月二十一日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 會員組織

口、代表者 子爵 森 忠 恕

沿革概要

明治二十八年ヨリ花岳寺ニ於テ義士討入當夜即チ十二月十四日有志相集ヒ徹宵義士義舉ノ模様ヲ偲ヒ義士ノ壯烈

ヲ追慕シタルモ逐年参加スルモノ多ク大正十一年十一月二十一日赤穂義士會ト改メ現今ニ至ル
附 明治二十八年ヨリ大正十一年迄ハ赤穂義士追慕會ト稱シタリ

目的及事業種類

イ、目的 赤穂義士ノ遺烈ヲ顯彰追慕シ國民思想ヲ善導スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、毎年義士祭ヲ執行シ義士精神ノ涵養ヲナス
- 二、義士ニ關スル史實研究圖書遺墨遺物ヲ蒐集保存スルコト
- 三、國民思想善導上必要ナル事業

會員數及分布狀況

會員數 四五〇名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長	子爵 森 忠 恕
副會長	國 光 龜 治
名譽顧問	兵庫縣知事 長 延 連
同	從四位子爵 脇 坂 安 之
同	從一位侯爵 淺 野 長 勳
同	顧問 內務部長 鶴 澤 憲
同	同 學務部長 川 崎 末 五 郎
同	同 警察部長 井 上 政 信
同	赤穂中學校長 武 川 壽 輔

資産(種目別)
基本金 一千百圓

維持方法

會費寄附金補助金等ノ收入ニ依ル

昭和二年度決算額	歳入	三、一八〇、〇〇〇 ^円
	歳出	二、八五五、一九〇
昭和二年度決算額	歳入	二、七八三、七〇〇
	歳出	二、七八三、七〇〇
昭和三年度決算額	歳入	六、二六〇、〇〇〇
	歳出	六、二六〇、〇〇〇

奨励金並補助金下附ノ有無

内務省ヨリ交付金 百圓 大正十五年

百圓 昭和二年

名稱 立正教報社

事務所所在地 神戸市熊野町三丁目一七

創設年月日 大正十二年四月八日

經營主體又ハ代表者 代表者 竹内善次郎

沿革概要

大正十二年立正大師號賜號ヲ記念トシテ宗教信念涵養ノ
タメ機關雜誌トシテ「立正」ヲ發行
大正十二年十一月精神作興ニ關スル詔書渙發以來朝見式
勅語御即位勅語ノ普及運動ニ努力ス
昭和三年五月ヨリ講座研究会ヲ開設ス

昭和二年度決算額	歳入	一、二〇〇、〇〇
	歳出	一、二〇〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一、二〇〇、〇〇
	歳出	一、二〇〇、〇〇
昭和三年度決算額	歳入	二、〇〇〇、〇〇
	歳出	(定期出版費千二百圓 講座費八百圓)

備考 講座ハ昭和三年五月ヨリ開設毎週一回六ヶ月間トス

名稱 多紀佛教團

事務所所在地 多紀郡篠山町觀音寺内

創設年月日 大正十二年十二月二十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 寺本了洋

沿革概要

大正十二年十一月十日精神作興ノ詔書ヲ渙發セララル、ヤ
同十二月八日時ノ成瀬郡長ハ郡内ニ於テ常ニ教化ニ從事
セシ寺院住職ヲ召集シ、聖旨ノ普及徹底ヲ企ルベキ前途

目的及事業種類

イ、目的 宗教信念ヲ涵養シ勸教ノ普及徹底ニヨリ國民

精神ノ作興ヲ圖ルヲ目的トス

ロ、事業 一、定期出版物『立正』ノ發行

一、臨時出版物ノ發行

一、講堂研究会ノ開設

會員數及分布狀況

定期出版物(毎月一回)發行部數三千部(全部無償配布)

日本文化講座研究會員 二百八十名

主ナル役職名並其氏名

代表者 竹内善次郎

同人 新聞 智啓 同 田中定彦

同 加藤貞義 同 田河安太郎

維持方法

特志者ノ贊助ニヨル

ヲ講究セラレタル結果其全體案トシテ本團ヲ設立スルニ
至リ同月二十一日郡内寺院ノ賛同ヲ經テ創立ス

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ本旨ニ依リ列聖ノ洪漢ニ遵ヒ信念ヲ基
礎トセル國民道德ノ振興ヲ圖ルヲ以テ目的ト

ス

ロ、事業 一、教化ヲ目的トスル講演及文書宣傳

二、青少年ノ信念培養ヲ主トセル法案

三、奉公殉難者ノ弔靈ヲ主トセル法案

四、生活改善各種教化團體ノ援助

會員數及分布狀況

郡内一圓ニ普及ス

主ナル役職名並其氏名

委員長 上 阪 寶 山

理事 大 雲 默 雄 同 阪 野 巨 峰

同 高 橋 安 純 同 岡 本 圓 融

常務理事 藤井宣隆 同 保谷慶文
 會計兼常務 岩崎正道
 會 計 加藤道隆 同 加藤全隆

維持方法
 團員ノ出金及有志寄附ヲ以テ之ニ充ツ

昭和二年度豫算額	歳入	三〇五、〇〇
	歳出	三〇五、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	三〇五、〇〇
	歳出	三〇五、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	五六四、〇〇
	歳出	五六四、〇〇

名稱 兵庫縣神職會

事務所々在地 兵庫縣廳內
 創設年月日 大正十三年四月
 經營主體又ハ代表者 代表者 川崎末五郎
 沿革概要

本會ハ明治十五年九月以來設置セル財團法人兵庫縣皇典講究分所ノ目的ヲ共同シテ遂行致シ來リシカ昭和四年四月一日ヨリ獨立經營スルコト、ナレリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ縣内神職ノ統一ヲ保チ國體ヲ講明シ神社ノ隆盛ヲ圖リ教化訓育ニ資スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、神社ニ關スル諸般ノ研究調査ヲ爲ス事
- 二、斯道ニ關シ官廳ノ諮問ニ應ヘ又ハ建議ヲ爲ス事
- 三、奉務上必要ナル事項ヲ攻究スル事
- 四、神宮大藏曆ノ頒布普及ヲ爲ス事
- 五、斯道ニ關スル講習會講演會ヲ開催スル事
- 六、國民精神ノ作興社會ノ改善ニ努ムル事
- 七、斯道ニ功勞アル者ヲ表彰スル事
- 八、機關雜誌ヲ發行スル事

九、其他本會ノ目的遂行上必要ナル事業

會員數及分布狀況

本會ノ支會ハ縣下各郡市毎ニ置キ、二十七團體ニシテ其ノ名稱ヲ舉クレハ左ノ如シ

神戸市神職會	加西郡神職會	川邊郡神職會
有馬郡神職會	神崎郡神職會	加東郡神職會
多可郡神職會	宍粟郡神職會	印南郡神職會
姫路市飾磨郡神職會	朝來郡神職會	赤穂郡神職會
佐用郡神職會	津名郡神職會	出石郡神職會
養父郡神職會	加古郡神職會	水上郡神職會
多紀郡神職會	狹保郡神職會	三原郡神職會
尼崎市神職會	城崎郡神職會	明石市明石郡神職會
美方郡神職會	西宮市武庫郡神職會	

主ナル役職名並其氏名

會長 川崎末五郎
 副會長 西廣忠雄
 理事 生田長浩 同 吉井良晃
 和田陽三 同 中村豊高

監事 小松原時次 同 小松正壽

同 安部莊之助
 主事 箱木一夫

維持方法

寄附金神職負擔金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	八、六六七、〇〇〇
	歳出	八、六六七、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	八、六六七、〇〇〇
	歳出	八、六六七、〇〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	九、七四八、〇〇〇
	歳出	九、七四八、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無
 縣補助金 昭和四年度 金一千五百圓

備考 昭和三年度迄ハ財團法人兵庫縣皇典講究分所經費ヲ以テ經營セ

名稱 社団法人陵威會神戸支部

事務所々在地 神戸市相生町四丁目五二、一九七番屋敷

北之間政治郎方

創設年月日 大正十三年五月一日

經營主體又ハ代表者

和 田 陽 三

目的及事業種類

イ、目的 祖神ノ垂示ニ基キ敬神崇祖ノ信仰ヲ發揮シ天
祖皇祖列皇ノ宏漢ヲ奉體シ、國民道德ヲ振興
シ奉公盡忠ノ涵養訓練シ修理固成護國濟民ノ
實ヲ學クルヲ目的トス

ロ、事業 會員ニハ毎月一回「みいづ」ト云フ雜誌ヲ配
布ス

會員數及分布狀況

一百名

主ナル役職名並其氏名

支部長 和田 陽 三
幹事長 橋本 卯 太郎
會計長 北之間 政治郎
幹 事 青 山 國 藏
同 工 藤 幸 彦

維持方法

特別會員 一ヶ年贈金十二圓

正會員 同 金五圓

贊助員 同 金二圓四十錢

名稱 大日本國光宣揚會神戸支部

事務所々在地 神戸市熊野町三丁目八六番屋敷

創設年月日 大正十三年七月六日

經營主體又ハ代表者 代表者 津村源十郎

沿革概要

分布狀況

神戸市ヲ中心トシテ市外ニ亘ル、例外トシテ少數遠隔地ニ散
在ス

主ナル役職名並其氏名

イ、役員
會 長 權 藤 傳 次
支 部 長 津 村 源 十 郎
ロ、職 員
幹 事 竹 内 善 次 郎
專任幹事 田 中 定 彦

維持方法

經費ハ代表者津村支部長負擔ノ下ニ維持ス會費トシテ「國光」誌
料ヲ徵收シ居レルモ教化善導ノ趣旨ニ基キ神戸支部内ニ特ニ誌
料ヲ無料ニテ頒贈シ居レリ

昭和二年度豫算額 歳入 七二〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 四八〇、〇〇
歳出 七二〇、〇〇

國體擁護思想善導ノタメ國聖日蓮ヲ中心トスル讚仰及信
者ヲ糾合シ神戸神港俱樂部ニ於テ大日本國光宣揚會神戸
支部發會式舉行、百名ノ入會者ヲ得、其後漸次ニ三百名
ノ會員ヲ見タリシモ支部増置ノ必要上分裂シ目下會員ハ
二百名内外ニ増減シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 歷代天皇ノ御詔勅ノ聖旨ヲ奉體シ日蓮主義ニ
依リ大義名分ヲ高揚シ尊王護國ノ精神ヲ作興

ス

ロ、事業 一、明治天皇ノ御聖德ヲ宣傳シ國民道德ノ覺
醒ヲ促ス

醒ヲ促ス

二、思想宗教道德ノ講演及活動映寫ヲ開催ス

三、本會雜誌「國光」ヲ頒贈シ本會ノ目的及
事業ノ文章宣傳ニ充ツ

會員數及分布狀況

會員數 二二〇名

昭和三年度豫算額 歳入 六〇〇.〇〇

名稱 智 德 會

事務所所在地 掛保郡太田村太田二千五十一番地

創設年月日 大正十三年九月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 都 築 祐 寛

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ノ詔書御下賜記念事業トシテ再三協議シタル結果創設ニ決定シ會名ハ明治天皇教育勅語ノ文「智能ヲ啓發シ、徳器ヲ成就シ」ノ文旨ヲ以テ智徳會ト稱ス

大正十二年九月一日發會式舉行 爾來現今ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ教育勅語ニ立脚シ、民心作興ノ御詔書ヲ奉戴シ國民精神ノ振作ニ努メ思想善導、自治改善ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

治改善ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、時々講演會ヲ開キ國家的觀念ヲ圖ルコト

二、國家ノ事變ニ際シテハ同胞ノ困苦ヲ慰藉シ奉公ノ誠意ヲ表彰ス

三、本會ノ發達ニ伴ヒ慈善事業ヲ起シ又ハ之

レヲ補助スルコトアルヘシ

四、時間ノ勵行ヲ嚴守スルコト

會員數及分布狀況

會員數 百八十名

主ナル役職名並其氏名

會長 宗教家 都 築 祐 寛

副會長 村 長 田 中 稔

理事 區長 尾 島 常 助 同 尾 田 勝 治

同 坂 口 誠 之 同 安 藤 末 太 郎

維持方法

會費及密附金

昭和二年豫算額 歳入 五〇.〇〇

昭和二年決算額 歳出 五〇.〇〇不足

昭和三年豫算額 歳入 六〇.〇〇

備考

昭和二年十一月九日御大典紀念事業トシテ會員増加運動

名稱 立 正 曉 鐘 會

事務所所在地 神戸市水木通六丁目二〇ノ二二

創設年月日 大正十三年十月十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 平 林 秀 光

沿革概要

大正十三年創設ヨリ三年間ハ對內的ニ教化事業ノ諸般ニ

努力セリ

其ノ後ニ基礎ヲ確定セルヲ以テ對外的ニ擴張シテ會員全體不斷ノ努力堅實味ヲ加ヘ、講演、講話、文章宣傳、家庭教化、工場教化其ノ他ニ全力ヲ注ク以テ將來大ニ融和期シテ層一層ノ奮勵致シ居リ候

目的及事業種類

イ、目的 明治大帝ノ勅教ヲ奉體シテ忠孝主義ヲ宣揚ス

國聖日蓮ノ教義ヲ遵守シ國本主義ヲ標榜ス

一日一善ノ標榜シテ積善主義ヲ實現ス

世ハ相持諺ヲ尊重シ共存主義ヲ高唱ス

凡聖一體ノ金言ヲ恪守シ向上主義ヲ發揮ス

ロ、事業 以上ヲ實行スル爲ノ教化ノ諸事業

會員數及分布狀況

會員總數 一千三百五十八名

神戸市二葉町西川支部

同西灘中井支部

同港川町菊池支部

同若松町佐々木支部

神戸市筒井伊藤支部
 同多開通藤田支部
 同宮本通阪口支部
 同郡大庄村支部等

同中道通桃井支部
 同水木通大澤支部
 武庫郡住吉甲南支部

主ナル役職名並其氏名

會長 平林 秀光
 理事 菊地 泰旭

外ニ 理事、幹事、會計、相談役、評議員等

資産(種目別)
 金百五十八圓

維持方法
 會員月支金寄附金等ニヨル

昭和二年度決算額 歳入 一、五八五、五〇
 歳出 一、四九七、八〇
 昭和二年度決算額 歳入 一、四九七、八〇
 歳出 一、四九七、八〇
 昭和三年度決算額 歳入 一、七八五、五〇
 歳出 一、七八五、五〇

書ノ頒布 一、吉凶慶弔 一、武道ノ演習鼓吹

會員數及分布狀況
 會員總數 五百六十八名

分布狀況ハ市内各方面ニ亘レトモ就中濠西區部内ヲ最トシ、川崎造船所、宇治電等其他會社ノ就業員及學校職員在郷軍人會員青年會員等ニシテ本會ノタメニ盡瘁セルモノ少カラス

主ナル役職名並其氏名

會長 和久松 詞 副會長 番匠 唯夫
 幹事長 山下文 太
 顧問及ヒ相談役 中村直吉 外十一名

資産(種目別)

一、會旗器具見積額 二百五十圓
 一、積立金 金九百六十八圓

維持方法
 毎月十錢ツツノ會費及ヒ特志ノ寄附金ヲ以テス

名稱 神戸公德會

事務所々在地 神戸市大開通六丁目百四十一番屋敷
 創設年月日 大正十四年三月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 和久松 詞

沿革概要
 創立ノ當日役員ノ選舉並ニ會則其他ノ件ヲ議定シ會長ニ瀧川節三、副會長ニ番匠唯夫、幹事長ニ星野達太等當選而シテ顧問相談役トシテ中村直吉、並木三郎、新原次太郎、吉井政市、和久松詞其他ヲ推薦時ニ會員總數百二十三名、昭和二年三月十五日一週年記念總會舉行時ニ會員三百五十八名、同三年三月役員改選以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 皇道ヲ中心トスル國民精神ノ作興、公德觀念ノ敷衍遂行

ロ、事業 一、會員親善懇話會開催 一、講話會ノ開催 一、會誌ノ發行 一、德行家ノ表彰 一、圖

昭和二年度決算額 歳入 六八五、〇〇
 歳出 六五二、四八
 昭和二年度決算額 歳入 六五二、四八
 歳出 六五二、四八
 昭和三年度決算額 歳入 七五五、〇〇
 歳出 七五五、〇〇

名稱 神戸婦人禁酒禁煙會

事務所々在地 神戸市山本通り一丁目二十一番屋敷
 創設年月日 大正十四年五月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 小杉 イネ

沿革概要
 從來國民ノ常用セル酒類煙草ノ直間接ニ個人及社會ニ及ホス害惡ヲ悉知セシメ無酒無煙ノ國家ノ實現ヲ期シ、他面食糧問題、人口問題、保健衛生、社會教化等ノ諸問題ノ解決ヲ促進セシメルタメ、家庭社會全治ノ簡善ヲ計リ共存共榮ノ實ヲ全カラシメントメニ神々ノ在住ノ婦人主

體トナリ、一般有志ノ援助ヲ得テ大正十四年七月四日縣會議事堂ニ於テ發會式ヲ舉ケ假事務所ヲ市内山本通り一丁目小杉イネ方ニ置キ、爾來同志ヲ糾合シ目下第一段ノ陣容ヲ整ヒ、愈々二十五歲禁酒法ノ通過運動ニ突進シツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 禁酒禁煙國タラシムルコト

ロ、事業 戸別訪問ニ依ル家庭ノ禁酒宣傳法、毎月ノ機關紙送附、時期ニ應シテ着々宣傳

會員數及分布狀況

正會員 約二百名

賛成會員 約六百名

重ニ關西地方ナレト關東地方ニモンノ他散存ス

主ナル役職名並其氏名

會長 小杉イネ
幹事 岡崎操 同 有澤ツル

幹事 小泉初瀬

評議員 太田倫子 同 民部かつ

會計 藤本秀 同 福本一男

維持方法

會費及寄附 入 四一七、六〇(一五〇名分會費)

寄附 六、二〇

缺損前年度加算一、〇六五、八〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

二十圓 昭和三年九月一日 教化團體兵庫縣聯合會

備考

本會ハ財團法人日本國民禁酒同盟ニ加盟シ本會獨特ノ運動モスレハ又時期ニ應シテ本部ノ指揮ノ下ニ運動スルコトアリ

名稱 神戸乃木講社

事務所々在 地 神戸市東須磨鐵道省官舎二四ノ三

創設年月日 大正十四年六月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 奥村拓治

沿革概要

乃木講ハ大正四年二月十一日ノ創立テ陸軍大將一戸兵衛總取締トナリ全國ニ今ヤ二百三十餘ノ講社ト約二萬ノ講員ヲ有シ我カ神戸乃木講社モ其趣旨ニ基キ教育勸語ヲ信仰シテ乃木大將ノ崇高ナル人格ヲ敬慕シ講員ノ修養ト社會教化實績ヲ舉クル機關トシテ設立セリ、本講社ハ創立後三ケ年ヲ經過スルモ講員遂次増加シ猶ホ勸誘スルトキハ多數ノ人講者アルヘシ、毎年一回敬神崇祖ノ念ヲ涵養スルノ目的ヲ以テ各地乃木神社其他名御陵神社佛閣等ニ參拜ヲナス、概ネ毎月十三日例会又ハ講演會ヲ開キ乃木精神及思想善導ノ鼓吹國本ノ大義ニ關スル講演及社會教化ニ關スル活動寫眞ヲ使用シテ講演或ハ其他ノ方法ヲ以

テ毎月感化ヲ與ヘ實行シツ、アリ

目的及事業種類

目的 聖訓ヲ合體シ乃木將軍ノ精神ヲ普及シ以テ社會教化ヲナス

會員數及分布狀況

現在講員總數 一千二百二十五名

内 譯

正講員 雜誌購讀者 二百四十六名

準講員 八百七十九名

主ナル役職名並其氏名

總取締 陸軍大將子爵 大 迫 尙 敏
取締 海軍中將 寺 垣 猪 三
同 陸軍中將 摺 澤 靜 夫
同 同 少將 林 鍊 作
相談役 陸軍大將 一 戸 兵 衛
神戸乃木講社役員氏名
取締 海軍少將 井手 元治 陸軍少將 奥村 拓治
取締 蟹江 冬藏 田村 新吉 瀧川 儀作

體トナリ、一般有志ノ援助ヲ得テ大正十四年七月四日縣會議事堂ニ於テ發會式ヲ學ケ假事務所ヲ市内山本通り一丁目小杉イネ方ニ置キ、爾來同志ヲ糾合シ目下第一段ノ陣容ヲ整ヒ、愈々二十五歲禁酒法ノ通過運動ニ突進シツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 禁酒禁煙國タラシムルコト

ロ、事業 戸別訪問ニ依ル家庭ノ禁酒宣傳法、毎月ノ機關紙送附、時期ニ應シテ着々宣傳

會員數及分布狀況

正會員 約二百名

賛成會員 約六百名

重ニ關西地方ナレト關東地方ニモソノ他散存ス

主ナル役職名並其氏名

會長 小杉 イネ
幹事 岡崎 操 同 有澤 ツル

幹事 小泉 初瀬
評議員 太田 倫子 同 民部 かつ
會計 藤本 秀 同 福本 一男
維持方法

會費及寄附

收 入 四一七、六〇（一五〇名分會費）
寄 附 六、二〇

缺損前年度加算一、〇六五、八〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

二十四 昭和三年九月一日 教化團體兵庫縣聯合會

備考

本會ハ財團法人日本國民禁酒同盟ニ加盟シ本會獨特ノ運動モスレハ又時期ニ應シテ本部ノ指揮ノ下ニ運動スルコトアリ

名稱 神戸乃木講社

事務所所在地 神戸市東須磨鐵道省官舎二四ノ三

創設年月日 大正十四年六月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 奥村 拓治

沿革概要

乃木講ハ大正四年二月十一日ノ創立テ陸軍大將一戸兵衛總取締トナリ全國ニ今ヤ二百三十餘ノ講社ト約二萬ノ講員ヲ有シ我カ神戸乃木講社モ其趣旨ニ基キ教育勸語ヲ信仰シテ乃木大將ノ崇高ナル人格ヲ敬慕シ講員ノ修養ト社會教化實績ヲ舉クル機關トシテ設立セリ、本講社ハ創立後三ヶ年ヲ經過スルモ講員遂次増加シ猶ホ勸誘スルトキハ多數ノ人講者アルヘシ、毎年一回敬神崇祖ノ念ヲ涵養スルノ目的ヲ以テ各地乃木神社其他名御陵神社佛閣等ニ參拜ヲナス、概ネ毎月十三日例會又ハ講演會ヲ開キ乃木精神及思想善導ノ鼓吹國本ノ大義ニ關スル講演及社會教化ニ關スル活動寫眞ヲ使用シテ講演或ハ其他ノ方法ヲ以

テ毎月感化ヲ與ヘ實行シツ、アリ

目的及事業種類

目的 聖訓ヲ合體シ乃木將軍ノ精神ヲ普及シ以テ社會教化ヲナス

會員數及分布狀況

現在講員總數 一千二百二十五名

内 譯

正講員 雜誌購讀者 二百四十六名
準講員 八百七十九名

主ナル役職名並其氏名

總取締 陸軍大將子爵 大 迫 尙 敏
取締 海軍中將 寺 垣 猪 三
同 陸軍中將 摺 澤 靜 夫
同 同少將 林 鍊 作
相談役 陸軍大將 一 戸 兵 衛
神戸乃木講社役員氏名
取締 海軍少將 井手 元治 陸軍少將 奥村 拓治
取締 蟹江 冬藏 田村 新吉 瀧川 儀作

取締 武岡 豊太 塚田 清市 松方幸次郎

名稱 神戸乃木婦人會

事務所所在地 神戸市西須磨町下天神東八番地
創設年月日 大正十五年九月十三日

資産(種目別)
一、基本金 三百五十五圓九十二錢五厘
二、器具其他物品 百三十九圓三十八錢
三、印刷物 二十四

合計 五百十五圓三十錢五厘

經營主體又ハ代表者 代表者 奥村 拓治
沿革概要

維持方法 講費、助成金、寄附金其他

昭和二年度豫算額 歳入 八七八、〇〇五
歳出

昭和二年度決算額 歳入 一、二一〇、一六五
歳出

昭和三年度豫算額 歳入 一、〇四三、一二五
歳出

獎勵金並補助金下附ノ有無

一百圓 政府ヨリ助成金 昭和三年二月十一日

大正十五年
會創設ノ儀ヲ試ル(九月十三日)
一、十月十日布引山上明德館ニ於テ發會式舉行
一、十月二十五日洋服裁縫部設置
一、十一月二十七日垂水支部設置
一、昭和二年三月二十日山手支部設置
一、昭和三年四月二十五日山手支部本部ニ合併
一、昭和四年十一月御大典紀念事業トシテ愛口貯金乃木婦人會組合ヲ組織ス

目的及事業種類

イ、目的 時代ノ趨勢ニ鑑ミ乃木將軍御夫婦ノ心ヲ心トシ特ニ質素勤儉ノ美德ヲ増進シ且ツ家庭及社會ノ弊風ヲ矯正ス

ロ、事業 一、神社佛閣ノ參拜

一、節約財金ノ實施及貧民救助

一、明治天皇祭及乃木神社祭社ニ參拜

一、大正天皇祭ニ御法會及貧民救助

一、其他一般教化事業

會員數及分布狀況

會員數 本部五百一 垂水支部 四十九

計 五百五十

分在 神戸市、武庫郡、川邊郡、明石市、垂水村

主ナル役員名並其氏名

指導者 奥村 拓治
幹事長 水島 衣子

庶務幹事 奥村 直子

會計幹事 有村 清子

外方面幹事 三十二名

資産(種目別)

基本金 千圓 電話 一個

維持方法

會費(各人一ヶ月二十錢)ニテ維持

昭和二年度豫算額 歳入 五〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 五〇〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 八五〇、〇〇

名稱 皇國誠進會

事務所所在地 飾磨郡白濱村西區

創設年月日 大正十五年十月三十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 木下俊陽
沿革概要

大正十五年十月三十一日創立本部ヲ兵庫縣揖保郡河内村
金剛山ニ置ク

昭和三年本部ヲ同縣飾磨郡白濱村西區ニ移轉シ今日ニ至
ル

目的及事業種類

イ、目的 一、皇室ヲ中心トシテ臣民ノ本分ヲ盡スノ本

領トス

二、精神修養ヲ以テ自己改造ヲ主トス

三、思想ノ惡化ヲ防止シ思想善導ニ努ム

四、正義人道ヲ確守シ仁俠ノ精神ヲ發揮ス

五、國民ノ大義ヲ闡明シ尊王愛國ノ精神ヲ普及ス

ロ、事業 演説、講演及講習會ノ開會勞資ノ協調

會員數及分布狀況

兵庫縣内 一〇〇〇人 其他 二〇〇名 支部數 六

主ナル役職名並其氏名

會長 木下俊陽

顧問

加藤咄堂 山縣治郎 丸山方嶽

六鹿惠快 米澤義幸 吉田奈良丸

理事

小林治策 金澤豊之助 丸尾幸藏

幹事

濱口與十松 春名藤平 千田慶

和田國松 立見桐之助 芦尾省二

維持方法

會費及特志寄附金剩餘金ハ基金積立不足ノ場合ハ會長支辨ス

昭和二年度決算額 歲入 六〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲出 一、五〇〇、〇〇

昭和三年度決算額 歲入 五〇〇、〇〇

昭和三年度決算額 歲出

名稱 神戸基督教聯盟

事務所々在地 神戸市下山手通六丁目基督教青年會館内

創設年月日 不明(約二十年前)

經營主體又ハ代表者 代表者 神戸基督教聯盟

沿革概要

本會ハ約二十數年前(或ハ三十年)ヨリ信者相互ノ精神

修養ト交情等ヲ企圖センガ爲メニ産レタルモノデ、爾來

今日ニ至ツテ居リマス、此目的達成ノタメニ毎月一回各

教會順番ニ祈禱會ヲ開キ、且ツ例會ヲ開キノノ都度精神

修養並ニ社會奉仕ノタメニ講演會又ハ研究會ヲ開イテ居

リマス

目的及事業種類

目的 基督教徒ノ精神信仰ノ向上ヲ謀リ交誼ヲ厚フシ、

更ラニ外部ニ對シテハ忠良ナル國民ヲツクランガ

タメニ、敬神愛國ノ誠ヲ致スヤウニ努力シツムア

リ

會員數及分布狀況

教會總計 三十五個 會員數 四千三百五十名

主ナル役職名並其氏名

幹事長 谷津善次郎

幹事 安藤兼吉

書記 西戸勇

同 菅谷仁

會計 須田澤次郎

維持方法

各教會割當ノ會費ニヨル

名稱 楠公會

事務所々在地 神戸市大倉山公園下楠寺内

創設年月日 昭和二年五月十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 一戸兵衛

沿革概要

大正十五年七月湊川神社ヲ始メ楠公事蹟ニ關係アル當事者間ニ楠公會ヲ全國的ニ組織シテ思想國難ヲ楠公精神ニ依テ匡救セントスルノ儀起リ乃チ昭和二年一月始メテ大阪、京都、兵庫及東京四府縣同志ノ名ニ依テ之ヲ天下ニ發表シ遂ニ多數ノ賛同ヲ得テ同年五月十二日ノ發會式ヲ神戸ニ舉行シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 楠公父子一門ノ忠孝ヲ体シ、忠君愛國ノ精神

ト質實剛健勤儉力行ノ氣風ヲ涵養ス

ロ、事業

一、楠公殉國ノ命日ニ祭典施行並ニ大會開催

二、毎月命日ニ會員參拜並例會開催

三、楠公史蹟ノ踏査並保存

四、講演教化事業トシテ楠公精神ノ普及宣傳

五、楠公ニ關スル圖書ノ刊行及雜誌「楠公」ノ發行

六、大楠公殉國六百年祭ノ計畫

七、楠公館及圖書館ノ建設等

八、各地ニ在ル楠公會ト連絡及統一

會員數及分布狀況

イ、會員數 千五百名

ロ、分布狀況 主トシテ兵庫縣ヲ始メ近畿地方及東京附近ヲ最

トシ其他北ハ樺太、北海道ヨリ西ハ朝鮮ニ至リ

尙北陸山陰地方ヨリ南海四國方面及フ

主ナル役職名並其氏名

會長 一戸兵衛

副總裁 子爵 澁澤榮一

理事 田村一郎 同 長屋基彦

同 等々力森藏 同 杉村勇次郎

同 中村直吉 同 榎並充造

同 山脇延吉 同 岩瀬太七

事理 上月爲直 同 三本高峯

同 小林一意

常務理事 菅音次郎 同 福田弘

維持方法

會費、寄附金及補助獎勵金等ノ收入ニ依ル

昭和二年度決算額 歳入 一、八〇〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳出 一、八六〇、六一

昭和二年度決算額 歳出 一、六九二、四〇〇

昭和三年度決算額 歳入 二、三五〇、〇〇〇

名稱 養正會

事務所所在地 神戸市小物屋町五十一番屋敷

創設年月日 昭和二年七月二十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 中村直吉

沿革概要

昭和二年一月時弊ヲ慨シ世直ニ鑑ミ同愛ノ士數名ト集合國民精神作興ト思想善導團體觀念ノ普及ヲ圖ル目的ヲ以テ一團體ヲ組織スベク協議ス、是レニ共鳴者漸増ス同年四月中旬更ニ會合ノ結果汎ク一規同仁共存共榮博愛慈善的ノ事業ヲナスタメ綱要ト會則ヲ制定ス、同年五月上旬第三回ノ會合ヲナシ、會名ヲ養正會ト命名ス、同年七月二十一日第一回總會ヲ開催シ會長及副會長ノ選舉ヲナス當時會員七百五十六名ナリ、昭和三年二月會員千二百余名トナリ、同年三月十一日顧問貴族院議員服部一三、陸軍少將奥村拓治、參加、會員千百餘名伏見桃山御陵へ參拜シ御陵前ニ於テ會旗入魂式ヲ舉ク、同年十月第二回總會ヲ開催ス當時會員千九百十三名、會長ハ創立當時ヨリ異動ナシ

目的及事業種類

會員相互ノ修養教化ヲ旨トシ親睦ヲ厚クシ左ノ三綱要ヲ

目的トス

- 一、國民精神作興ト道德ノ涵養
- 一、思想善導ト經濟生活ノ改善
- 一、團體觀念ト政治ノ民衆化

右目的ノ爲メ毎月一回定例会ヲ開催シ(臨時ニ研究會、講演會開催)各自研究意見ヲ發表シテ相互ニ修養ニ努ム隔月一回會報ヲ發刊シ此ノ主義ノ宣傳ト實行ヲ助成ス尙作年中盛扱ヒタル失業救濟、就職、醫療其他新件五百八十餘件アリ

會員數及分布狀況

會員ハ大部分神戸市内ノ現住者ニシテ主トシテ川崎、三菱、兩造船所ニ勤務スル者其他市役所及市内會社商店ニ勤務スル給料生活者等ヲ主體トス

主ナル役職名並其氏名

會長 中村 直吉
副會長 根津 直次郎
同 萩原 頼藏

幹事長 安田 勝士

其他常任幹事、幹事、一百三十名

顧問 服部 一三 同 奥村 拓治

其他數名

資産(種目別)

- 一、金九百五十七圓五十錢 現金
- 但三十四銀行兵庫支店へ預金
- 一、金百三十圓 器具其他物品

維持方法

創立以來會長中村直吉氏ノ寄贈金ニヨル會員一名ニ付入會金五十錢之ヲ消費セス積立トシ基本金ノ一部トスル方針ナリ

昭和二年度豫算額 歲入 二、〇〇〇、〇〇
歲出 一、九七九、五〇
昭和二年度決算額 歲入 一、六〇一、五〇
歲出 二、五〇〇、〇〇
昭和三年度豫算額 歲入 二、五〇〇、〇〇
歲出 二、五〇〇、〇〇

名稱 財團法人明治天皇御物保存會

事務所々在 地 神戸市西須磨下天神東八番地

一月日 昭和二年八月

經營主體又ハ代表者 代表者 陸軍少將 奥村 拓治

沿革概要

神戸市兵庫東川崎町有志夙 御物蒐集ニ從事シ現ニ保管ノ二百餘點ヲ基礎トシ御物保存會ヲ組織ス子爵白川資長氏會長トシ御物奉安殿建設ノ計畫ヲ爲ス財團法人ト爲ス必要ヲ認メ昭和二年十一月二十五日出願、昭和四年四月二十四日文部大臣ヨリ許可セラル、爾來御物奉安殿建設地物色中ナルモ該種ノ關係上未決定ニ至ラス

目的及事業種類

イ、目的 明治及昭憲皇太后關係御物ヲ永久ニ保存シ御

遺徳御遺訓ヲ敬慕遵奉シ且ツ思想ノ善導並ニ

國民精神ノ涵養ニ資ス

ロ、事業 御物奉安殿ノ建設

希望者ニ御物ヲ拜觀セシム

其他一般教化事業

會員數及分布狀況

名古屋 一 神戸 五〇 三木 一

主ナル役職名並其氏名

理事長 奥村 拓治
理事 川田 佐市 同 小山 徳治
同 高橋 辨吉

資産(種目別)

明治天皇及ヒ昭憲皇太后關係御物 二百三點
維持金 三千圓

維持方法

一般寄附金及會費 其他拜觀料等ヲ以テ維持

名稱 神戸佛教會館寶林會

事務所所在地 神戸市四番町二丁目四番地神戸佛教會館

創設年月日 昭和三年五月二十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 印山法電

沿革概要

昭和三年五月二十四日發會式舉行

目的及事業種類

イ、目的 佛陀ノ精神ニ基イテ市民ノ生活ヲヨリ美シク
ヨリ正シク導イテ廣ク人類ノ幸福ト向上ヲ期
スルニアル

ロ、事業

- 一、宗教研究會
- 一、學術講演會
- 一、圖書出版
- 一、日曜學校

會員數及分布狀況

神戸市内 百五十名

主ナル役職名並其氏名

會長 印山法電
主事 服部義人

維持方法

寄附金會費

名稱 國柱會神港局

事務所所在地 神戸市二宮町四丁目

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人
ロ、代表者 田中巴之助

沿革概要

日蓮主義信託ニ基キ國體宣揚事業ノ教化、布教ノ事業ニ
從事ス
本部ヲ東京市ニ置ク當局ハ神戸ニ在住セル會員ノ爲メニ
設置セル支部ナリ

目的及事業種類

目的 聖旨ヲ奉體シ國難觀念ノ徹底普及ヲ計ルヲ以テ目
的トス

(日蓮主義ノ神髓總テ之レニ外ナラス)總テ本
部ノ指揮ニ依リテ教化運動ヲナスヲ目的トス

會員數及分布狀況

支部會員數 三十五名

主ナル役職名並其氏名

神港局
局長 船田芳太郎
副局長 前田藤治郎
會計 古谷喬
理事 中尾寛治郎 同 中村吉藏
同 伊藤釜之助 同 山本賢治郎
同 入澤清太郎
評定員 相羽恒次 同 牛川武二

資産(種目別)

建物 四千圓
器具其他 一千圓
印刷物 三百圓
合計 五千三百圓

維持方法

會員ノ寄附會費ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	一、二〇〇、〇〇
	歳出	一、〇五〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一、一五〇、〇〇
	歳出	一、〇〇〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、〇〇〇、〇〇
	歳出	一、〇〇〇、〇〇

名稱 和歌山縣教化聯盟

事務所所在地 和歌山縣廳學務部社會課内

創設年月日 昭和三年一月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 福元岩吉

沿革概要

昭和二年二月十七日教化團體聯合會ト和歌山縣下ノ合同主催ニヨル教化事業關係者懇談會ニ於テ縣内教化事業關係者ノ聯絡會ヲ設立スルコトヲ申合セ爾來右關係者中ノ有志ト縣關係者ト協力シテ設立ノ準備ヲ進メ三年一月十五日之ヲ設立セリ昭和三年三月三十一日第一回總會ヲ縣會議事堂ニ於テ開催セリ

目的及事業種類

イ、目的 本縣下ニ於ケル教化關係者ノ連絡提携ヲ圖リ

國民精神ノ作興ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、教化事業ニ關スル調査研究

二、講演會講習會ノ開催

三、其ノ他必要ト認ムル事業

會員數及分布狀況

一、本聯盟加盟團體ハ目下左ノ三團體ニシテ其ノ他關係團體ハ

加盟方勸誘中ナリ

和歌山縣神職會

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

三百圓 中央教化團體聯合會ヨリノ補助金	昭和三年度
百六十圓 縣ヨリノ補助金	同 二年度
百五十圓 同	同 二年度

名稱 社團法人和歌山縣教育會

事務所所在地 和歌山市一番丁一番地

創設年月日 明治二十年二月

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 社團法人

二、代表者 福元岩吉

沿革概要

明治二十年二月發會式ヲ舉ケテ創設成リ翌二十一年縣下各部ニ支會ヲ置キ更ニ同四十三年和歌山市支會ヲ置キ會員逐次増加シ會運年々隆昌ニ向ヒ大正三年三月多年縣下教育振興ノ爲ニ盡シタルノ故ヲ以テ文部大臣ヨリ表彰セ

和歌山縣教育會

和歌山縣基督教聯盟

一、教化事業關係ノ個人 百三十名(全縣下ニ亙ル)

主ナル役職名並其氏名

役員

理事長	福元岩吉
理事	橋由太郎 同 貴志二彦
同	三木惣太郎 同 川村徳治
同	田中昇三 同 水田敏太郎
常務理事	金原源太夫 同 東平四郎

資産(種目別)

一、器具其ノ他物品 三四

維持方法

負擔金寄附金補助金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	三〇五、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	二三〇、〇〇
	歳出	二一九、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、五五〇、〇〇
	歳出	

ラル

昭和三年二月第三十七回總會ニ於テ定款ヲ決議シ同年六月文部大臣ヨリ社團法人ノ許可ヲ受ケ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 縣下教育ノ普及發達ヲ圖リ並ニ會員ノ福利ヲ

増進スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、民衆教化ノ向上ヲ圖ルコト
- 二、教育上ノ調査研究ヲナシ教育ノ改善ヲ圖ルコト
- 三、會員ノ知徳並ニ生活ヲ向上スル方法ヲ講スルコト
- 四、會員ノ社會的地位ヲ高メ教權ノ擴張ヲ圖ルコト
- 五、教育ニ關シ功勞又ハ善行アル者ヲ表彰スルコト
- 六、機關雜誌ヲ發行スルコト
- 七、其他必要ナル事項

會員數及分布狀況

和歌山市	五四七人	海草郡	五八三人
那賀郡	四六五人	伊都郡	三七二人
有田郡	三五七人	日高郡	四三一人
西牟婁郡	五六九人	東牟婁郡	五〇九人
計	三八三三人		

主ナル役職名並其氏名

總裁	野手耐
----	-----

會長(理事)	福元岩吉
副會長(理事)	鹽見龜藏
同(理事)	有元久五郎
理事	阪彦四郎 同 鈴木喜一郎
同	高垣英一 同 若尾泰壽
同	水田敏太郎 同 須藤丑彦
主事	前田雄治

資産(種目別)

一、基本金 一萬八千圓

二、建物 三千圓

三、器具其他 三百圓

合計 二萬一千三百圓

維持方法

會費補助金及基本金利息等ノ收入	
昭和二年度決算額	歳入 八、一〇二、二〇〇
昭和三年度決算額	歳入 八、〇〇九、八四〇
昭和三年度決算額	歳入 一〇、五一二、四〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)	
金二千四百圓	縣補助金 昭和二年度
金二千四百圓	同 三年度

名稱 和歌山縣神職會

事務所所在地 和歌山市西汀町和歌山縣廳内

創設年月日 明治二十二年

經營主體又ハ代表者 代表者 野手耐

沿革概要

明治二十二年縣社以下社司社掌ヲ以テ神職團體ヲ組織シ和歌山縣神職取締所ト唱ヘタルモ明治四十二年官幣社職員ヲモ加ヘ和歌山縣神職會ト改稱シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 神社崇敬ノ國風ヲ助長シ國體ヲ闡明スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、神宮大曆ノ頒布ヲ爲スコト
二、機關雜誌ヲ發行スルコト
三、講演會ヲ開催スルコト

四、神社ニ關スル各種調査ヲ爲スコト
五、縣下各神社ノ狀態ヲ調査シ其ノ發展ヲ期スルコト

六、神職ノ講習及養成ヲ爲スコト

會員數及分布狀況

和歌山市海草郡聯合支會	六八人	那賀郡支會	三二人
伊都郡支會	一九人	有田郡支會	二二人
日高郡支會	二五人	西牟婁郡支會	三三人
東牟婁郡支會	三六人		
計	二三五人		

主ナル役職名並其氏名

會長	野手耐
副會長	福元岩吉
同	紀俊
幹事長	岩瀬勇八郎
幹事	寺本福一郎 同 島田義信
同	遠北久次郎 同 金原源太夫

資産(種目別)

基本金 三千五百二十二圓四十錢

會館建設資金 一千九百八十八圓八十四錢
計 金五千五百三十四圓二十四錢

維持方法

神社賦課金及補助金其他ノ收入ニヨル

昭和二年、度豫算額 歳入 七、一四、〇〇〇
歳出 七、二四〇、八九

昭和二年、度決算額 歳入 五、八九五、八〇
歳出 八、〇〇七、〇〇

昭和三年、度豫算額 歳入 八、〇〇七、〇〇
歳出 八、〇〇七、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

金六百五十七圓 縣ヨリノ補助金 昭和二年、度

金六百圓 同 同 三年、度

名稱 和歌山縣基督教聯盟

事務所所在地 和歌山市雜賀屋町東丁二十四番地

創設年月日 昭和三年十二月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 西川 四郎

沿革概要

昭和三年十二月一日發會式ヲ和歌山市三木町日本基督教和歌山教會ニ於テ舉ケ役員ヲ選舉シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的

一、協力一致基督ノ精神ヲ實現スルコト及加盟團體

ノ親和聯絡ヲ圖ルコト

二、必要ト認メタル諸問題ニ關スル意見ヲ發表スル

コト

三、諸團體ヲ代表シテ外部トノ交渉ニ當ルコト

四、教化事業社會事業其他必要ト認メタル事業ヲ行

ヒ及之カ調査研究ヲ爲スコト

ロ、事業 本聯盟ノ目的ヲ達スルタメ理事會ニ於テ計畫

シタル事業

會員數及分布狀況

主ナル役職名並其氏名

縣内ニ於ケル基督教諸團體及基督者ヲ以テ組織ス

理事長 石川 四郎

副理事長 八木 善三郎

理事 羽根 田 薫

同 兒玉 充次郎

同 林 茂 富

同 大岡 義 政

維持方法

會員及有志ノ寄附ニヨル

中國

岡山縣教化團體聯合會	廣島縣教化事業聯合會	山口縣教化事業聯合會
<small>(加載團體)</small>	<small>(加載團體)</small>	<small>(加載團體)</small>
一八二	四七三	二四一

名稱 岡山縣教化團體聯合會

事務所所在地 岡山縣學務部社會教育課

創設年月日 昭和四年一月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 三邊 長治

沿革概要

昭和三年五月二十八日縣下教化事業關係者懇談會ニ於テ本會組織ノ議起リ兩來數度ノ創立委員會ヲ經テ會則ヲ制定シ昭和四年一月十五日第一回評議員會ヲ開催シテ豫算ヲ議決シ役員ヲ選舉シ總テノ組織ヲ了シ同日發會式ヲ舉行ス

現ニ(昭和四年三月)加盟團體ハ百十七團體ヲ算シ縣下教化事業ノ統制機關タル實ヲ舉クルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ國體觀念ヲ涵養シ國民精神ヲ作興スル事業ヲ促進シ並各教化團體ノ聯絡ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、教化ニ關スル調査研究協議
- 二、教化ニ關スル講習會ノ開催
- 三、教化ニ關スル印刷物ノ刊行
- 四、教化事業ノ助成
- 五、其ノ他必要ナル事項

會員數及分布狀況

縣下一圓ニ亙リ目下加盟團體 一百十七團體

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長	三邊 長治
副會長	平 敏 孝 同 國富友次郎
理事	正 田 隆 同 原 保 雄
	尾形惣三郎 同 能勢頼俊
	佐藤範雄 同 堺 筑 水
	同 華山海應 同 岡崎 勉

口、職員

幹事 千輪清海 同 片岡庫太郎
同 秋山照禪 同 蜂谷静太
書記 内藤市之丞

維持方法

負擔金、補助金、寄附金其他

昭和三年度豫算額 歳入 一、三三六、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金二百圓 中央教化團體聯合會ヨリノ補助金 昭和三年度

金六百圓 岡山縣ヨリノ補助金 昭和三年度

金二百圓 岡山縣社會事業協會ヨリノ補助金 昭和三年度

名稱 邑久郡教育會

事務所所在地 邑久郡邑久高等小學校

創設年月日 明治十八年四月十五日

經營全體又ハ代表者 代表者 奥田眞須二

沿革概要

明治五年小學校令頒布セラレテヨリ學校教化ノ面目一新
シ倍々其ノ普及發達ヲ圖ルト共ニ教育當事者ニヨリ組織
セラレタル大小ノ教育會各所ニ創立セラル、ニ至ルスル
機ニ際シ邑久郡内小學校長會同シ本會ノ創設ヲ畫策シ郡
内有志ヲ説キ賛同ヲ得明治十八年四月十五日其ノ創立ヲ
見ルニ至リ爾來逐年發展ヲ見ルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 郡内教育ノ普及上進ヲ圖ルヲ以テ目的トス
ロ、事業

一、學術技藝ノ講究

二、學校教育、家庭教育ニ關スル調査研究

三、社會教育ニ關スル施設經營

四、會報發行及圖書ノ編纂出版

五、學事視察

二、器具其他物品

八百二十五圓

維持方法

會費、補助金及其他ノ收入ニ依ル

昭和二年豫算額 歳入 三、七二六、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 三、九七七、三三

昭和三年度豫算額 歳入 三、七三七、五五

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

三百六十圓 無費補助金 昭和二年度

九百圓 郡内町村補助金 同 二年度

昭和三年度ハ昭和二年度ニ同シ

名稱 岡山縣教育會

事務所所在地 岡山市一番町八、九番地

創設年月日 明治十八年十二月十三日

經營全體又ハ代表者 代表者 平 敏 孝

六、教員及兒童體育衛生

七、教員ノ互助

八、教育功勞者及優良兒童生徒ノ表彰

九、其他教育上必要ト認メタル事項

會員數及分布狀況

郡内中等學校二校、小學校二十三校及補習學校二十二校ノ教員
ハ全部本會ノ通常會員ニシテ其ノ數二百五十三名ナリ
又郡内二町十八箇村ニ互リ名譽會員及特別會員ト稱スルモノ百
六十三名ニ及フ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 奥田眞須二

副會長 石原太喜治

ロ、職員

幹事 今田力治

資産(種目別)

一、基本財産 五千三百二十八圓

沿革概要

明治十八年創立同十九年五月第一回總會開催、以後毎年總會ヲ開ク

明治三十一年十月十五日社團法人組織トス同四十一年十一月盲啞院ヲ經營シ四十二年盲啞學校ト改稱ス
大正二年三月文部大臣ヨリ賞金壹百圓ヲ受ク昭和二年三月ヲ以テ盲啞學校ヲ縣ニ移管ス

目的及事業種類

イ、目的 教育ノ普及上進ヲ圖ルヲ以テ目的トス
ロ、事業 總會、部總會、教育諸調査會、學事視察員
全國的教育大會派遣員等ノ派遣、講習會通俗講演會、研究獎勵其ノ他機關雜誌及教育の圖書ノ發行等

會員數及分布狀況

會員總數 五千六百八名
本縣下各都市ニ分布シ、縣下各中等學校教職員ノ大部分小學校

實業補習學校教職員ノ殆ト全部加入セリ

主ナル役職名並其氏名

會長	平 敏 孝
副會長	工藤鐵太郎 同 能勢頼俊
幹 事	江見豊治 同 上代 淑 大守 勇 同 青柳泰雄 正田 隆 同 宮地勝二 谷口源藏 同 森 作太 齋藤諸平 同 三村 高右衛門 奥田眞須二 同 坂田義一 武居魁助 同 岩永五郎一
主 事	田中筆次

資産(種目別)

基本財産 五千八百六十三圓六十三錢
會場敷地 二百五十坪
會館建物 二階建六十坪一棟
平家建 七十五坪一棟

維持方法

會員一人年額一圓ノ會費、縣補助金及雜收入ニヨリ維持ス

昭和二年度豫算額	歳入	一六、〇〇六、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	一三、七一二、七六
	歳出	
昭和三年度豫算額	歳入	一四、三二三、〇〇
	歳出	
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		
千五百圓	縣補助金	昭和二年度
千五百圓	縣補助金	同 三年度
千五百圓	縣補助金	同 四年度
	縣獎勵金	

名稱 上道郡教育會

事務所々在地 上道郡西大寺町西大寺尋常高等小學校内
創設年月日 明治十九年
經營主體又ハ代表者 代表者 藤 井 慮 逸
沿革概要

明治五年學制ヲ頒布セラレシヨリ數年ヲ出テスシテ或ハ郡内二三校申シ合セ或ハ南北ニ大組合ヲ設ケ或ハ全郡一團トナリテ教育ノ調査研究ヲナセシカ明治十九年ニ至リ遂ニ教育實務者外ノ有志者ヲモ糾合シ茲ニ一大團體ヲ組織スルニ至レリ其後星霜ヲ經ルト共ニ會員數モ漸次増加シ事業モ次第ニ擴張シ終始穩健ナル發達ヲナシツ、現在ニ至レリ

目的及事業種類

- イ、目的 教育ノ普及上進ヲ圖ルニアリ
- ロ、事業種類
 - 一、教育ニ關スル調査研究及ヒ視察
 - 二、社會教育ノ視察
 - 三、圖書館並ニ巡回文庫ノ助成
 - 四、講習會講演會並ニ研究會ノ開設
 - 五、體育獎勵
 - 六、會誌發行圖書出版

七、教育功績者表彰

八、兒童生徒及一般善行者表彰

九、教育者互助

十、其ノ他教育上必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

郡内各小學校補習學校幼稚園ノ職員ハ會員タル義務ヲ有シ郡内中等學校教員ヲ始メ其ノ他各町村有志者ヲ贊助會員トセリ

通常會員數 二二〇名

贊助會員數 五〇〇名

主ナル役職名並其氏名

會長	藤井 慮 逸
副會長	土井 郁 太
幹 事	奥山 楨 太
同	石村 新 造
同	岡崎 鹿 吉
同	茂成 福 三
同	石原 雅 雄
同	佐古 周 次郎
會計	石原 雅 雄
同	同 齋 藤 一 夫
同	同 吉 田 競
同	同 難 波 璣
同	同 申 田 藤 吉

評議員

難 波 璣	同 長 瀬 克 己
松 岡 重 良	同 吉 田 競
岡 崎 鹿 吉	同 青 江 久 馬 太
茂 成 福 三	同 足 羽 高 資
土 井 高 次	同 野 山 小 一 郎
奥 山 楨 太	同 土 井 郁 太
石 原 雅 雄	同 廣 見 繁 一
片 岡 石 夫	同 齋 藤 一 夫
石 村 新 造	同 申 田 藤 吉
佐 古 周 次郎	同 草 信 唯 治
岡 本 光 男	同 田 村 繁 雄

資産(種目別)

基本財産	銀行預金	千三百圓
共済基金	同	九百八十圓
器具圖書其他	同	八百圓

維持方法

縣費補助金、町村補助金、會員ノ會費、特志寄附金雜收入

昭和二年度豫算額

歳入 四、一七六、〇〇

昭和二年度決算額

歳入 四、五六九、八八

昭和三年度豫算額

歳入 四、一〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

千八百四十八圓 昭和二年度補助金(四百五十圓) 町村

名稱 社團法人日本赤十字社岡山支部

事務所所在地 岡山市内山下二十番地

創設年月日 明治二十年十一月二日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人

口、代表者 富田 金 一

沿革概要

明治二十年十一月二日委員部設置二十二年四月二日支部

ト改稱シ支部長以下職員就任支部常議會ノ議決ニ依リ郡

市委員長ヲ郡市長ニ又町村ニ分區ヲ設ケ町村長ニ其事務

ヲ委囑シ大正十五年六月郡役所廢止トナリ各町村分區ヲ

支部直轄トシ常ニ社旨宣傳社員ノ加盟ニ盡セリ事務所ハ

當初縣廳内ノ一室ニアリシカ明治三十五年九月市内内山

下二十番地ニ新築中ノ事務所落成ト共ニ移轉シ昭和二年

改築今日ニ至ル而シテ創立以來報國恤兵ノ主旨ニヨリ平

時ハ準備ニ努メテ有事ノ日救護ノ事ニ從フト共ニ災害救

護ニ當リ大正六年ヨリ赤十字聯盟規約ニ基キ更ニ疾病ノ

豫防苦惱ノ輕減、健康ノ増進ニ關スル諸般ノ施設ヲナス

ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 本社ハ戰時傷病者ヲ救護スルヲ以テ主タル目

的トナス外天災地變ノ救護ヲ行ヒ平時ハ健康

ノ増進疾病ノ豫防苦惱ノ輕減ヲ圖ルモノトス

口、事業

一、戰時ニアリテ當該官憲ノ命令ニ從ヒ傷者病者ヲ

救護スルコト

- 二、前號ノ爲メ常ニ必要ナル人員ヲ養成シ物品材料ヲ蒐集シ其ノ準備ヲ完整スルコト
- 三、天災地變ニ應スル準備及救護ヲナスコト
- 四、結核豫防撲滅ヲ圖ルコト
- 五、支部ニ病院ヲ經營シ治療並ニ一般治療ニ從フコト
- 六、薄弱兒ノ夏季兒童保養所ヲ施設スルコト
- 七、少年赤十字團ヲ組織シ健康ノ増進ト良國民タルノ理解及體得博愛精神ノ涵養カネテ外國人及外國ヲ理解セシム
- 八、妊婦及兒童保護事業ヲ爲スコト
- 九、學校看護婦ヲ設クルコト
- 十、衛生思想普及及教化事業ニ關スル施設ヲ爲ス事
- 十一、機關紙赤愛月報ヲ發行スルコト

會員數及分布狀況

昭和三年度豫算額 歲入 一三二、七七〇

歲出 一三二、七七〇

名稱 岡山縣淺口郡教育會

事務所所在地 淺口郡玉島尋常高等小學校

創設年月日 明治二十四年

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 社團法人

二、代表者 藤原慎一

沿革概要

明治二十四年郡内東部西部ニアリシ教育會ヲ合シ私立淺口郡教育會ヲ創設シ、大正九年三月十八日社團法人淺口郡教育會設立ノ許可ヲ得以テ今日ニ至レリ

目的及事業種類

一、目的 淺口郡教育ノ普及進歩ヲ圖ルヲ以テ目的トス

二、事業

支部ハ市ニ委員部町村ニ分區ヲ置ク其ノ數左ノ如シ

委員部 二 町村分區 三九四

主ナル役職名並其氏名

支部長	三邊長治
副長	坂本暢
參與	金井佐久
同	平敏孝
主事	富田金一

資産(種目別)

一、救護準備資金	三十一萬一千圓
二、常備資金	九萬九千四百三十七圓
三、建物	十五萬六千七百二十八圓
計	五十六萬七千六百六十五圓

維持方法

寄附金、社員年贈金、其他ノ收入ニヨル

昭和二年年度豫算額 歲入 一一八、二七七、〇〇

昭和二年年度決算額 歲入 八二、四五一、〇〇

一、學校教育ニ關スルコト

二、社會教育ニ關スルコト

三、家庭教育ニ關スルコト

四、講習會講演會開催

五、學事視察及講習派遣

六、圖書ノ編纂及出版

七、功績者表彰及會員弔慰

八、其他本會ノ目的ヲ達スルタメ必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

一、會員數 四百六十五名

二、分布狀況 淺口郡全部

小學校 中等學校

各校職員全員

實業補習學校

幼稚園

主ナル役職名並其氏名

會長	藤原慎一
理事	眞田正一郎

理事 三宅 郁治
維持方法

會員負擔金補助金獎勵金其他ニヨル

昭和二年年度決算額	歳入	一、九七七、〇〇
昭和二年年度決算額	歳出	二、三一五、七六
昭和三年年度決算額	歳入	二、五四一、〇〇
昭和三年年度決算額	歳出	二、五四一、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

三百四十圓	昭和二年年度	岡山縣ヨリノ補助金	
八十圓	同	二年度	麥稈眞田同業組合補助金
四百圓	同	三年度	岡山縣ヨリノ補助金
八十圓	同	三年度	麥稈眞田同業組合補助金

名稱 社団法人赤磐郡教育會

事務所所在地 赤磐郡瀬戸町大字瀬戸四十番地

創設年月日 明治三十二年五月

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社団法人

代表者 森 郁四郎

沿革概要

明治三十二年五月私立赤磐郡教育會ヲ組織シ總理ニ郡長ヲ推戴シ會長ニハ多クハ郡視學ヲ推選セリ始メハ教育實務者ノミヲ會員トセシカ明治三十五年四月以降廣ク郡内同志者ヲ加フルコトトス

明治三十六年五月本會ニ基本財産ヲ造成セントシ委員ヲ選任ス

明治三十九年四月本會ヲ法人組織トナスノ議アリ遂ニ明治四十二年四月二十四日主務大臣ニ對シ社団法人設立ノ申請ヲナシ同年五月二十八日之ヲ許可セラレ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 教育ノ普及發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、教育ニ關スル調査研究及諸施設

一、學術講習及講演會開催

三、學事視察員派遣

四、學校衛生及體育上ノ研究諸施設

五、通俗教育社會教育ノ諸施設

六、圖書編纂出版

七、教育功勞者ノ表彰

八、兒童保護施設

九、會員ノ罹災者弔慰

十、其他時勢ノ進運ニ隨伴スル施設

會員數及分布狀況

會員數 三二六名 郡内各學校職員及各町村有志者

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長	森 郁四郎
副會長	岡 壽太郎
幹事	内藤 誠幹 同 四十塚 圓十郎

同 原田 廣人 同 岡本 慎造

同 内藤 幸太郎 同 岸田 隆治

ロ、職 小出 光男

書記

一、基本金 一萬四百二圓

二、育英資金 (現金 三千二百六十九圓 田 五畝十五步 植林 三十町八段七畝十三步)

三、植林 十一町六畝二十步

維持方法

會員會費基本財産ヨリ生スル利子補助金寄附金ニ依ル

昭和二年年度決算額 歳入 三、七四七、〇〇

昭和二年年度決算額 歳出 二、九三七、一〇六

昭和三年年度決算額 歳入 三、四九三、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

金四百三十四圓 縣ヨリノ補助金 昭和二年年度

名稱 上房郡教育會

事務所所在地 上房郡高梁町高梁尋常高等小學校内

創設年月日 明治三十三年四月

經營主體又ハ代表者 代表者 會長 三村 高右衛門

沿革概要

年月ハ不詳ナレトモ、モト教育ノ普及上進ヲ圖ル目的ノ
 モトニ上房郡教育會ノ組織アリシカ明治三十三年法律ノ
 改正ノ爲阿賀郡ノ一部(中井、中津井、菅部、水田、上水
 田)ヲ合併シ現在ノ上房郡トナルヤ新タニ私立上房郡教
 育會ヲ設立シテ事務所ヲ高梁小學校内ニ置キ後主務大臣
 ノ認可ヲ得テ社團法人トナリ以テ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

イ、目的 教育ノ普及上進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、講演、講事
- 二、講習會、講演會ノ開設
- 三、教育ニ關スル調査及研究

四、會誌ノ發行圖書ノ編纂出版

五、巡回文庫ノ設置

六、社會教育、通俗教育ニ關スル事項

七、教育功績者ノ表彰

八、其ノ他教育上必要ト認メタル事項

會員數及分布狀況

現在會員ハ一八八名ニシテ

高梁町、松山村、津川村、川面村、巨瀬村、有漢村、上有漢村
 上竹莊村、豊野村、下竹莊村、吉川村、中井村、中津井村、上
 水田村、水田村ノ各小學校及實業補習學校

主ナル役職名並其氏名

會長	三村 高右衛門
副會長	室 貞 一
幹 事	原 來 治
同	金 田 基
同	中山良太郎

資産(種目別)

一、基本金	一千圓	
二、田	二反二畝三步	公園地 中井村
三、山	三反四畝二十四步	同 同
四、畑	二反九畝二步	同 同
五、山林	二町二反二畝六步(地上權設定)	津川村

維持方法

會費補助金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	二、六三〇、〇〇
	歳出	一、五二〇、六七
昭和二年度決算額	歳入	一、一六三、九一
	歳出	二、六七〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	二、六七〇、〇〇
	歳出	二、六七〇、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無		
金二百三十四圓	縣ヨリノ補助金	昭和二年度

名稱 金光教第一教區支部

事務所所在地 岡山縣淺口郡金光町大字大谷三三二番地

創設年月日 明治三十三年七月十日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 岡山縣下ニ於ケル金光

教各教會所

ロ、代表者 片岡幸之進

沿革概要

明治三十三年六月金光教獨立ト共ニ岡山縣内ニ於ケル教
 政管掌ノ機關トシテ設置シタルモノニシテ隨テ金光教祖
 ノ教旨ニ則リテ施行スル教化ニ關スルコトヲモ統一管掌
 シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 信忠孝一本ノ教義ニ則リ世道人心ノ教化救済
 フ目的トス

ロ、事業

- 一、教化事業ノ統一提携ヲ圖ルコト

- 一、教化事業ノ獎勵指導ヲナスコト
- 三、其他前條ノ目的ヲ達スルタメ必要ナル事項

會員數及分布狀況
 本支部内ニ屬スル教會數七十四ヶ所ニシテ岡山縣内各地ニ散在セリ

主ナル役職名並其氏名

職員
 部長 片岡幸之進
 副部長 本條徳四郎

維持方法

寄附金ニ依ル

昭和二年度決算額	歳入	一、〇九五、〇〇〇
	歳出	一、〇九五、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一、六二八、一二二
	歳出	一、〇四一、四五〇
昭和三年度決算額	歳入	一、二八五、〇〇〇
	歳出	一、二八五、〇〇〇

名 稱 愛國婦人會岡山縣支部
 事務所所在地 岡山市内山下二十番地
 創設年月日 明治三十四年三月二日
 經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社 團 法 人
 代表者 富田金一
 沿革概要
 明治三十四年本會創立以來婦人カ愛國ノ精神ヲ披瀝シ軍隊ノ後援併セテ天災地變ノ救護ニ當リ大正六年ヨリ定款ヲ改正シ更ニ婦人小供ヲ對象トシテ一般救濟事業並ニ婦人向上教化運動ニ一指ヲ染メタリ會員ノ普及主旨宣傳ノ爲メ郡市ニ幹事部ヲ町村ニ委員區ヲ置キ大正十五年郡役所廢止以來ハ町村委員區ヲ支部直轄トナシタリ事務所ハ縣廳内ニ置キタリシカ大正十一年ヨリ日本赤十字社岡山支部内ニ移轉シ今日ニ至ル

目的及事業種類

- イ、目的 戦死並ニ準戦死者ノ遺族及廢兵ヲ救護スル外

地方ノ狀況ニヨリ必要ナル他ノ救濟事業ヲ爲ス

ロ、事業

- 一、軍人遺族廢兵現役軍人家族ノ救護及軍隊ノ慰問
 併セテ警察衛生防火其ノ他警備ニ従事シタル殉難者ノ遺族ノ救濟ヲナス
- 二、天災地變ノ罹災者救濟慰問
- 三、職業紹介所ヲ經營
- 四、兒童保護ニ關スル施設
- 五、學費乏シキ女子ノ爲メニ岡山實習女學校ヲ經營シ中等程度ノ教育ヲ授ク
- 六、婦人ノ文化向上ヲ計リ講習會其ノ他ノ事業ヲ行フ
- 七、機關紙赤愛月報ヲ發刊ス

會員數及分布狀況

市ニ幹事部町村ニ委員區ヲ置ク左ノ如シ

幹事部 一 委員區 三九七

主ナル役職名並其氏名

支部長 三邊良久子
 副 長 坂本八重子
 顧問 三邊長治
 参 與 坂本暢
 主 事 富田金一

資産(種目別)

- 一、基本金 三萬九千三百五十四
- 二、救護準備資金 一萬六千五百四
- 三、建 物 九千八十五圓
- 計 六萬四千九百三十五圓

維持方法

會員ノ年贈金、寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額	歳入	二〇、九一一、〇〇〇
	歳出	一一、九九三、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一一、〇五二、〇〇〇
	歳出	一一、〇五二、〇〇〇

昭和三年度豫算額 (歳入) 一七、二二〇、〇〇
 奨励金並補助金下附ノ有無
 金一千圓 縣ヨリ補助金

名稱 美和報徳會

事務所々在 岡山縣邑久郡美和村

創設年月日 明治三十七年十一月

經營主體又ハ代表者 代表者 林 甚 八

沿革概要

明治三十七年十一月奉公會ト稱セシヲ大正六年五月報徳會ト改稱今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 教育勸諭ノ御趣旨ノ普及ニ關スルコト

ロ、事業 民風改善ニ關スルコト

毎月十八日例会ヲ開キ前二項ニ就キ講話又ハ

實行方法ニ付協議決定ス

會員數及分布狀況

村一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 林 甚 八

資産(種目別)

一、基本金 三百圓

二、建物敷地 七十六坪八合二勺

三、建物 二十坪五合

.....

名稱 岡山縣邑久郡聯合青年團

事務所々在 岡山縣邑久郡邑久高等小學校内

創設年月日 明治三十八年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 奥田眞須二

沿革概要

五、其他必要ト認メタル事項

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ目下郡内ニ於ケル二町十八ヶ村ノ青年團ニシテ

其名稱ヲ擧ケレハ左ノ如シ

草上村青年團	福田村青年團	今城村青年團
豊原村青年團	豊村青年團	太伯村青年團
幸島村青年團	朝日村青年團	大宮村青年團
鹿忍町青年團	牛窓町青年團	玉津村青年團
長濱村青年團	本庄村青年團	裳勝村青年團
鶴山村青年團	美和村青年團	國府村青年團
行幸村青年團	笠加村青年團	

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

團長 奥田眞須二

副團長 石原 鎮 男

同 今 田 力 治

ロ、職員

幹事 石 原 博

明治十年ノ頃邑久郡内各町村各大字毎ニ青年ニテ組織セ
 ル一志社ト稱スル團體アリシカ明治三十七年日露戰役ノ
 當時自治の精神ノ向上ト青年ノ自覺活動ヲ促スヘク町村
 毎ニ青年團ノ組織ヲ獎勵實現セシカ、明治三十七年五月
 一日邑久郡教育會總會ニ於テ邑久郡聯合青年團組織ノ實
 施方法ヲ決議シ翌三十八年二月十一日遂ニ本團開會式ヲ
 舉ケ爾來逐年進展ヲ見ルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 本團ハ邑久郡各町村青年團ヲ以テ組織シ互ニ

氣脈ヲ通シ各團體ノ向上發展ヲ期スルヲ以テ

目的トス

ロ、事業

一、講習會、講演會、體育會等ノ開催

二、各種事業ノ調査研究

三、優良青年並ニ優良團體ノ表彰

四、各町村青年團ノ狀況報告

幹事 定本 勝治

資産(種目別)

器具其他備品 百二十六圓

維持方法

會費、補助金及其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 八四二、一七

昭和二年度決算額 歳入 八二九、六七

昭和三年度豫算額 歳入 七八四、九八

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

百八十六圓 昭和二年度 縣費獎勵金

百四十六圓 昭和三年度 縣費獎勵金

名稱 岡山縣御津郡聯合青年團

事務所所在地 御津郡今村、今村尋常高等小學校内

創設年月日 明治四十年三月

經營主體又ハ代表者 代表者 大森 團治

沿革概要

維新以來御野郡ニハ勸善社、津高郡ニハ恥勇社ナル青年ノ團體各村ニ存在セシカ日清日露ノ兩戰役ニ地方青年ノ活動大ナリシニ目覺メ三十九年ニ至リ内部文部兩大臣ハ訓令ヲ發シテ青年ノ向フヘキ道ヲ示シタリコ、ニ於テカ各村ニ青年團ノ設立ヲ見タリ

次テ明治四十一年四月時ノ郡長小野楨一郎氏ノ斡旋ニヨリ御津郡聯合青年團ノ設立ヲ見タリ爾來數度ノ改廢ヲ見タルモ歴代郡長ヲ以テ團長トシ郡視學ヲ副團長トシタリシカ大正十五年郡廢ノ結果全ク自治制トシテ現團長大森團治ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 郡内各町村青年團相互ノ連絡ヲ圖リ各團體ノ

向上發展ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 講習會、體育會、見學旅行、優良團體及團員

表彰視察員派遣、講演會、研究會

會員及分布狀況

一、會員數 三千五百

二、御津郡全體ニ亙リ各町村ヲ單位トシテ加盟團體二十六

主ナル役職名並其氏名

團長 大森 團治

副團長 石井 市次

同 村上 伊勢男

同 藤原 太郎

幹事 土光 午次郎

同 内田 始四郎

資産(種目別)

一、器具其他 十點

維持方法

補助金、寄附金、各町村分擔金、其他ノ收入金ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 一、〇〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、〇〇〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 一、五〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

百八十四圓 縣費補助 昭和二年度

百五十六圓 同 三年度

名稱 帝國在郷軍人會赤磐郡聯合分會

事務所所在地 赤磐郡瀬戸町大字瀬戸四〇番地

創設年月日 明治四十年四月

經營主體又ハ代表者 代表者 小坂 金吾

沿革概要

明治四十年四月赤磐郡在郷軍人會ヲ創設シ次テ明治四十

二年二月赤磐郡在郷軍人團ト改稱シ明治四十四年更ニ帝國在郷軍人會赤磐郡聯合分會ト改稱ス

昭和三年三月十五日聯合分會内ニ海軍班ヲ創設ス

目的及事業種類

イ、目的 各町村分會ヲ統一シ帝國在郷軍人會規約第八條ノ目的ヲ達成スルニアリ

ロ、事業

- 一、各町村分會ノ連絡統一ヲ圖ルコト
- 二、軍事能力増進、軍人精神ノ鍛鍊及軍事思想ノ普及ノ爲演武會講演會其他適切ナル事業ヲ行フコト
- 三、未教育補充兵ノ訓練ヲナスコト
- 四、各村分會ノ指導督勵ヲナスコト
- 五、入營者ノ慰問ヲナスコト
- 六、各町村分會事業ノ獎勵助成ヲナスコト

會員數及分布狀況

會員數 二九九〇名
 加盟團體 郡内各町村二十四團體
 主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長	小坂 金吾
副會長	西田 利惣治
同	直原 源太郎
監事	波 猛 同 植田 章信
同	道光 賴衛

ロ、職員

理事	重松 政夫 同 尾關 晴男
同	題 府 靜太 同 小出 光男
書記	小出 光男

維持方法

會員會費、補助金ニヨル

昭和二年年度豫算額 歳入 歳出

歳入	一、二七八、三一
歳出	一、二七八、三一

昭和二年年度決算額 歳入 歳出

歳入	一、三二二、二四
歳出	一、二三六、四六

昭和三年年度豫算額 歳入 歳出

歳入	一、二八三、三一
歳出	一、二八三、三一

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

二百三十四圓	國庫補助金	昭和二年
二百一十四圓四十錢	同	三年
二百五十四圓	縣補助金	二年
二百五十四圓	同	三年

名稱 岡山縣神職會

事務所所在地 岡山縣廳内

創設年月日 明治四十年六月九日

經營主體又ハ代表者 代表者 平 敏 孝

沿革概要

本會ハ明治四十年六月九日ノ創立ニ係リ其ノ當時ハ國典及祭式ノ講習ヲ以テ唯一ノ事業トシ收入モ亦講習料ヲ以

テ唯一ノ財源トシテ經營セシモ漸次會務ノ擴張發展ニ伴ヒ明治四十二年度以降縣費補助ヲ受クルニ至レリ更ニ大正九年度ヨリ事業ノ種目及維持經營ノ方法ニ根本的大改革ヲ決行シ以テ急激ナル進展ヲ遂ケ現在ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 神社行政ノ發展祭式及國典ノ講究神職行務ノ督勵

ロ、事業

神職養成ノ講習、現任神職講習供進使作法講習、雅樂講習、神宮大麻曆ノ頒布、神職會報ノ發行、講演會、神社關係功勞者表彰其ノ他

會員數及分布狀況

會員數 四百七十九名 縣下在住ノ神職主ナル役職名並其氏名

總理 三邊 長治
 會長 平 敏 孝
 副會長 黒崎 勝男

同 藤井 奎之助
 幹事 松浦 重夫 同伴 磐根
 同 定金 次一 同 中山 滿
 同 大塚 信男 同 爲貞 元臣
 同 片山 保二郎

資産(種目別)

一、基本金 三千六百十四圓十九錢
 二、器具其他物品 五百圓

維持方法

支部負擔金神宮大麻曆頒布收入縣費補助金及其他ノ收入ニヨル
 昭和二年年度決算額 歳入 六、三〇四、三六
 歳出 七、二七七、六〇
 昭和二年年度決算額 歳入 四、〇八五、一六
 歳出 六、五九六、〇〇
 昭和三年年度決算額 歳入 六、五九六、〇〇
 歳出 六、五九六、〇〇
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
 金二千圓 縣費補助金 昭和二年
 金二千圓 同 三年度

名稱 岡山縣神職會邑久郡支部

事務所々在地 邑久郡大宮村大字藤井
 創設年月日 明治四十年七月十二日
 經營主體又ハ代表者 代表者 支部長 太美 定雄
 沿革概要
 明治四十年七月十二日創立シ今日ニ至ル

目的及事業種類

一、目的 本會ニ隸屬シ神社行政ノ發展及國史ノ祭式ノ
 講究並神職行務ノ督勵並改善ヲ期スルヲ以テ
 目的トス

口、事業

一、神社ノ尊嚴ヲ益々明カニスルコト
 二、會員ノ修養ニ資スル爲メ講習會ヲ開催スルコト

維持方法

基本財産利子、各會員負擔金各神社氏子負擔金
 昭和二年年度決算額 歳入 四二九、〇〇
 歳出 五一七、六八
 昭和二年年度決算額 歳入 二五九、二七
 歳出 五三二、五三
 昭和三年年度決算額 歳入 五三二、五三
 歳出 五三二、五三
 獎勵金並補助金下附ノ有無
 金五十圓 本縣神職會補助金

名稱 帝國在郷軍人會御津郡聯合分會

事務所々在地 岡山縣岡山市巖井二、六〇四ノ一
 創設年月日 明治四十三年十月三十日
 經營主體又ハ代表者 代表者 河原 猛 夫
 沿革概要

本聯合分會ノ端ハ明治二十一年ニ發シ在郷兵談話會又ハ

會員數及分布狀況

會員數 二十八名(本郡各町村ニ在住スル神職)

主ナル役職名並其氏名

支部長 太美 定雄
 副支部長 武内 源吾
 幹事 高原 家俤 同岡崎 正夫
 評議員 淺原菅平太 同 由村 守治 同 大脇市次郎
 同 玉井 整吉 同 大西 染二
 會計 岡崎 正夫 同 中島 東美

資産(種目別)

基本財産 一千三百七十五圓六十八錢

在郷軍人談話會ト稱シ服務ニ關スル研究ヲナシ來リシカ
 明治四十二年ニ組織ヲ變更シ在郷軍人團ト稱シ時勢ニ應
 スル處置ヲ執レリ明治四十三年十一月帝國在郷軍人會ノ
 組織ナルヤ在郷軍人團ヲ養シ郡聯合分會ト稱シ現今ニ至
 レリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ軍人ニ賜ハリタル勅諭及在郷軍人ニ賜
 リタル勅語ノ精神ヲ奉體シ在郷軍人ノ本分ヲ
 完フスルヲ以テ目的トス

ロ、事業種類

- 一、講習講話ノ開催 豫 算 四〇、〇〇
- 一、招魂祭費 三〇〇、〇〇
- 一、視察(優良分會) 一〇〇、〇〇
- 一、表彰(優良會員) 一〇〇、〇〇
- 一、聯合大會ノ開催 七〇、〇〇
- 一、射撃會ノ開催 一〇〇、〇〇

- 一、武術會ノ開催 一〇〇、〇〇
- 一、慰問(在隊兵) 二〇、〇〇
- 一、其ノ他

會員數及分布狀況

所屬分會二十六分會ニテ會員數二千四百五十人ナリ

主ナル役職名並其氏名

- 分會長 河原 猛夫
- 分會副長 伊丹 東慶
- 同 竹岡利喜太
- 理事成廣藤助 同 高橋 寛
- 同 井上菊太 同 三ノ上利雄
- 監事 秋山丈七 同 福田方金
- 理事事務取扱 重谷竹治 同 川田幸太郎
- 書記 河原廣志

維持方法

所屬分會ノ負擔金、補助會及ヒ寄附金ニヨル

昭和二年決算額 歳入 一、五七八、〇〇〇

昭和二年決算額 歳出 一、四六八、八三〇

昭和三年度豫算額 歳入 一、三四九、五二〇

奨勵金並補助金下附ノ有無 歳出 一、九〇七、〇〇〇

二百三十八圓 昭和二年度 國庫補助金
 二百七十圓 同 縣費補助金
 二百一十四圓六十錢 同 三年度 國庫補助金
 二百七十圓 同 縣費補助金

名稱 帝國在郷軍人吉備聯合分會

事務所所在地 吉備郡統社町各種團體事務所内

創設年月日 明治四十三年十一月三日

經營主體ハ又代表者 代表者 聯合分會長 片岡里二

沿革概要

明治四十三年十一月三日帝國在郷軍人會規約ニ依リ設置

セルモノニシテ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 帝國在郷軍人會契約第八條ニ同シ
 ロ、事業 未教育補充兵ノ訓練、總會 武術會、體育
 會、射撃會、幹部講習會、優良分會表彰等

會員數及分布狀況

會員三千三百人ヲ有シ郡内各町村ヲ區域トナセリ

主ナル役職名並其氏名

- 聯合分會長 片岡里二
- 副同長 太田福三郎
- 同 渡邊壽男
- 理事 池上末吉 同 板野致則
- 同 武田三二 同 岡崎喜太郎
- 監事 樋上兼市 同 千原辰市
- 事務員 樋口定一

資産(種目別)

國庫債券 四百圓

維持方法

會員除出金及縣補助金ニ依ル

昭和二年年度決算額	歳入	一、三七九、〇〇
	歳出	一、一三〇、八六
昭和二年年度決算額	歳入	一、一三〇、八六
	歳出	一、一三〇、八六
昭和三年年度決算額	歳入	一、三三四、〇〇
	歳出	一、三三四、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

二百四十八圓	國庫補助	昭和二年度
二百六十圓	縣費補助	同 二年度
二百十九圓十錢	國庫補助	同 三年度
二百四十圓	縣費補助	同 三年度

名稱 財團法人英田郡教育會

事務所所在地 英田郡大原尋常高等小學校内

創設年月日 明治四十五年一月二十一日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

代表者 内藤繁雄

沿革概要

明治八年十月英田郡内小學校職員ヲ以テ教育ノ普及發達ヲ圖ルヲ以テ設立ス

明治三十三年舍野郡ト英田郡ト合併シテ新ニ英田郡ヲ置ル、ニヨリ同三十四年吉野郡教育會ト合併更ニ明治四十四年九月主務大臣ニ對シ財團法人設立ノ出願ヲ爲シ同四十五年一月二十一日之レヲ許可セラレ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ教育ノ普及發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、教育ニ關スル調査研究及意見ノ發表

二、講習會講演會及體育會ノ開設

三、會誌ノ發行及圖書ノ出版

四、學事ニ關スル視察又ハ教育ニ關スル集會等ニ

委員ヲ派遣スルコト

五、教育上ノ功績者並ニ善行者ヲ表彰スルコト

六、會員ヲ互助スルコト

七、教育文庫及教育參考館ノ施設ヲナスコト

八、通俗教育社會教育ノ施設

九、其ノ他教育上必要ナル事項

會員數及分布狀況

英田郡内各小學校教職員	一六五名
英田郡内各補習學校教職員	三一名
計	一九六名

主ナル役員名並其氏名

イ、役員	
會長	内藤 繁 雄
副會長	國司 郁 太郎
口、職員	

幹事 遠藤 悦二 同 山田 親太

同 倉田熊太郎 同 阿部郁太郎

同 平尾 門 平

資産(種目別)

一、基本金 一千圓

維持方法

寄附金補助金及會員費其他ノ收入ニヨル

昭和二年年度決算額 歳入 一、九五一、〇〇〇

昭和二年年度決算額 歳出 一、二九四、〇八五

昭和三年年度決算額 歳入 一、一六九、三〇五

昭和三年年度決算額 歳出 二、二一七、四二五

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

岡山縣ヨリ補助金	金二百二十圓	昭和二年度
同	金二百四十圓	同 三年度
英田郡各町村ヨリ補助金	金四百圓	同 三年度

名稱 上村報德會

事務所所在地 岡山縣兒島郡琴浦町大字上村一、三三二

創設年月日 明治四十五年四月九日

經營主體又ハ代表者 代表者 横山龜雄

沿革概要

明治四十五年四月九日報德會主唱者花田仲之助先生ヲ初メテ我縣ニ御迎ヘシ御來講ヲ願ヒ當日發會式ヲ舉行シ爾來十八ヶ年間毎月九日ヲ例會日トシ第七十二回ニ達シ時ニ盛衰アルモ毎月開催セリ伏見桃山報德會總務所ノ會則ニヨリ時ニ總務所ヨリ講師來講其他適當ノ講師ヲ迎ヘ又地方幹事藤原勳氏毎會來講指導ニヨリ今日迄永續セリ今年岡山縣教化團體聯合會ノ設立ヲ見加盟セリ

目的及事業種類

イ、目的 教育勸語聖訓ヲ奉體シ實行ヲ主旨トス又國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業 一、毎月一回例會ヲ開催ス

二、每會實行問題ヲ協議シ會員實行ヲ主トス

後ニ講師ノ講話ヲ仰クヲ例トス

會員數及分布狀況

部落男女會員 二百數十人

主ナル役職名並其氏名

上村報德會幹事(世話人)

地方幹事	藤原勳	同	横山龜雄
	松香眞次郎	同	松三明太
	山本定治	同	松三徳三郎
	佐藤靜太	同	角南金平

維持方法

篤志會員ノ寄附ニヨル

名稱 岡山縣後月郡佛教各宗同盟會

事務所所在地 後月郡西江原町正雲寺

創設年月日 明治四十五年六月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 高峰慈性

沿革概要

明治四十五年六月三十日本郡井原町善福寺ニ於テ發會式舉行大内青智居士ヲ特請シテ三日間一町二ヶ村ニ於テ大講演會ヲ開催ス其後事務所ヲ出部村金敷寺井原町常樂寺井原町妙典寺井原町善福寺然シテ現位置西江原町正雲寺内ニ移轉シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ佛教ノ眞理ヲ闡揚シ世道人心ノ維持ニ努メ國運ノ發展ヲ期スルヲ以テ目的トス

口、事業 本會ハ此目的ヲ達スルタメニ地方改良感化救濟事業ト司法保護事業ヲ行ヒツ、アリ

會員數及分布狀況

正會員五十三名 特別會員十五名 贊助會員二百三十名

分布狀況ハ後月郡内一圓

主ナル役職名並其氏名

イ、役員			
會長	高峰慈性		
副會長	佐藤法水		
常務理事	宮本宗仁		
口、職員			
庶務主任	宮本宗仁		
會計	藤井宗昌		

資産(種目別)

一、金一千三百三十一圓二十七錢四厘

内 譯

一、金一千二百六十一圓九十五錢	銀行預金
一、金十圓	有價證券
一、金三圓二十錢	郵便貯金
一、金五十六圓十二錢四厘	手元保管金

維持方法

郡内各寺院住職ノ負擔金ト縣、町村ノ補助金、司法省内輔成會
助成金並ニ特志寄附金等ニヨリ維持經營ス

昭和二年度豫算額

歳入 七八三、一五〇
歳出 六〇七、六〇九

昭和二年度決算額

歳入 五六一、四八五
歳出 五六、一二四

昭和三年度豫算額

歳入 七八三、一五〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

- 一、獎勵金 輔成會ヨリ三十二圓
- 一、補助金 縣費補助金六十圓

町村補助金百七十圓十錢

名稱 美作佛教各宗自修會

事務所所在地 津山市西寺町十一番地

創設年月日 大正元年九月二十八日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 會員組組

沿革概要

大正元年明治大帝崩御マシマシ大正天皇登極ノ初ニ當リ
恩詔ヲ下シテ罪囚ヲ特赦セラル此ノ大令ヲ見コ、ニ感ス
ル所アリテ美作一圓ノ佛教徒起チテ本會ヲ創立シテ恩典
ニ浴セルモノ及將來一般ノ釋放者ヲ保護シ之レヲ無限絶
對ナル佛陀ノ慈光ニ浴センメテ改過遷善シテ本然ノ性情
ニ歸リ獨立自營以テ聖代ノ良民タラシメンコトヲ主目的
トシテ成立シ以來現在マテ年々著シキ成績ヲ示シツ、ア
リ

更ニ大正六年教化事業ヲ併置シ國民道德ノ振作精神作興
ヲ圖ル目的ニテ年々各種教化ニ關スル講習會講演會ヲ開
キ目的ノ貫徹ニ努力シツ、アリ
而シテ今回岡山縣教化團體聯合會ニ加盟セリ

目的及事業種類

イ、目的

イ、釋放者ヲ保護シ獨立自營ノ良民トナシ併
セテ一般犯罪防止ニ努ム

ロ、國民道德ノ振作自治ノ發達ヲ期シ教化改
善ニ努ム

ロ、事業種類

- イ、釋放者ヲ收容シテ直接保護ヲナス
- ロ、保護事業ニ關スル調査研究並ニ諸設備ヲナス
- ハ、教化事業ニ關スル調査研究ヲナス
- ニ、教化ノ目的ニテ講習、講演會ヲナス
- ホ、部落改良、融和促進ニ關スル事項
- ヘ、其他目的達成上必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

正會員數 二百十三名

會員ハ佛教徒ニシテ各宗寺院住職ヲ正會員トシ他ニ名譽、特別
維持會員アルモ之レハ本會特ニ推舉セル會員ナレハ其數少ク亦

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

- 會長 安田 無染
- 副會長 井上 觀潤 同 牧野 寬嶺
- 評議員 二十五名
- 議長 秋成 魁天 副議長 松尾 智猛

ロ、職員

常務並ニ保護主任 井上 觀潤

事務主任 牧野 寬嶺

資産(種目別)

一、基本金 八百四十二圓

タ主要ナル會務ニハ一切參與セス仍テ分布狀況不定

正會員モ美作一市五郡ニ散在スル寺院住職ナレハ寺院所在地ヲ
以テ之ニ充ツノミ今美作一市五郡ノ會員數ヲ示セハ左ノ如シ

- 津山市 二七 巨田郡 三八 久米郡 四〇
- 眞庭郡 五三 勝田郡 二九 英田郡 二六

計 二二三

一、器具其他物品 百十九圓三十錢
 一、印刷物 七十六圓二錢

合計 九百九十五圓七十四錢

維持方法

會費、補助金獎勵金寄附金ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 一、四五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、二三七、二四〇

昭和三年度豫算額 歳入 一、一九〇、六〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

二百圓 宮内省御下賜金 昭和二年度

二百圓 同 三年度

五十九圓 司法省獎勵金 昭和二年度

三十圓 司法省獎勵金 同 三年度

四百五十圓 縣並ニ町村補助金 昭和二年度、同三年度計

備考

御大典記念事業並ニ事業徹底遂行ノ意味ニ於テ會館其他附屬建

物ヲ新築スルコトニ決定シ着々準備中ナレハ本年度中ニハ竣工
 ヲ終ル見込ナリ
 尙基金ヲ募集シ財團法人組織ニ變更シ内容ノ充實ヲ計ル豫定ニ
 テ二萬圓募集ニ從事中

名稱 岡山明德會

事務所所在地 岡山市瓦町蔭涼寺内

創設年月日 大正元年十一月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 高橋 探禪

沿革概要

本會ハ岡山市内各宗派寺院住職カ主唱シテ、大正元年十
 一月創設セラレ今日ニ至レリ

目的及事業種類

一、目的 聖旨ヲ奉體シ佛祖ノ慈光ヲ仰キ以テ刑餘ノ同
 胞ヲ保護、感化救済シ正義ニ從ヒ國家ノ良民

クラシムルヲ以テ目的トス

口、事業

一、釋放者保護

二、保護思想ノ普及

三、融和思想ノ普及

會員數及分布狀況

一、會員數 五十二名

二、分布狀態 岡山市一圓

主ナル役職名並其氏名

會長	高橋 探禪
副會長	栗正 賢昇
理事	田中 掌玉
同	藤田 道貫

資産(種目附)

一、基本金 二千四十一圓五十五錢

二、器具其他物品 六圓三十錢

維持方法

會員會費、補助金、獎勵金等ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 一、〇三〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、〇二二、八九

昭和三年度豫算額 歳入 八二五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金二百圓 御下賜金 昭和三年二月十一日

金四十一圓 司法省ヨリ補助金 昭和二年度

金百圓 岡山縣ヨリ同上 同 二年度

金百五十圓 岡山市ヨリ同上 同 二年度

名稱 聖德記念邑久郡修心會

事務所所在地 邑久郡鹿忍町寶光寺内

創設年月日 大正二年二月

經營主體又ハ代表者

口、代表者 最明快運

沿革概要

本會ハ大正二年二月創設ニシテ邑久郡佛教各宗寺院住職ヲ以テ會員トシテ協同ノ許ニ其ノ事業ヲ經營シ來リ目的ハ出所者釋放者ヲ歸住地ニ於テ指導誘掖シテ間接保護ヲ加ヘ或ハ時服ヲ給與シ就業資金ヲ貸與シ並ニ刑ノ執行猶豫者起訴猶豫者微罪不檢者等ヲ保護善導シ一面地方改良部落改善思想善導ノ事業ヲ經營ス

目的及事業種類

一、目的 釋放者保護善導

二、事業 一、執行猶豫起訴猶豫微罪不檢者等保護善導

スルコト

二、地方改良部落改善思想善導スルコト

會員數及分布狀況

邑久郡一圓ニシテ佛教各宗協同ニシテ會員數三十餘名

主ナル役職名並其氏名

會長	最明快運
副會長	阿河祐恭
布教師	徳田智圓
同	服部諦玄
同	中川辨信
會計係	葉上祐皎

資産(種目別)

一、金二千一百二十七圓五十一錢

維持方法

補助寄獎勵金寄附金會費其他收入金

昭和二年度豫算額	歳入	五三〇、〇〇〇
	歳出	五二五、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	二六六、一三〇
	歳出	二二八、七六五
昭和三年度豫算額	歳入	五三五、〇〇〇
	歳出	五三〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ省無(昭和二、三年度)

五十四 岡山縣補助金	昭和二年度
八十四 同	同 三年度

三十四 司法省獎勵金 昭和二年度

名稱 淺口郡明德會

事務所々在地 淺口郡西阿知町法嚴寺内

創設年月日 大正二年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 龜井山聖演

沿革概要

大正二年四月一日岡山市外五郡聯合ニテ免囚保護機關明德會淺口郡支部トシテ設立セリ

大正八年四月一日一市五郡各々分離創立シ郡長ヲ以テ會長トナセルカ同十五年七月一日ヨリ廢郡トナリ警察署長ヲ會長トセシカ昭和三年八月十四日選舉ニヨリ現任會長當選シ今日ニ至レリ

目的及事業種類

一、目的 司法保護其他社會事業ヲ經營スルヲ以テ目的トス

二、事業 一、起訴猶豫、執行猶豫者保護ヲナスコト

二、疾病罹災者ノ救濟事業ヲナスコト

三、教化運動ヲナスコト

會員數及分布狀況

五十三名ニシテ郡内佛教各宗寺院住職

主ナル役職名並其氏名

會長	龜井山聖演
保護主任	龜井山聖演
幹事	住友亮映

資産(種目別)

六百圓	農工債券
八百五十圓	預金
合計	一千四百五十圓

維持方法

會員負擔金、補助金、獎勵金其他ノ收入ニヨル

昭和二年年度決算額	歳入	八〇三、〇〇
	歳出	五〇三、一六
昭和二年年度決算額	歳入	四九三、〇五
	歳出	八〇三、〇〇
昭和三年年度決算額	歳入	八〇三、〇〇
	歳出	八〇三、〇〇
獎勵金並補助下附ノ有無(昭和二、三年度)		
一、金二百圓	二、三年度分	宮内省御下賜金
一、金五十圓	同	司法省獎勵金
一、金一百圓	二、年度	岡山縣補助金

名稱 岡山縣上房郡興仁會

事務所所在地 上房郡高梁町安正寺内

創設年月日 大正二年五月二日

經營主體又ハ代表者 代表者 國府 富治

沿革概要

明治天皇御聖徳ヲ追慕シ大正二年五月二日創立以來今日

ニ至ル

目的及事業種類

事業 釋放保護送迎、社會事業、職業紹介無料宿泊、融和事業、貧困者救助其他

會員數及分布狀況

五十五名 上房郡一圓町村長ハ顧問

主役職名並其氏名

會長 國府 富治

副會長 植田 道琳

支部長 大本 大成(南部) 北野 宗成(東部)

同 宮 宗孝 正(北部)

幹事 竹 中智燈 同 宇喜多隆道

評議員十四名以上

資産(種目別)

金二千二百圓 維持資金

維持方法

會員除金資金利子補成會

昭和二年年度決算額	歳入	三六〇、〇〇
	歳出	三六〇、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入	三八五、〇〇
	歳出	三八五、〇〇
昭和三年年度決算額	歳入	三九〇、〇〇
	歳出	三九〇、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無		
二十四	司法省補成會	昭和二年
三十四	岡山縣	同 二年度

名稱 岡山縣阿哲郡至誠會

事務所所在地 岡山縣阿哲郡新見町大字新見

創設年月日 大正二年九月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 片山長之助

沿革概要

大正二年免囚者保護ノ目的ヲ以テ設立シ大正十三年社會

教化事業ヲ併置シ更ニ大正十五年融和事業ヲ加ヘ今日ニ至ル

目的及事業種類

事業 一、免囚者保護

二、教會教化

國民精神ノ作興ヲ圖ル

三、融和促進

會員數及分布狀況

會員 八十五名 郡内各寺院及有志者

主ナル役職名並其氏名

會長 片山長之助

副會長 阿部 徹

同 秩父 禪 詰

理事 竹 本 裕

外 十三人

資産(種目別)

現金 一千六百三十圓

維持方法

會員會費負擔、托鉢金、寄附金、補助金

昭和二年年度豫算額 歲入 一、一一八、〇〇〇

昭和二年年度決算額 歲入 七八一、二二六

昭和三年年度豫算額 歲入 八三六、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

二十一圓 昭和二年 司法省獎勵金

七十圓 同 二年 縣補助金

名稱 岡山縣司法保護聯合會

事務所所在地 岡山市二日市町岡山刑務所内

創設年月日 大正二年十一月十日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織

代表者 大原公平

沿革概要

大正元年 明治大帝崩御ニテリ特赦減刑ノ恩典ヲ布カレ其惠澤ニ浴スル者多ク之カ保護ノ要益ニ緊切ナルヲ加ヘタルヨリ同年及翌二年ニ互リ議會相前後シテ創立セラレ勢ヒ各機關相互ノ聯絡統一ヲ圖ルノ必要ヲ生シタル結果大正二年十一月十日本會ヲ創立セリ而シテ最初會名ヲ岡山縣出獄人保護機關聯合會ト稱セシカ其後岡山縣免囚保護聯合會、岡山縣保護聯合會ト改稱シ昭和二年十一月會則ノ改正ノ結果更ラニ岡山縣司法保護聯合會ト改稱シテ現在ニ及ヘリ

目的及事業種類

イ、目的 岡山縣下ニ於ケル各機關相互ノ聯絡統一及事業ノ改善充實ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、中央保護機關、各刑務所及保護機關等トノ聯絡

交渉又ハ應答

一、保護思想ヲ宣傳スル爲メ隨時管内ニ於テ講演會ヲ開催ス

三、事業ノ實況ヲ知ラシムル爲メ會報ヲ發行ス

四、保護ノ周到ヲ期スル爲メ必要ト認ムル者ニ對シ收容保護又ハ一時保護ヲ加フ

五、信用購買組合ノ經營

六、其他目的達成上必要ト認メラル、事項

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ目下十九ヶ團體ニシテ其名稱ハ左ノ如シ

自 省 會	自助興産館	自 修 會
同 盟 會	修 心 會	興 仁 會
佛 教 會	道 德 會	至 誠 會
慈 教 會	演 濟 會	明 教 會
清 心 會	岡山明治會	御津郡明治會
赤穂郡明治會	淺口郡明治會	和氣郡明治會
上道郡明治會		

而シテ以上十九會ヲ正會員トシ其他名譽會員、特別會員、賛成

會員ノ三種アリテ直接間接本會事業ヲ援助セリ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長	大原公平
常務理事	吉留義憲
理事	楠正雄 同 龜井山聖演
同	山本鐵吉 同 華山海應
同	豊田日珣 同 小野嘉四郎
同	河合哲
同	洪濟會 同 修心會
同	三澤謙良 同 雨村信七
同	同盟會 同 佛教團
同	正岡好太郎 同 根田兼治
口、職員	
主事	中尾絢夫 同 妹尾孝太郎

資産(種目別)

一、資本金	二千圓
一、什器	九百三十三圓八十六錢
一、事業部資金	千六百圓六十九錢
一、有價證券其他	八十七圓八錢
一、銀行預金	二千四十五圓
一、現金	四百六十七圓二十五錢
合計	金七千三百三十三圓八十八錢

維持方法

寄附金、補助金、獎勵金及其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	一〇、〇〇〇、〇〇〇
	歳出	一〇、〇〇〇、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	四、七六九、九七〇
	歳出	二、二二七、七二〇
昭和三年度豫算額	歳入	五、五〇〇、〇〇〇
	歳出	五、五〇〇、〇〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		
四百圓	御下賜金	昭和三年二月十一日
九十圓	司法省ヨリノ獎勵金	同 二年度
百五十圓	岡山縣ヨリノ補助金	同 二年度
四百圓	御下賜金	昭和四年二月十一日

八十圓 司法省ヨリノ獎勵金 昭和三年度

名稱 倉敷市都窪郡慈教會

事務所々在地 倉敷市八八七番地觀龍寺内
創設年月日 大正二年十一月二十日

經營主體又ハ代表者 代表者 村田 密禪

沿革概要

大正二年十一月事務所ヲ都窪郡役所内ニ置キ郡長ヲ會長ニ倉敷警察署長ヲ副會長ニ囑託シ郡内佛教各宗寺院住職司法保護ノ任ニ當リ都窪郡一圓ヲ保護區域トシ大正十二年四月事務所ヲ前記觀龍寺内ニ移シ村田密禪ヲ會長トシ以下全部僧侶ヲ役員トシ司法保護事業ヲ經營シ昭和二年度ヨリ融和事業ヲ兼營セリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ刑餘者ヲ保護シ思想ヲ善導シ累犯ヲ未

然ニ防遏シ改過遷善ノ實ヲ學クルヲ目的トシ及融和促進ヲ計ルニアリ

口、事業 釋放人保護及融和事業

會員數及分布狀況

名譽會員十名 特別會員十五名 通常會員六十四名
倉敷市及都窪郡十六町村所在佛教各宗寺院住職ヲ以テ司法保護ノ任ニ當ラシム

主ナル役職名並其氏名

會長	村田 密禪
副會長	山本 隆海
常務理事、保護主任	龜山 俊岡
理事	井奥 義憲
同	安井 智教
幹事、會計主任	千葉 正衛

資産(種目別)

金六百七十四 基本金 銀行預金

維持方法

會費、獎勵金、助成金寄附金

昭和二年度豫算額	歳入	一、四四七、〇〇〇
	歳出	一、四四七、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一、二二一、七五〇
	歳出	一、二二一、七五〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、四四七、〇〇〇
	歳出	一、四四七、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

宮内省御内帑金、輔成會補助金、縣費補助金、倉敷市及都窪郡十六町村補助金

名稱 岡山縣吉備郡洪濟會

事務所々在地 岡山縣吉備郡股部村大福寺内
創設年月日 大正二年十二月

經營主體又ハ代表者 代表者 秦 義雄

沿革概要

本會ハ創立以來明治天皇御聖德報恩記念ノタメ免囚間接

保護及ヒ感化救濟地方改善其他慈善事業等ヲナシ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 免囚者保護ヲ目的トシ

ロ、事業 地方改善貧民救濟人種平等融和促進等ヲ計ル

會員數及分布狀況

岡山縣吉備郡各宗各派寺院住職一般會員トナス

主ナル役職名並其氏名

會長 秦 義 雄
副會長 天 峰 雪 岩
事務理事兼保護主任 高 木 龍 馨

資産（種目別）

二百五十圓 但シ帝國公債一百圓券二枚、五十圓券一枚
三百圓 銀行定期預金トス但シ御内帑へ御下賜積立

維持方法

各寺院住職一般ヨリ會費ヲ徵收シ維持ス

昭和二年度決算額

歳入 四三七、〇〇
歳出 四三七、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 四三七、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 四七三、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）

獎勵金 昭和二年三年共下附セラル

縣補助金 昭和二年三年共交附セラル

名稱 赤磐郡明德會

事務所々在地 赤磐郡瀬戸町大字瀬戸四十番地

（別ニ執務所、同郡湯瀨村大字肩背）

創設年月日 大正三年一月

經營主體又ハ代表者 代表者 片 山 嘉 一

沿革概要

大正三年一月岡山明德會赤磐郡支部トシテ創設シ

基本金二千圓ノ募集ニ着手ス（一戸平均二十三錢）

大正八年四月赤磐郡明德會ト改稱ス

會長ハ代々ノ郡長ヲ推戴セシカ大正十五年八月會則ヲ改

正シ民間會長ヲ選舉ス

目的及事業種類

イ、目的 佛教主義ニヨリ郡内ニ於ケル釋放者ノ保護及

犯罪防止ニ適當ナル事業ヲ行ヒ社會ノ教化ヲ

ナスヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、釋放者又ハ入所者ノ家族ノ保護救濟

二、釋放者ノ職業選擇、紹介及交渉

三、入所者ノ書信及訪問教誨

四、鄉黨及親族間ノ融和調停

五、正業資金給與及貸與

六、釋放者保護思想ノ普及並ニ社會改善ニ關スル講

演會開催

會員數及分布狀況

會員數 一一二名

郡内各寺院及各町村ニ會員ヲ有ス

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 片 山 嘉 一

幹 事 道 光 賴 衛

ロ、員

主 事 渡 邊 憲 朝

布教師 榎 智 全

理 事 竹 井 觀 曉 同 片 岡 觀 忠

同 錄 田 觀 信 同 今 田 賢 舜

同 葉 上 慈 照 同 田 中 掌 玉

書 記 小 出 光 男

資産（種目別）

一、基金 二千四百三十圓五十錢

維持方法

基本金ヨリ生スル利子、會員會費、各寺院ノ釀金各町村ノ寄附金、篤志寄附及補助獎勵金ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	一、五九五、〇〇
	歳出	一、四五二、三九
昭和二年度決算額	歳入	一、三八六、一八
	歳出	一、七六八、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、七六八、〇〇
	歳出	一、七六八、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

三十圓	司法省ヨリノ獎勵金	昭和二年度
一百二十圓	縣ヨリノ補助金	同 二年度

名稱 御津郡明德會

事務所所在地 岡山市品井町

創設年月日 大正三年三月

經營主體又ハ代表者 代表者 藤井靜一

沿革概要

大正三年三月初メテ岡山縣明德會支部ヲ御津郡ニ設置ノ

件郡内各宗寺院住職ニテ決定シ支部長ハ當分御津郡長ヲ推薦スルコト、ナリ其總會ニ於テ基本金三千圓ヲ募集スルコトヲ決議シ漸ク大正十年三月ニ至リ豫定ノ通り基本財産約三千圓ヲ得以來之ヨリ生スル利殖ヲ基本トシ現在御津郡明德會トシテ活動セリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ佛陀ノ本懷ニ則リ釋放者及入所者ノ家族ヲ保護救済シ社會改善ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ス

ロ、事業 本會ハ前項ノ目的ヲ達スル爲訓誨職業ノ紹介講演其他適切ナル方法ヲ講スルモノトス

會員數及分布狀況

本會正會員 二十五人

特別會員百三十人ニシテ正會員郡内寺院住職ヲ以テシ特別會員ハ郡特志者ヲ以テ各町村ニ分布セリ

主ナル役職名並其氏名

會長	藤井靜一
副會長	豊田日瑠
同	江田節男
幹事	重谷竹治 岡崎觀是
同	葉上慈照 大野薰秀

資産(種目別)

基本金

イ、日本信託銀行株券四十五株

但シ一株五十圓拂込済

ロ、定期預金七百八十九圓九十三錢

維持方法

基本財産ヨリ生スル收入及補助金、獎勵金、會費、其他

ノ收入ニ依ル、寄附金

昭和二年度豫算額	歳入	八七五、〇〇
	歳出	五七九、六六
昭和二年度決算額	歳入	二八三、三五
	歳出	二八三、三五

昭和三年度豫算額 歳入 八三五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

三十圓 昭和二年度 司法省獎勵金

名稱 岡山縣上房郡聯合青年團

事務所所在地 上房郡高梁尋常高等小學校内

創設年月日 大正四年二月二十日

經營主體又ハ代表者 代表者 三村 高右衛門

沿革概要

日露戰爭直後郡内各町村ニ青年團創立ヲ見ル

明治四十一年上房郡青年團監部組織サレ郡長之カ部長ト

ナリテ町村青年團ノ連絡及指導ニ當ル

大正四年二月上房郡監部ヲ廢シ大正四年度ヨリ上房郡聯

合青年團ヲ設立ス

目的及事業種類

イ、目的 郡内各町村青年團相互ノ連絡ヲ圖リ着實穩健ナル發達ヲ遂クルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、教化事業ノ聯合提携ヲ圖ルコト
- 二、教化事業ニ關スル調査研究ヲナスコト
- 四、教化事業振興ニ關スル施設ヲ講スルコト
- 五、其他

會員數及分布狀況

本團加盟團體ハ十六團體ニシテ其名稱ヲ舉クレハ次ノ如シ
團員數千二百名

松山村青年團	巨瀬村青年團	高梁町青年團
有漢村青年團	川面村青年團	上有漢村青年團
津川村青年團	中井村青年團	上竹莊村青年團
中津井村青年團	豊野村青年團	菅部村青年團
下竹莊村青年團	上水田村青年團	吉川村青年團
水田村青年團		

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

團長	三村 高右衛門
副團長	横上若太郎
理事	金田 基 同室 貞一
同	良田四郎 同横上若太郎
代議員	良田四郎

ロ、職員

書記 戸田 義夫

維持方法

補助金、負擔金、寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額	歳入 五五二、〇〇〇	歳出 〇
昭和二年度決算額	歳入 七八六、四三〇	歳出 六四八、八九五
昭和三年度決算額	歳入 六一〇、〇〇〇	歳出 〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
縣聯合青年團ヨリノ補助金

主ナル役職名並其氏名

支會長

野崎 又太郎

幹事

尾形惣三郎

同

入江 勝胤

維持方法

會員ノ會費ニ依ル

昭和二年度決算額	歳入 一一〇、〇〇	歳出 〇
昭和二年度決算額	歳入 一一五、〇〇	歳出 〇
昭和三年度決算額	歳入 一一〇、〇〇	歳出 〇

名稱 上道郡明德會

事務所所在地 上道郡高島村賞田安養寺内

創設年月日 大正六年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 松田 圓堯

名稱 日本弘道會岡山支會

事務所所在地 岡山市東田町二十九番地

創設年月日 大正四年十一月十四日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 野崎又太郎

沿革概要

大正天皇御即位大禮記念事業トシテ設立今日ニ至ル

目的及事業種類

目的 國民道德ノ振興ヲ圖リ教育聖詔ノ普及ヲ期スルニ

アリ

會員數及分布狀況

四十八人 岡山市全體

沿革概要

大正六年四月創立ニシテ最初ハ岡山市ニ設立セル明德會所屬ニシテ明德會上道郡支部ト稱セシモ大正八年四月分離獨立シテ上道郡明德會ト改稱シ事業繼續經營シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 佛陀ノ慈光ヲ仰キ同胞相愛ノ實ヲ學ケントス
ロ、事業 一、釋放者ヲ間接保護シ且ツ社會ニ保護思想ヲ宣傳ス

二、融和事業ヲ兼ネ行フ

會員數及分布狀況

上道郡西部ノ各宗寺院住職ヲ以テ會員トシ、宇野村、高島村、平井村、三橋村、沖田村、採陽村、富山村ノ七ヶ村ヲ十一ニ區劃シ各分區員ヲ置キ事務ヲ負擔ス

主ナル役職名並其氏名

會長 松田 圓堯
常務理事 今田 賢純

教誡師

細川 圓省

資産(種目別)

金二百十五圓九十九錢

維持方法

篤志者寄附及會員托鉢修行寄附金ヲ以テ充ツ

昭和二年度豫算額

歳入 二九三、七三五

昭和二年度決算額

歳入 二六七、九二五
歳出 五一、九三五

昭和三年度豫算額

歳入 二八五、九九〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

金十圓 昭和二年度 司法省獎勵金
金三十圓 同 三年度 同上

名稱 中川村濟世會

事務所々在 小田郡中川村役場内

創設年月日 大正七年七月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 江木 伯助
目的及事業種類

事業 病貧者救済

資産(種目別)

一、資金 三百圓

維持方法

一般篤志者ノ篤志寄附及村補助

名稱 修養團岡山縣聯合會

事務所々在 岡山市一番町(岡山縣教育會事務所内)

創設年月日 大正八年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 國富友次郎

沿革概要

大正四年八月福島縣磐梯山麓檜原湖畔ニ本部第一回鍛鍊講習會ヲ開催サレタル其餘波向上誌ノ報スル明ルキ社會

建設ノタメ熱烈火ヲ吐クノ感一度躍動シ禁スル能ハス縣

下憂國ノ志士或ハ檄ヲ飛シ現代世道人心ノ廢頹ヲ患ヒ大

正七年十月時ノ元本部幹事長タリシ後藤靜香氏ヲ聘シ徹

宵快談祖國ノタメニ死ヲ屠シテ立チ上ルモノ滿場百五十

人此時岡山縣支部トシテ生レ翌八年二月十一日設立手續

ヲ了シタリ、爾來會長ノ變ハルコト、三代即チ山本貞之

助能勢頼俊、國富友次郎トナリ今日ニ至ル

今ヤ團勢日ニ月ニ伸展シ各郡町村ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ皇室ヲ重シ國民精神ノ作興ヲ

圖リ實行實動ヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、鍛鍊講習會、講演會並ニ見學旅行、體育獎勵

一、先覺者トノ提携、縣下修養團支部トノ聯絡

一、本部其他國家社會ノ有益ナル教化團體トノ聯絡

援助

一、其他本會ノ目的ヲ達スル必要ナル事業
會員數及分布狀況

正團員 五、六二五人

各都市町村學校會社ニ分布セリ

主ナル役職名並其氏名

本部團長	平沼 麒一郎
當聯合會長	國富 友次郎
副會長	内田 證一郎
幹事長	茂業 弘兼
幹事	河原 澄衛 同 田中 筆次
	柴部 壽男 同 内田 輝太郎
	森 田 清 同 小筱 幸吉
	濱 田 圓明 同 鳥越 保太
	坪 井 岩一 同 田中 猪作
	石原 經太郎 同 仲原 鹿太郎
	堀 田 萬義 同 谷 本 峻

同	本郷 元太郎	同	梅 延 誠一
同	土光 午治郎	同	楠原 馬治郎

資産(種目別)

基本財産 金四百二十四圓四十錢 貯金通帳

維持方法

事業費通信費等一切ノ費用ハ特志寄附、幹部離出、代理部取次手数料 講師謝禮金中ヨリ寄附
(派遣講師旅費自辨無手當、奉仕組織)

名稱 溫 交 濟 世 社

事務所所在地 上道郡津田村大字君津

創設年月日 大正八年三月十六日

經營主體又ハ代表者 荻野 博

沿革概要

大正三年頃ヨリ社團ノ創設ヲ爲スヘク有志者間ニ協議ヲ

進メツ、アリシモ議熟セス好期ノ來ルヲ待チシモ斯クテハ限ナキ事ナレハ意ヲ決シ有志七名ト共ニ大正八年三月十六日組織ヲ了シ爾來社員相互ノ協力勉勵ト縣當局並ニ先覺諸賢ノ指導後援ニヨリ大正十年二名ヲ、大正十一年六名ヲ、大正十五年五名ヲ増シ現在社員二十名ヲ有シ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

イ、目的 畏クモ 教育勸語及戊申詔書ノ御主旨ヲ奉體シテ至誠協濟世精神ヲ發揮シ恒心ト恒産トヲ堅實ニシ永遠ニ親和幸福ノ増進ヲ圖リ社會公益事業ノ經營又ハ援助ヲナシ道德ト經濟ノ調和併進セル生活ノ實現ヲ期ス

- 口、事業種類 一、修養部 二、經濟部 三、奉仕部
四、共濟部 五、互惠部 六、調査部
七、宣傳部

會員數及分布狀況

會員數 二十名ニシテ

津田村大字君津内ニ住居スルモノ

主ナル役職名其氏名

役員	
理事長	荻野 博
專務理事	今中 正次
理事	福江 若松
同	奥山 七二

資産(種目別)

金一千一百二圓

維持方法

經濟部負擔金、補助金、特志家寄附金

昭和二年度豫算額 歳入 一七五、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一八四、七三

昭和三年度豫算額 歳入 一九八、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

五十二圓 縣補助金 昭和二年度
四十四圓 同 同 三年度

名稱 岡山縣佛教報國團

事務所所在地 岡山市小橋町國清寺内

創設年月日 大正八年八月八日

經營主體又ハ代表者 代表者 華 山海 應

沿革概要

內尊皇護國ノ祖訓ヲ服膺シテ建國ノ大義ヲ闡明シ風教ノ刷新ヲ計リ健全ナル國家觀念ノ發達ヲ期シテ國體ノ精華ヲ發揮シ外佛陀ノ矜衷本誓ヲ體シ我皇仁慈ノ聖旨ヲ奉シテ世界平和ノ確立ニ力メ大ニ世界ノ文化ニ貢獻セントシテ大正八年八月八日創設ス

目的及事業種類

事業 一、佛教ノ道統ヲ發揮シテ世界ノ文化ニ貢獻シ人

類究竟ノ目的タル理想實現ニ努力スルコト

一、婦人ノ淑徳ヲ涵養シ青少年ノ人格ヲ養成シテ

家庭ノ平和ト社會ノ改善ヲ圖ルコト

一、感化救濟事業ノ發展充實ヲ計リ濟生利民ノ事

業ヲ策シテ佛陀大慈ニ浴セシムルコト

會員數及分布狀況

岡山縣下各宗有志寺院

主ナル役職名並其氏名

理事長	華 山海 應
理事	森 定 良 順 同 豐 田 日 珣
	同 森 川 純 海 同 花 房 日 秀
	同 栗 正 賢 昇 同 橫 山 日 省
	同 龜 山 俊 岡 同 能 仁 事 一
	同 磯 谷 惠 海 同 赤 松 佛 海
	同 西 崎 念 教 同 村 上 大 榮
	同 北 川 大 成 同 福 井 惠 乘

同	津 田 明 導	同	石 川 靈 峰
同	楠 正 雄	同	野 村 恭 道
同	津 下 秀 雄	同	桑 藤 雄

資産(種目別)

金百九十八圓三十三錢

維持方法

割當金、寄附金ソノ他ニヨル

名稱 日里村濟世會

事務所所在地 川上郡日里村(日里村役場内)

創設年月日 大正八年十二月十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 竹 井 善 定

沿革概要

大正七年米價暴騰ノ際窮民救濟ノ目的ヲ以テ米價調濟會ヲ組織シ恩賜金(村へ)其他特志家ヨリ寄附セラレタル

金穀ヲ米價調濟會ナルモノニ補助セラレ該會ニ於テ救濟ノ法ヲ講シタル決算殘金ヲ學ケテ本會ニ寄託セラレタルヲ以テ之ヲ繼承シテ本會ヲ組織シ毎年基金ノ利息ノ幾分ト村費補助トヲ以テ罹災者救助貧民救濟ヲ行ヒツ、アリ

目的及事業種類

一、目的 聖訓ヲ奉戴シ濟世顧問制度ノ精神ニ則リ村民

一致安寧幸福ヲ期スルモノナリ

一、事業 窮民ノ疾病傷痍非常災害罹災者ノ救濟救助、

其他一般的社会事業

會員數及分布狀況

會員總數 百十一名

村內各部落ニ在リ

主ナル役職名並其氏名

會長	竹 井 善 定
副會長	缺 員
評議員	渡 邊 辨 次 郎 同 原 田 新 一

評議員 山室市次郎 岡山室喜三郎
同 澤木龜一 同竹井善定

資産(種目別)

貯金 九百九十圓八十八錢(三年十二月末現在)

維持方法

村費補助毎年百圓ト基金ヨリ生スル利息トヲ以テ維持ス

昭和二年決算額

歳入 一五〇、〇〇〇
歳出 一〇〇、〇〇〇

昭和二年決算額

歳入 一五五、四二二
歳出 八四、八五

昭和三年決算額

歳入 一六〇、〇〇〇
歳出 一〇〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

百圓 昭和二年度(日里村)

百圓 同 三年度(同)

名稱 岡山縣協和會

事務所所在地 岡山縣廳社會課内

創設年月日 大正九年九月十九日

經營全體又ハ代表者 代表者 大原孫三郎

沿革概要

岡山縣ノ部落改善運動ハ遠ク明治三十七年頃ヨリ始マリ
備作平民會、聯合改善會、岡山縣同志會等ノ運動ハ文字
通り血ト涙トニ綴ラレテ來タ然シ改善ニ依リテ解放ハ望
ミ難ク相互ノ人々ノ接近融和ヲ圖ルコトニ依リテ始メテ
解決シ得ラルヘキ筈テアツタ此ノ親易キ道理ヲ道理トシ
テ認メラレナカッタ時代ハ何時シカ過去トナツテ大正九
年八月岡山縣ニ於ケル官公職ヲ帶フル者ト一般有志者ト
要改善地區側ノ人々トカ三角同盟式ニ相互ノ協力融合ヲ
目的トシテ本會ヲ組織シ同年九月十九日ソノ創立ヲ見事
務所ヲ岡山縣廳社會課内ニ置ク
大正十一年一月劃期時代ニ於ケル本運動ノ便宜上事務所
ヲ縣廳外ニ轉ズ
昭和三年十月事務所遂行ノ都合ニ依リ事務所ヲ縣廳社會課

内ニ置キ今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 同胞協和ノ實現ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業種別

イ、融和事業ノ聯絡提携ヲ圖ルコト

ロ、融和事業ニ關スル調査研究ヲナスコト

ハ、融和事業ノ獎勵助成ヲナスコト

ニ、融和ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト

ホ、其他前條ノ目的達成上必要ナリト認ムル事項

會員數及分布狀況

一、會員數 三千名

二、分布狀況 縣下各町村

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 大原孫三郎

副會長 平敏孝

副會長 岡崎熊吉

幹事 三十七名

ロ、職員 原保雄

常任幹事

資産(種目別)

一、基本金 五百五十二圓

二、器具其他物品 六百三十圓

合計 一千一百八十二圓

維持方法

寄附金、補助金、會員會金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年決算額 歳入 一一、六二〇、〇〇

昭和二年決算額 歳出 一〇、二三一、五七

昭和三年決算額 歳入 九、二〇一、九〇

昭和三年決算額 歳出 一〇、三二五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

三千圓 政府ヨリノ補助金 昭和二年度

二千九百圓 同 三年度

名稱 神道各教岡山聯合會本部

事務所所在地 岡山市三番町三十五番地神理教岡山分院內

創設年月日 大正九年十一月二十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 高木眞人

沿革概要

大正九年岡山市在住ノ御嶽、金光、扶桑、大社、黒住、天理、神理ノ各教代表者懇談ノ結果神道各教ノ親睦ヲ計ル意味ニ於テ組織セシカ日ナラスシテ社會ノ共同教化ニ進ミ關東大震災ニ際シテハ奮然トシテ其實ヲ舉ケ殊ニ同年(大正十二年)十一月十日國民精神作興ノ詔書渙發セラル、ヤ結束一層堅ク名實共ニ大神道主義ノ旗下ニ聖旨ノ普及徹底ニ努力ス、大正十五年三月突然天理一派ノ脫會ヲ見ルニ至タルト雖トモ六教派ノ結束磐石ノ如ク目的遂行ニ全力ヲ傾注シツ、今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ各自互ニ協同研鑽シテ吾國建國ノ大精神ヲ闡明シ徹底セル國家的信念ノ確立ニ努メ健實ナル國家觀念ヲ養生シ國民ノ自覺ヲ促進セシメ生活ノ安定ヲ計リ人類奉仕ノ實ヲ舉ケ以テ神皇ニ大恩ニ報答セン事ヲ目的トス

ロ、事業 本會ハ前記ノ目的ヲ達センカ爲メ講演會並ニ文書宣傳其他適宜ノ方法ヲ行フ

會員數及分布狀況(順序不同)

神理教岡山分院	黒住教朝日講義所
金光教石關教會	神理教稻荷教會
大社教岡山分院	御嶽教中國教區廳
神理教宇賀教會	金光教天瀨教會
金光教下石井教會	扶桑教岡山縣教區廳
扶桑教歳徳教會	金光教岡東教會
御嶽教三太氣教會	神理教岡山教會
扶桑教岡山教會	御嶽教三太氣分教會
黒住教岡山教會	金光教岡山教會

神理教鎮宅教會 金光教内山下教會

以上二十ヶ所ニ屬スル教區並ニ信徒ノ有志ヲ以テ會員トス

主ナル役職名並其氏名(幹事ヲ以テ役員トス)

幹事長	高木眞人
幹事	花房理八郎 同 小西要太郎
	島田金次郎 同 松岡義光
	牧野如齋 同 小倉待太郎
	山本誠 同 奥山義輝
	中江茂市郎 同 小方千春
	天城藤太郎 同 小野新太郎
常任幹事	杉本正一 常任幹事久岡金秀
同(兼)	高木眞人

維持方法

會費並ニ援助費ニ依ル

名稱 寄島町濟世會

事務所所在地 淺口郡寄島町役場內

創設年月日 大正十年七月三十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 頃末賢雅

沿革概要

濟世顧問制度設置主旨ニ依リ本會設立ノ必要ヲ認メ本町有力者ノ會合ヲ求メ設立ノ協議ヲナシ之レカ設置ヲ見ル

目的及事業種類

イ、目的 社會事業ニ必要ナル各種施設ヲナシ之レカ發達向上ヲ計ル

ロ、事業 貧民救助、養老事業、施藥救療、兒童保護事業其他社會事業ニ必要ナル施設

會員數及分布狀況

名譽會員 二十二名 普通會員 七十名

主ナル役職名並其氏名

會長	頃末賢雅
----	------

理事 龜岡魯一 同 柴田直一
同 平尾敏一

資産(種目別)
一、基本金 九百圓

維持方法
寄附金、補助獎勵金

昭和二年度決算額 歳入 五〇三、九〇
歳出 五〇三、九〇
昭和二年度決算額 歳入 五一九、三七
歳出 四九九、七三
昭和三年度決算額 歳入 五六九、二八
歳出 五六九、二八
獎勵金並補助金下附ノ有無
六十圓 昭和三年度

名 稱 淺口郡聯合青年團

事務所所在地 淺口郡玉島尋常高等小學校内

船穂村青年團 寄島町青年團
長尾町青年團 安倉青年團
富田村青年團 六條院村青年團
金光町青年團 黒崎村青年團
鴨方町青年團

主ナル役員名並其氏名

團 長 藤原 慎一
副團長 眞田正一郎 同 星野敏治
幹事 小野年彦 同 三宅郁治
同 定金正惠 同 大江行平
同 木下 勇

維持方法

團費及特別寄附金ヲ以テ之ニ光ツ

昭和二年度決算額 歳入 七二一、〇〇
歳出 七二一、〇〇
昭和二年度決算額 歳入 六二二、九六
歳出 六二二、九六
昭和三年度決算額 歳入 七二一、一〇
歳出 七二一、一〇

創設年月日 大正十年九月二十一日
經營主體又ハ代表者 代表者 藤原 慎一

沿革概要
大正十年九月二十一日本團ヲ組織シ昭和三年十二月二十日岡山縣諸教化團體聯合會ヘ加盟ス

目的及事業種類

イ、目的 淺口郡各町村青年團ヲ以テ組織シ相互ノ連絡ヲ圖リ各團體ノ向上發展ヲ期ス
ロ、事業 一、講習講和 二、體育會
三、調査研究 四、表彰
五、其他必要ト認ムル事業

會員數及分布狀況

淺口郡内在住ノ青年 五千六百二十名
玉島町聯合青年團 里庄村青年團
連島町青年團 大島村青年團
西河知町青年團 大島第一青年團

獎勵金並補助金下附ノ有無

百七十二圓 昭和二年度 岡山縣

名 稱 岡山縣聯合青年團

事務所所在地 岡山縣學務部社會教育課

創設年月日 大正十年九月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 平 敏 孝

沿革概要

大正十年三月本縣主催第一回岡山縣青年團幹部講習會開催ノ際岡山縣聯合青年團組織ノ議起リ岡山縣内務部長ヨリ各郡市長宛該組織ニ關スル照會ヲ發シソノ創立ニ着手シ數度ノ代議員會ヲ經テ同年九月三十日團則ヲ制定シ茲ニ之ヲ設立シテ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 縣下各郡青年團相互ノ連絡ヲ圖リ各團體ノ向

上發展ヲ期スルコト

口、事業 總會、講演會、講習會、體育會、團誌ノ發行
見學旅行、其他

會員數及分布狀況

六三、八〇六（昭和三年四月末日現在）
岡山縣下二市十九ヶ郡

主ナル役職名並其氏名

イ、役員
總理 三邊長治
團長 平敏孝
副團長 正田隆
同 原澄治
口、役員
幹事 千輪清海 同 秋山照禪
同 蜂谷靜太
書記 内藤市之丞

資産（種目別）

一、基本金 一百九十四十五錢
二、擔保金 一百圓（雜誌岡山青年約束郵便擔保金）
三、器具其他物品 一百五十五圓

維持方法

負擔金、補助金及寄附金其他ニヨル

昭和二年度決算額 歲入 一〇、八四〇、〇〇
歲出 九、八七七、〇〇二
昭和二年度決算額 歲入 九、六三七、一四
歲出 一〇、三八一、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）
金一百圓 御下賜金 大正十五年五月二十三日
金四千八百五十圓 岡山縣ヨリノ補助金 昭和二年度
金四千五百圓 同 同 三年度

名稱 佛教聯合會岡山縣支部

事務所所在地 岡山市小橋町國清寺内

創設年月日 大正十年十一月十五日

經營全體又ハ代表者 代表者 華山海應

沿革概要

佛教各宗派管長及宗務ノ要職ヲ以テ組織セル佛教聯合會
ヲ東京ニ置クニ當リ全國各府縣ニ支部ヲ設置スルニ決ス
依テ大正十年十一月十五日該支部ヲ市内磨屋町金剛寺内
ニ設立セリ

爾來各宗派寺院ノ協調親睦ヲ圖リ共通ノ事件ヲ審議シ又
一般ノ教化社會事業等ヲ行ヒ昭和三年三月支部ヲ國清寺
内ニ移轉ス

目的及事業種類

イ、目的 佛教聯合會本部ノ趣旨ニ基キ地方ニ於ケル各
宗派寺院ノ共通事件ヲ審議處辨スルヲ以テ目
的トス

口、事業種類 社會教化

會員數及分布狀況

一、會員數 千七十二名
二、分布狀況 岡山縣全管下
三、加盟宗派左ノ如シ
天台宗、眞言宗、淨土宗、臨濟宗（妙心寺派、東福寺派、
永源寺派、佛通寺派）黃檗宗、
不受不施派、日蓮宗、本門法華宗、
本願寺派、西山派、本門宗、曹洞宗、
大谷派、講門派、顯本法華宗、寺門派、

主ナル役職名並其氏名

常務理事 華山海應
理事 栗正賢昇 同 西崎念教
同 津下秀雄 同 石井圓應
同 坪井光洵 同 山田天圭
同 岡田戒性 同 楠正雄

理事	竹内探玄	同	鶴林官亮
同	宮寺密道	同	能仁事一
同	佐伯増行	同	中川義成
同	尾上全道	同	太田日彦
同	今井紀總	同	花房日秀
同	仁保還真	同	横山日省
同	埜 豊 憲	同	清谷靜昌
同	北川大成	同	石橋百川

資産(種目別)
金五百七十四圓二十九錢

維持方法
割當金、寄附金ノ他ニヨル

昭和二年度決算額	歳入	二三〇、三〇〇
昭和二年度決算額	歳入	三八九、五六〇
昭和二年度決算額	歳出	二二八、七四五
昭和三年度決算額	歳入	二三〇、三〇〇
昭和三年度決算額	歳出	二二八、七四五

名 稱 岡山市聯合青年團

事務所々在地 岡山市役所社會課内

創設年月日 大正十一年十一月二十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 佐藤富三郎

沿革概要

本團ハ内務文部兩大臣ノ方針ニ基キ大正十一年市内青年團三十三ヶ團體ヲ統一シテ組織シタルモノニシテ同年十一月二十三日ノ青年日ヲトシ創立總會ヲ舉行セリ爾來專ラ團體ノ統制會員ノ修養ニ力ヲ致スト共ニ加盟團體ノ増加發展ニ努メタリシカ一町一團組織ノ制ニテハ團員少數ノ爲組織出來難キ事情ノモノ多ク從テ其ノ發展ヲ見ルニ至ラサルニ依リ大正十五年五月加盟團體ノ組織ヲ一學區一團制ニ變更シ以テ今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 本團ハ各團體ノ連絡統一ヲ圖リ其ノ進歩發達ヲ助成スルヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、修養ニ關スル事項
- 二、體育獎勵ニ關スル事項
- 三、補習教育ニ關スル事項
- 四、讀書獎勵ニ關スル事項
- 五、先進團體事業援助ニ關スル事項
- 六、後進團體指導ニ關スル事項
- 七、節制規律ニ關スル事項
- 八、趣味涵養ニ關スル事項
- 九、社會奉仕ニ關スル事項
- 十、其他目的達成上必要ト認メラル、事項

會員數及分布狀況

本團加盟團體ハ日下十二ヶ團體ニシテ團員總數一千二百二十七名

主ナル役職名並其氏名

- イ、役員
團長 佐藤富三郎

副團長

森 作 太
垣 見 秀 男

幹事	西尾三郎	同	三村研爾
同	西山武男	同	平尾伊八
同	犬飼柏太郎	同	赤柏勳夫
同	木野玉治	同	堀崎善三郎
同	原 正太郎	同	長江眞一
同	松田金一	同	片山彰男
同	牧野豪傑	同	鹽田常三郎

口、職員

幹事 木野玉治 同 牧野豪傑

資産(種目別)

一、基 本 金	百五十七圓四十九錢
二、器具其他物品	百八十七圓十二錢
合計	三百四十四圓六十一錢

維持方法

補助金獎勵金及所屬團體ノ負擔金ニ依ル

昭和二年年度決算額 歳入 八三〇、〇〇
 昭和二年年度決算額 歳出 八三六、二二
 昭和三年年度決算額 歳入 二、五四二、一八
 奨励金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

金二百六圓 岡山縣補助金 昭和二年
 金三百圓 岡山市補助金 同 二年
 金七十圓 同業獎勵金 同 二年
 金二百三十五圓 岡山縣補助金 昭和三年
 金三百圓 岡山市補助金 同 三年
 金四百五十圓 同業獎勵金 同 三年
 金二百四圓岡山縣監事事業補助金 同 三年

名稱 岡山佛教會

事務所所在地 岡山市瓦町蔭涼寺内
 創設年月日 大正十二年五月三日
 經營主體又ハ代表者 代表者 華 山海 應

沿革概要

岡山市佛教各宗寺院住職カ從來提携經營シ來タリシ各種ノ事業及將來共同經營セントスル總テノ事業統一ノ機關トシテ大正十二年五月三日創立セラレ今日ニ至ル

- 目的及事業種類
- イ、目的 佛教ノ本旨ニ基キ世界ノ文化ニ貢獻シ國體ノ精華ヲ發揚シ國民ノ信念ヲ確立シ併セテ濟世利民ノ事業ヲ經營スルヲ以テ目的トス
 - ロ、事業 一、釋放者保護 二、社會教化講演會 三、同 講習會

會員數及分布狀況

一、會員數 五十二名
 二、分布狀況 岡山市一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 華 山海 應
 部長 松原 珣光 同 西崎 念教

昭和三年年度決算額 歳入 八〇〇、〇〇
 歳出

理事 栗正賢昇 同 藤田道貫
 同 甘露敵琳 同 木下巖界
 同 津下秀雄 同 岩本爲雄
 同 泉大連 同 高田瑋光
 同 磯谷惠海 同 越海大惠
 同 雲山天桂 同 千輪清海
 同 藤丸法忍 同 廣田眞之
 同 楠正雄 同 玉井慈船
 同 高橋探禪

資産 (種目別)
 一、基本金 二百二圓
 二、器具其他物品 四百圓

維持方法
 會費並ニ寄附金等ニ依ル

昭和二年年度決算額 歳入 三〇〇、〇〇
 歳出 三〇五、五〇
 昭和二年年度決算額 歳入 二二六、三二
 歳出

名稱 吉備郡岩田村共同濟世社

事務所所在地 吉備郡岩田村大字山上二五七八
 創設年月日 大正十二年十月七日
 經營主體又ハ代表者 代表者 長尾 俊憲

沿革概要
 設立後五ヶ年計畫ヲ以テ資金一千圓(毎年二百圓)ヲ造成シ利子金及特志寄附ヲ以テ事業遂行ノ計畫ニシテ本年滿年ニ相當ス

目的及事業種類

貧民及罹災民救助、善行者表彰、紛議ノ調停、講演會ノ開催其他一般思想ノ善導

會員數及分布狀況

全村ヲ區域トシ 戶數二百八十戶

主ナル役職名並其氏名

社長	長尾俊憲
副社長	國定壯平
同	長尾直右衛門

資産(種目別)

金八百圓

維持方法

寄附金及基金利子

名稱 上房郡聯合女子青年團

事務所所在地 上房郡高梁小學校内

創設年月日 大正十二年十二月四日

經營主體又ハ代表者 代表者 三村高右衛門

沿革概要

郡内各町村ニ處女會アリシモ連絡ナカリシヲ時ノ清水郡

視學連絡ノ幹旋ヲ圖リ大正十二年十二月聯合處合會ナル

モノ生レ後大正十五年六月聯合女子青年會ト改メ後又女

子青年團ト改メ現在ニ至ル

目的及事業種類

1、目的 郡内各町村相互ノ聯絡ヲ圖リ心身ノ修養ヲナ

スヲ以テ目的トス

口、事業 講習會ノ開催、講演會、體育會開催、見學旅

行實施、優良團體團員ノ表彰

其他必要ト認ムル事項

會員數分布狀況

會員數 七七〇人

主ナル役職名並其氏名

團長	三村高右衛門
副團長	清水常
代議員	莊美野
同	清水常

書記

菊 菜 い く

維持方法

團員ノ負擔金 補助金

和昭二年度豫算額 歳入 三一五、八八

昭和二年度決算額 歳入 二三一、一五

昭和三年度豫算額 歳入 三〇二、五三

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

五十一圓 縣ノ補助金 昭和二年度

四十七圓 同 同 三年度

名稱 立田互惠會

事務所所在地 吉備郡高松町大字立田百八番地

創設年月日 大正十三年一月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 福田又之助

沿革概要

大正五年二月立田戸主會ヲ組織シ専ラ風紀改善ヲ目的ト

シタリシニ大正十三年一月團體ノ基礎ヲ強固ニスヘク百

年計畫ノ下ニ家産基金公益基金ヲ蓄積シツ、公益事業互

助事業ニ盡スヘク會ヲ變更シタリ

目的及事業種類

百年計劃ノ下ニ各自ノ家産ヲ造成スル傍ラ公益事業並ニ

會員相互ノ扶助救済ヲ講シ其基金ノ増殖ヲナス

會員數及分布狀況

八十六名

當立田部落ノ全戸主ヲ以テ組織ス

主ナル役職名並其氏名

會長	福田又之助
副會長	三垣安太郎
理事	安原虎太郎 同 渡邊治三郎
同	松田吉左衛門 同 渡邊嘉次郎
同	渡邊義夫 同 三垣定平

理事 池上馬吉

資産 (種目別)

- 一、公益基金 四百四十五圓
- 一、各會員家産基金ノ計 千五百六十四圓

維持方法

公益基本金ノ利息ノ半額及ヒ特志者ノ寄附金ニ依リテ維持ス

昭和二年度決算額	歳入	三八、〇〇
昭和二年度決算額	歳出	七五、九五
昭和二年度決算額	歳入	二二、二一
昭和二年度決算額	歳出	五三、七四
昭和三年度決算額	歳入	四〇、〇〇
昭和三年度決算額	歳出	四〇、〇〇

名稱 福濱村濟世會

事務所所在地 御津郡福濱村役場内

創設年月日 大正十三年三月八日

經營主體又ハ代表者 代表者 佐藤馬之丞

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ノ詔書渙發セラル、

ヤ村内有志者相謀リテ本會ノ組織ヲ決議シ大正十三年三

月八日會則ノ制定ノ共ニ各種ノ役員選舉ヲ行ヒ以來年々

各種ノ事業ヲ計畫遂行シ今日ニ至レリ

目的及事業種類

一、目的 國民精神作興詔書ノ趣旨ヲ奉戴シ村民和衷協

力濟世ノ精神ヲ作興シ相互扶助ノ實績ヲ擧ケ

住ミ好キ社會ヲ爲スニアリ

口、事業 一、濟世問題講演講習會開催

二、人事相談

三、保護事業

四、地方改善施設

五、防貧及救貧事業

六、利用厚生ニ關スル事業

會員數及分布狀況

九十名

本村内各大字ニ於ケル濟世顧問、濟世委員其他篤志者ヲ以テ組

織ス

主ナル役職名並其氏名

一、役員

會長 佐藤馬之丞

副會長 安藤操

同 大守勇

口、職員

幹事 小松原茂八郎

同 竹岡利喜太

同 武久雅義

維持方法

會費、寄附金、村補助金、獎勵金其他ノ收入ヲ以テ維持經營ス

昭和二年度決算額	歳入	六七〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳出	六七〇、六〇
昭和二年度決算額	歳入	五四七、三七
昭和二年度決算額	歳出	一、〇一〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

八十圓 縣補助金 二百圓 村補助金 昭和二年度

五十圓 縣獎勵金 同 二年度

二百圓 村補助金 四十九圓 縣獎勵金 昭和三年度

名稱 高月村共濟會

事務所所在地 赤磐郡高月村役場

創設年月日 大正十三年三月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 鶴見熊五郎

沿革概要

本會ハ平和ヲ主トシ勤勉質實節約ヲ旨トシ生活改善向上

ヲ計リ從來ノ慣行ノ惡風ヲ一掃共存同榮ノ實ヲ擧ケン目

的ヲ以テ高月村共濟會ヲ組織シ爾來其目的ニ向テ事業ノ

遂行ヲ期シツ、アリ

目的及事業種類

- 一、罹災者ノ救助
 - 二、生活上困難ナルモノニ資本貸與及惠與
 - 三、貧困者ノ就學援助
 - 四、現役軍人ノ家族慰安
 - 五、高齢者ノ慰安
 - 六、免囚保護
 - 七、紛争ノ調定
 - 八、貯金奨勵
 - 九、慈善事業、惡風改善
- 會員數及分布狀況
 村内一圓ノ公民権ヲ有スルモノ 全部六百二十四人
 主ナル役職名並其氏名

會長 鶴見熊五郎
 濟世顧問 本城立勢
 書記 小坂久夫
 濟世委員 戸田丈三郎 同 植田祐太

濟生委員 鶴見卯七 同 太田兵八郎
 同 横田理吉 同 竹井觀曉
 同 小倉太郎

資産(種目別)
 現金 百五十圓

維持方法
 村費補助五十圓 其他寄附金

昭和二年度決算額 歳入 九〇、〇〇
 昭和二年度決算額 歳出 八〇、〇〇
 昭和三年度決算額 歳入 一三〇、〇〇
 歳出 一三〇、〇〇

名稱 信愛教會

事務所所在地 兒島郡粒江村大字粒江二二一〇
 創設年月日 大正十三年五月一日
 經營主體又ハ代表者 代表者 佐伯厚仁

沿革概要

大正九年十月十日以降信愛日曜學校ヲ創設シ主トシテ兒童訓育ヲ爲シ來リシカ其後社會ノ種々ナル要求ニヨリ信愛教會ナル名稱ヲ掲ケテ別記ノ如ク各種ノ事業ヲ經營スルニ至ル
 猶本教會々員ハ全部賛助員ト稱シ會長ノ經營セル各種事業ヲ賛助スルモノヲ以テ組織ス

目的及事業種類

- イ、目的 本村ニ於テ時ニ臨ミ機ニ應シ適當ナル各種ノ事業ヲ經營シ直接間接ニ精神修養、生活改善人心融和ヲ計ラントス
- ロ、事業
 - 一、精神修養講演會
 - 二、男女青年修養會
 - 三、婦女會
 - 四、生花、技藝、作法講習會
 - 五、日曜學校

六、農繁託兒所

七、謝恩會(敬老)

八、文庫等

會員數及分布狀況

賛助員 八十八名
 殆ント本村居住ノ人士ナリ
 主ナル役職名並其氏名

會長 佐伯厚仁
 顧問 渡邊小平治 同 田邊善太郎
 理事 神原友太 同 小川並治
 同 岡本長一
 囑託教師 渡邊百治 同 小川武一
 同 小川 潔 同 吉田和喜
 同 佐伯キクエ

資産(種目別)

基本金 金六十一圓六十錢
 器具 金一百八十圓

維持方法

補助金、寄附金、賛助金等ニヨリ不足額ハ全部會長ニ於テ之ヲ負擔ス

昭和二年年度決算額	歳入	三六四、八八
昭和二年年度決算額	歳出	二一六、五七
昭和三年年度決算額	歳入	三三六、九八
奨励金並補助金下附ノ有無 (昭和二年度)	歳出	

- 六十圓 縣補助金 五十圓 村補助金
- 三十圓 古義真言宗々務所補助金
- 八圓 同 備前支所補助金
- 八圓 明教會補助金

賛助員ノ賛助金ハ月額金六錢ニシテ半額ヲ基金トシテ蓄積シ他ノ半額ヲ經常費トス

名稱 後月郡聯合女子青年團

目的及事業種類

事務所々地地 岡山縣井原高等女學校内
 創設年月日 大正十三年七月十日
 經營體體又ハ代表者 代表者 茂原 茂
 沿革概要
 從來郡内男子青年團ハ聯合シテ活動セルニ拘ラス女子ノ方面ニハ何等活動ノ見ルヘキモノナカリシカ偶々大正十二年十一月國民精神作興ノ詔書渙發セラル、ヤ之レカ勸機トナリ女子モ聯合シテ共ニ大ニ聖旨ノ普及徹底ヲ圖ラントシ茲ニ大正十三年七月後月郡聯合處女會ナルモノヲ組織シ事務所ヲ後月郡役所内ニ置キ會長ニ後月郡長ヲ推戴セリ大正十五年七月郡役所廢止ト共ニ事務所ヲ岡山縣井原高等女學校内ニ移シ會長ニ女學校長ヲ推戴ス同時ニ名稱ヲ後月郡聯合女子青年會ト改メ年齡滿二十五歳以下ノ女子ヲ以テ正會員トナス
 昭和二年二月後月郡聯合女子青年團ト改稱ス

イ、目的

本會ハ岡山縣聯合女子青年團ト氣脈ヲ通シ郡内各女子青年團相互ノ連絡統一ヲ圖リ各會ノ向上發展ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、講演會
- 二、講習會
- 三、優良女子青年並ニ團體ノ表彰
- 四、其他必要ト認ムル事業

會員數及分布狀況

高屋女子青年團	出部女子青年團
縣立女子青年團	木之子女子青年團
荏原女子青年團	西江原女子青年團
山ノ上女子青年團	青野女子青年團
井原女子青年團	芳井女子青年團
明治女子青年團	三原女子青年團
共和女子青年團	

主ナル役員名並其氏名

團長 茂原 茂

副團長 世良萬龜男 同 佐野誠一

代議員 佐野誠一 同 落合 浩

幹事 三宅 太郎 同 撰 大一

同 千原多喜子

維持方法

負擔金補助金及寄附金ニヨル

昭和二年年度決算額	歳入	一五三、〇〇
昭和二年年度決算額	歳出	一三七、〇〇
昭和三年年度決算額	歳入	一〇三、〇〇
昭和三年年度決算額	歳出	一四三、〇〇
奨励金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)		
二十三圓	縣ヨリ補助金	昭和元年度
三十六圓	同	同 二年度

名稱 小田郡濟世會

事務所々在地 岡山縣小田郡北川村大字走出一三〇七

明王院内

創設年月日 大正十三年十月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 高橋 慈 本

沿革概要

大正十三年九月小田郡役所ニ於ケル郡内濟世顧問及委員打合會ニ於テ郡内顧問委員ノ聯絡機關設置ヲ決議シ郡長鈴木榮一郎氏主動ニヨリ十月三十日本會組織成ル以來年二回ノ總會其他打合等各種ノ事業ヲ行ヒ今日ニ至ル

目的及事業種類

- 一、郡内顧問委員ノ事業ヲ互助發展
- 二、防貧救貧事業遂行上ノ各種宣傳
- 三、思想善導上適當ナル事業及宣傳
- 四、顧問及委員ノ聯絡
- 五、其他顧問制度ノ主旨ニ適當ナル事業

會員數及分布狀況

正會員 百二十六名

名譽會員 五十七名 (郡内町村長小學校長)

小田郡一圓

主ナル役職名並其氏名

理事長 高橋 慈 本
 理事 三浦 伊助 同 谷 本 峻
 同 江木 伯助 同 石井源次郎
 同 淺野 富平 同 久我於菟一郎
 幹事 高草 茂久之助 外二十四名

維持方法

有志寄附及縣補助金並ニ各町村補助金

昭和二年度豫算額	歳入	一四〇、〇〇
	歳出	九五、七五
昭和二年度決算額	歳入	五二、八二
	歳出	一四〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一四〇、〇〇
	歳出	一四〇、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)		
四十圓	縣ヨリノ補助金	昭和二年度
五十圓	同	同 三年度

名稱 天理教岡山縣聯合會

事務所所在地 岡山市南方三二四天理教岡山教務支廳

創設年月日 大正十四年一月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 山田 清治郎

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ左記八團體ニシテ會員ハ其ノ加盟團體ノ會員ヲ以テ本會ノ會員ト爲ス 加盟團體ハ全部岡山縣教化團體聯合會ニ加入セル故各別ニ會員數ヲ報告スル管ニ付本欄ニハ之ヲ略ス

- 天理教岡山市御津郡聯合會
- 天理教倉敷市都窪聯合會
- 天理教兒島郡聯合會
- 天理教上道邑久郡聯合會
- 天理教苫田眞庭久米勝田英田郡聯合會
- 天理教小田淺口後月川上郡聯合會
- 天理教赤磐和氣郡聯合會
- 天理教吉備上房阿哲郡聯合會

主ナル役職名並其氏名

會長 山田 清治郎

幹事 辻 豊彦 同 高田政治郎
 同 上原 繁雄 同 南濱 靜
 同 河原喜代三郎

名稱 邑久郡大宮村濟世兒童保護協會

事務所所在地 邑久郡大宮村尋常小學校

創設年月日 大正十四年二月二十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 岡本 專次郎

沿革概要

國民心身健全ヲ期スル爲メ出産ノ保護及幼兒發育ノ目的ヲ以テ大正十四年二月二十七日日本會ヲ創立シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ幼兒ノ心身ヲ保護シ完全ナル發育ヲ遂

ケシムルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、妊婦ノ保護

イ、囑託産婆ヲ巡回セシメテ妊婦ヲ診察シ適當ナル攝生法ノ指示及處置ヲナス但シ特別ナル場合ハ醫師ノ往診手當ヲ行フモノトス
 ロ、妊婦ノ心得ニ對スル講話及印刷物ノ配布ヲナス

二、分娩及產褥等ノ保護

イ、分娩具ノ消毒提供
 ロ、細民産婦ノ無料助産
 ハ、分娩時用器具ノ貸與
 ニ、乳兒ニ對スル母乳ノ授ケ方注意スルコト
 ホ、健康診斷及發育記録票ノ記入
 ヘ、母ノ會ヲ開キ小兒ノ養護ニ關スル講話
 三、兒童期ニ對スル保護
 イ、就學前年ニ於テ身體検査ヲ行フコト
 ロ、病、齒牙及トラホームノ治療

ハ、能力ノ個人差ヲ側定シテ之ヲ目標トシテ教育ス

會員數及分布狀況

本會ニ大原村在住者全部

主ナル役職名並其氏名

會長	岡本專次郎
副會長	藤井鍛一郎
幹事	出井好雄
同	武内繁瑞

其他看護委員村内ニ亙リ二十六名

資産（種目別）

基本財産 百二十八圓六十二錢

維持方法

特別會員ノ會費、縣並村ヨリノ補助金篤志家ノ補助金、基本財産ノ補助金

昭和二年産算額

歳入 三三六、〇〇
 歳出 三三六、〇〇

昭和二年産算額

歳入 三三二、三七
 歳出 三一三、七〇

昭和三年産算額

歳入 三五〇、〇〇
 歳出 三五〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）

六十圓 縣ヨリノ補助金
 五十圓 村ヨリノ補助金

名稱 吉備郡聯合女子青年團

事務所所在地 岡山縣總社高等女學校内

創設年月日 大正十四年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 田野口竹二

目的及事業種類

イ、目的 郡内各町村女子青年團ノ連絡統一ヲ圖リ會員ノ向上發展ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、總會開催
 二、講演會及ヒ講習會開催

會員數及分布狀況

岡田、川邊、二萬、穗井田、吳妹、箭田、岡、新本、山田、久代、下倉、水内、秦、神立、庭瀬、眞金、高松、生石、服部、阿曾、總社、池田、日美、富山、大和、菅谷、福谷、岩田、目近、大井、足守、各女子青年團

主ナル役職名並其氏名

團長	田野口竹二
副團長	河西隆野
同	井上繁興
理事	池上芳子
同	三谷周子

維持方法

各町村女子青年團ノ負擔金、縣聯合女子青年團ノ補助金及特志者ノ寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年産算額

歳入 一七〇、〇〇
 歳出 一七〇、〇〇

昭和二年度決算額	歳入	一八八、九二
	歳出	一二〇、六一
昭和三年度決算額	歳入	二二九、三一
	歳出	
奨励金並補助金下附ノ有無		
十五圓	縣聯合女子青年團	昭和二年度

名稱 天理教岡山市御津郡聯合會

事務所々在地 岡山市大供一〇二番地

創設年月日 大正十四年五月

經營主體又ハ代表者 代表者 高田 政治郎

目的及事業種類

- イ、目的 本會ハ教祖立教ノ大義ヲ發揚シ管内教勢ノ發展ヲ計リ以テ社會教化事業ニ貢獻スルヲ目的トス
- ロ、事業 一、講習會、口演會 二、社會事業
- 三、活動寫眞
- 四、會報發行

五、其他必要ナル事業

會員數及分布狀況
岡山市及御津郡全般ニ亙ル

主ナル役職名並其氏名

- 會長 高田 政治郎
- 理事 杉本 品五郎
- 同 大橋 忠次郎

維持方法

會費及雜收入ニヨル

昭和二年度決算額	歳入	一五六、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	一三五、〇〇
	歳出	
昭和三年度決算額	歳入	一五六、〇〇
	歳出	

名稱 天理教倉敷市都窪郡聯合會

事務所々在地 倉敷市砂越町二四二ノ一

創設年月日 大正十四年五月

經營主體又ハ代表者 代表者 藤田 義夫

目的及事業種類

- イ、目的 本會ハ教祖立教ノ大義ヲ發揚シ管内教勢ノ發展ヲ計リ以テ社會教化事業ニ貢獻シ併セテ教務支應ノ事業ヲ翼賛シ更ニ各系統ヲ問ハス相互親善ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- ロ、事業 一、講習會、講演會 二、社會事業
- 三、活動寫眞
- 四、會報發行
- 五、其他必要ナル事業

會員數及分布狀況

倉敷市都窪郡全般ニ亙ル

主ナル役職名並其氏名

- 理事 藤田 義夫

維持方法

會費及雜收入ニ依ル

昭和二年度決算額	歳入	一五〇、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	一四六、八〇
	歳出	一二〇、八〇
昭和三年度決算額	歳入	一八五、〇〇
	歳出	

名稱 天理教苫田、久米、眞庭、勝田、英田郡聯合會

事務所々在地 津山市山下五一ノ二

創設年月日 大正十四年五月

經營主體又ハ代表者 代表者 河原喜代三郎

目的及事業種類

- イ、目的 本會ハ教祖立教ノ大義ヲ發揚シ管内教勢ノ發展ヲ計リ以テ社會教化事業ニ貢獻スルヲ目的トス
- ロ、事業 一、講習會、講演會 二、社會事業
- 三、活動寫眞
- 四、會報發行

五、其他必要ナル事業

會員數及分布狀況

苦田郡、津山市、真庭郡、久米郡、勝田郡、英田郡、一市五郡
全般ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

會長 河原喜代三郎
理事 井上 庫造

維持方法

會費及雜收入ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	一、二〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一、二〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、二〇、〇〇
	歳出	一、二〇、〇〇

名稱 岡山縣聯合女子青年團

事務所々在地 岡山縣學務部社會教育課

創設年月日 大正十四年六月二日

經營主體又ハ代表者 代表者 平 敏 孝

沿革概要

大正十四年六月二日第二回岡山縣處女大會ニ於テ岡山縣聯合處女會組織ノ件可決シ會則審議詮衡委員會ニ依リ會則ヲ制定シ昭和二年二月二十八日代議員會ニ於テ會則ノ一部變更名稱ヲ岡山縣聯合女子青年團ト改メ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 縣下各女子青年團相互ノ連絡ヲ圖リ各會ノ向上發展ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 總會、講演會、講習會、見學旅行、團誌ノ發行等

會員數及分布狀況

一、三六、九五〇名(昭和三年四月末現在)
一、岡山縣下二市一九郡

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

名稱 岡山縣阿哲郡女子青年團

事務所々在地 新見高等女學校

創設年月日 大正十四年七月十七日

經營主體ハ又代表者 代表者 青 賢 治

沿革概要

大正十五年四月一日柴部會長辭任新見高等女學校長青賢治會長トナリ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ郡内各村女子青年團ヲ以テ組織シ相互ノ聯絡ヲ圖リ心身ノ修養ヲナスヲ以テ目的トス

ロ、事業種類

講習會、講演會、補習教育ノ獎勵、優良團體及會員ノ表彰、其他必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

會員數 約一千名

總理 三 邊 長 治

團長 平 敏 孝

副團長 正 田 隆 同 上 代 淑

ロ、職員

幹事 千 輪 清 海 同 秋 山 照 禪

同 蜂 谷 靜 太

書記 司 波 清 子

維持方法

補助金、負擔金、寄附金等

昭和二年度豫算額	歳入	四、三七〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	四、八四二、七六
昭和三年度豫算額	歳入	四、五五三、〇四
	歳出	四、八一三、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

二千百圓	縣ヨリノ補助金	昭和二年度
一千四百三十七圓	同	三年度
同	同	三年度

分布状況 新見町外十八ヶ町村(岡山縣河野郡)

主ナル役職名並其氏名

會長 青 賢 治
副會長 宮 武 壽 野
代議員 楠 品 子
幹事 中野 勝 代

維持方法

各町村負擔金及其他ノ收入金ヲ以テ之ヲ維持ス

昭和二年年度決算額

歳入 四一〇、〇〇

昭和二年年度決算額

歳入 四〇五、〇〇〇
歳出 二五三、〇〇〇

昭和三年年度決算額

歳入 四三五、〇〇〇
歳出

獎勵金並補助金下附ノ有無

五十七圓

縣補助金

五十七圓

同

昭和二年年度
同 三年度

名稱 西大寺町濟世會

事務所所在地 岡山縣上道郡西大寺町々役場内

創設年月日 大正十四年七月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 岡 崎 勉

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ノ詔書發せラル、
ヤ濟世會ヲ創設シ社會事業ノ遂行ニ努メ以テ聖旨ニ副ハ
ンコトヲ期セシモ時機未タ到ラス漸ク大正十四年七月二
十五日日本會ヲ創設シ翌年二月十四日發會式ヲ舉行シタル
以來專ラ社會事業ノ進展ニ努メ共存同榮ノ實ヲ舉クヘク
今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉體シ社會事業ヲ遂行スルヲ以テ目的

トス

ロ、事業 貧防救貧、兒童保護及教化事業

會員數及分布狀況

本會會員數ハ現在四百四十名ニシテ 西大寺町一圓ニ亙リ會員ヲ
有ス字町ノ會員數左ノ如シ

上新堀町	三人	新堀町	四十五人
市場町	三十六人	北之町	四十七人
中福町	十七人	掛之町	四十人
今町	二十七人	新町	三十四人
元町	三十二人	驛前	八人
中村	七人	川崎町	二十三人
幸町	六十五人	沖、金山	四人
渡場町	二十一人	本町	三十一人
計	四百四十人		

主ナル役職名並其氏名

會長 岡 崎 勉 副會長 寺尾常太郎
理事 大道寺猪藤太 同 伊原利七

理事 田中九萬雄	同	祇園敬二
同 山口源次郎	同	大森佐吉
同 暈 三郎平	同	實兼又八
同 小山義太郎	同	竹林豊松
同 太田源吉	同	鷹取森次郎
同 松本新治	同	日笠傳二
同 柏谷嘉十郎		
事務擔任 薄井利武		

資産(種目別)

一、資 産 三千圓
二、建 物 二千圓
三、器具其他 百五十八圓

計 五千百五十八圓

維持方法

會費、寄附金、補助金、基金利子其他ノ收入ニヨル

昭和二年年度決算額

歳入

八七〇、〇〇

歳出

昭和二年決算額	歳入	一、二一八、七四
	歳出	八三九、六六
昭和三年決算額	歳入	一、九二〇、〇〇
	歳出	
獎勵金並補助金(下附)の有無		
百七十一圓	縣補助金	昭和二年
六百五十圓	同	同 三年
三百圓	町補助金	同 二年
二百圓	同	同 三年

***	***	***
-----	-----	-----

名稱 天理教岡山縣小田、淺口、後月、川上郡聯合會

事務所所在地 小田郡笠岡町五〇七七天理教笠岡分教會内
 創設年月日 大正十四年九月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 上原 繁 雄

沿革概要 大正十四年天理教岡山縣支廳管内ノ中國聯合會及岡山縣聯合會ノ設立ト同時ニ小田、淺口、後月、川上郡内教會

長及教師信徒ヲ以テ組織シ九月一日設立セリ

目的及事業種類 教祖立教ノ本義ヲ發揚シ郡内教勢ノ發展ヲ計リ社會事業ニ貢獻ス

會數員及分布狀況	小田郡	特別會員 二十一名 通常會員 二十七名
	淺口郡	特別會員 七名 通常會員 十八名
	後月郡	特別會員 十一名 通常會員 五名
	川上郡	特別會員 一名 通常會員 二名
計		特別會員 五十八名 通常會員 五十八名
主ナル役職名並其氏名	會長	上原 繁 雄
	理事	岡崎 時之祐 岡崎 讓 平 武内 敬 市

維持方法

會員ヨリ納附ノ會費及寄附金ニヨル

名稱 縣主村濟世會

事務所所在地 後月郡縣主村大字門田千七百九番地

創設年月日 大正十四年九月二十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 小寺 全 志

沿革概要

大正七八年經濟界ノ好況時代カ一轉シテ不況トナルヤ村民ハ經濟上少カラサル打擊ヲ蒙リタリ殊ニ大正十三年ニ於ケル稀有ノ旱害ト翌年特産菫草カ未曾有ノ蟲害ニヨリ全滅ノ慘狀ヲ見ルニ至リタル結果著シク生活ニ脅威ヲ感スル者ノ續出スルハ勿論勢ヒ思想ノ惡化ハ免レ難キ事實トナルヲ憂ヒ茲ニ防貧救濟等ノ方策ヲ講スヘキ施設ノ必要ナルヲ痛感シ大正十四年九月二十三日秋季皇靈祭ノ當

日金剛福寺ニテ開催シ報徳會總會ニ於テ本會設立ノ事ヲ協議決定シ直ニ規約ヲ定メ之ヲ設立スルニ至リタリ

目的及事業種類

- 一、目的 防貧救濟ノ事業ヲ遂行シ生活ノ向上ヲ計リ社會ノ福祉ヲ増進スルヲ以テ目的トス
- 二、事業 一、委員ハ部内全般ニ亘リ本會事業ニ必要ナル事項ヲ調査シ目的達成ノ資料ニ供ス
二、會員ノ疾病、貧困、其他ノ事情ニヨリ生活困難トナリタル者ニ金錢物品ヲ給與又ハ貸與ス
三、無資本ノ爲正業ニ就キ能ハサル者ニ無利息ニテ資金ヲ貸與シ相當保護指導ヲナス

會員數及分布狀況

- 一、會員數 三百四十名
- 二、分布狀況 村内一圓

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長	小寺全志
主管	釋大空
委員	藤井繁治
同	藤井陸太
口、職員	
書記	三好剛

資産（種目別）

基金	金三百七十圓八十二錢
----	------------

維持方法

寄附金、寄附米、麥、獎勵金	
昭和二年年度豫算額	歳入 一八五、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入 六八、〇〇
昭和三年年度豫算額	歳入 一六八、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

四十五圓 大正十五年九月九日縣ヨリノ獎勵金

二十二圓 昭和二年十月三日縣ヨリ獎勵金

名稱 上道郡女子青年團

事務所所在地 上道郡西大寺町
 創設年月日 大正十四年十月十日
 經營主體又ハ代表者 代表者 藤井慮逸
 沿革概要

大正十四年十月郡内各町村處女會ヲ以テ組織シ大正十五年六月女子青年會ト改ム

昭和二年七月女子青年團ト改稱シ愈々益々國民精神作興ニ關スル詔書ノ御聖旨ヲ普及徹底ヲ圖ラントス

目的 相互ノ聯絡統一ヲ圖リ向上發展ヲ期スルヲ以テ目的トス

- 口、事業 一、講演、講習 二、體育
 三、表 彰 四、其他

會員數及分布狀況

本團ハ郡内二十四ヶ町村ヨリナリ其名稱ハ左ノ二十三團體ナリ

宇野村女子青年團	高島村女子青年團
幡多村女子青年團	財田村女子青年團
古郡村女子青年團	玉井村女子青年團
浮田村女子青年團	平島村女子青年團
御休村女子青年團	角山村女子青年團
雄神村女子青年團	西大寺町女子青年團
芳野村女子青年團	可知村女子青年團
富山村女子青年團	操南女子青年團
操陽村女子青年團	三幡村女子青年團
平井村女子青年團	沖田村女子青年團
政田女子青年團	開成女子青年團
金阿村女子青年團	

主ナル役職名並其氏名

團長	藤井慮逸
副團長	藤原小喜久
幹事	奥山楨太 同 齋藤一夫
同	佐藤榮 同 水藤志津江

維持方法

縣補助金、郡内各町村女子青年團負擔金及其他ノ收入金	
昭和二年年度豫算額	預入 二六〇、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入 三三〇、三八
昭和三年年度豫算額	歳入 一一〇、四五
獎勵金並補助金下附ノ有無	歳入 三一〇、〇〇
四十八圓	昭和二年度 縣補助金

名稱 天理教兒島郡聯合會

事務所所在地 兒島郡宇野町田井一四二四
 創設年月日 大正十四年十月

目的及事業種類

イ、目的 教祖立教ノ本義ヲ發揚シ以テ社會教化事業ニ
貢献センコトヲ目的トス

ロ、事業 一、講習會、講演會 二、活動寫眞

三、社會事業

會員數及分布狀況

全郡ニ亘リ千五百名ノ會員ヲ有ス

主ナル役職名並其氏名

會長 南 濱 靜
理事 高 見 庄 藏

維持方法

寄附金並ニ會員ノ會費

名稱 岡山縣邑久郡聯合女子青年團

事務所々在 邑久郡邑久高等女學校内

創設年月日 大正十四年十一月

經營主體又ハ代表者 代表者 雪 吉 光 壽
沿革概要

創設當時ハ邑久郡聯合處女會ト稱シタリシカ爾後邑久郡
聯合女子青年會、邑久郡聯合女子青年團ト改稱シ逐年發
展シツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 本團ハ邑久郡各町村女子青年團ヲ以テ組織シ

テ目的トス
五ニ氣脈ヲ通シ各團ノ向上發展ヲ期スルヲ以

ロ、事業 イ、講習會、講演會等ノ開催

ロ、各種事業ノ調査研究

ハ、優良女子青年並ニ優良團ノ表彰

ニ、ソノ他必要ト認メタル事項

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ目下郡間ニ於ケル二町十八ヶ村ノ女子青年團ニ

シテ其ノ名稱ヲ舉ケレハ左ノ如シ

邑久村女子青年團 福田村女子青年團
今城村女子青年團 豊原村女子青年團
豊村女子青年團 太伯村女子青年團
幸島村女子青年團 朝日村女子青年團
大宮村女子青年團 麻忍村女子青年團
牛島町女子青年團 玉津村女子青年團
長浩村女子青年團 本庄村女子青年團
裳掛村女子青年團 窪山村女子青年團
美和村女子青年團 國府村女子青年團
行幸村女子青年團 笠加村女子青年團

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

團長 雪 吉 光 壽
副團長 重 康 太 加
同 成 本 岩 美

ロ、職員

幹事 今 田 幸 男 同 山 本 玉 野

幹事 祇 園 近 野 同 柴 田 婦 久 枝
同 那 須 滿 壽 同 新 榮

維持方法

會費、補助金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額 歳入 一九三、二八

昭和二年度決算額 歳出 一五一、八五

昭和三年度決算額 歳入 一九三、二三

獎勵金並補助金下附ノ有無

五十圓 昭和二年度

四十六圓 同 三年度

名稱 公民教育會岡山縣支部

事務所々在 岡山市一番町八、九番地

創設年月日 大正十四年十一月十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 國 富 友 次 郎

沿革概要

東京市ニ於テ大成會ノ組織成リ本縣ニ其ノ支部ヲ置キシカ昭和二年ニ至リ大成會ハ公民教育會ト改稱セシヲ以テ本支部モ從テ現在ノ名稱トナレリ

目的及事業種類

一般民衆ニ對シ政治教育公民教育ヲ普及徹底セシムルニアリ其ノ目的ヲ達スヘキ事業トシテ講演會「パンフレツト」ノ配布等ヲナス

會員數及分布狀況

約一、〇八三名
本縣下全數ニ分布セリ

主ナル役職名並其氏名

理事長 國富友次郎
理事 岡田 磐 同 華山海應
同 花房理八郎 同 堺 筑水
同 能仁事一 同 岡野耕一

維持方法

本部ノ指揮命令ニヨリ維持セリ

*** **

名稱 天理教吉備上房阿哲郡聯合會

事務所々在地 吉備郡總社町大字總社七七番地

創設年月日 大正十五年三月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 林 英治

沿革概要

大正十四年五月天理教岡山、廣島、島根、山口、鳥取ノ五縣ノ教會ヲ以テ中國聯合會ナルモノ組織サルニ當リ岡山縣内ニ郡市聯合會ヲ設クル事ニナリタルモノナリ

目的及事業種類

イ、目的 本聯合會ハ立教ノ本義ヲ發揚シ地方教勢ノ發展ヲ計リ以テ社會教化事業ニ貢獻シ民衆教化ノ事業ヲ翼賛スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 講習會、講演會、社會事業

會員數及分布狀況

本會加盟教會ハ
吉備郡内教會ノ十ヶ所 上房郡内教會ニヶ所
阿哲郡内教會一ヶ所 計 四七二名

主ナル役職名並其氏名

會長 高田政治郎
理事 林 英治
參事 糸島 三衛

參事 井上喜助
會計 山川重市

維持方法

寄附又ハ會費ヲ以テス

昭和二年度豫算額 歳入 三、八、五〇
昭和二年度決算額 歳入 四〇、〇〇
昭和三年度豫算額 歳入 四二、〇〇

名稱 岡山縣曹洞宗教所

事務所々在地 小田郡川面村

創設年月日 大正十五年七月一日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 岡山縣内曹洞宗寺院

ロ、代表者 石橋百仙

沿革概要

以前ハ縣内ヲ四宗務所ニ分割シテ事業ヲ成シツ、アリタ

ルヲ大正十五年縣内ヲ統一シテ大宗務所制度ヲ構成シタルモノニシテ明治初年ヨリ種々異リ各名稱ノ下ニ布教事業ヲ實行セルモノナリ

目的及事業種類

イ、目的 佛陀ノ慈訓ヲ奉體シ檀信徒ノ教化ヲ圖ルヲ目的トス

ロ、事業 一、宗務行政

二、布教興學

三、禪學振興

四、宗門僧侶ノ講習、布教研究

會員數及分布狀況

會員數 百七十八ヶ寺院住職

第一教區 後月郡、山陽線沿道、備前一圓

第二教區 小田郡、吉備郡

第三教區 上房郡

第四教區 川上郡

第五教區 阿哲郡南部

第六教區 阿哲郡北部
第七教區 美作國一圓

主ナル役職名並其氏名

宗務所長	石橋百仙
參事	城本道雄
會計	赤松謙翁
第一教區長	谷碩童
第二教區長	田邊活道
第三教區長	大岩惠孝
第四教區長	村上大榮
第五教區長	鷲山活成
第六教區長	川島智眼
第七教區長	市本惠舟

維持方法

毎年一回宗務所會ヲ開キ各教區長議員トナリテ豫算ヲ議決シ百七十八ヶ寺へ割當タル金ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額 歳入 七八五、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 七六三、〇〇
歳出 八四五、〇〇

ニ、表彰 ホ、講習 ハ、體育會
ト、通俗講演會

會員數及分布狀況

通常會員 二百二十五人
特別會員 二百四十三人

主ナル役職名並其氏名

會長	大守 勇
副會長	片山甚太郎
幹事	安藤 操 同 鶴見巡平
同	小林 薫 同 横田勘三郎
同	石井市次
評議員	藤田鷹一 同 安藤定五郎
同	益岡哲二 同 吉行光造

資産 (種目別)

基本財産 二千五百二十一圓十一錢

維持方法

基本財産收入、會費、寄附金、補助金等ノ收入ニヨル

名 稱 岡山縣御津郡教育會

事務所所在地 御津郡福濱實業補習學校内

創設年月日 不明

經營主體又ハ代表者 代表者 大守 勇

沿革概要

元、御野、津高兩郡教育會トシテ存立セシヲ郡併合ト共ニ御津郡教育會ト改稱シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 會員相互ノ親睦、互助、修養、研究ヲ圖リ社會教育活動ヲナスヲ以テ目的トナス

ロ、事業 イ、總會 ロ、調査研究 ハ、視察

昭和二年年度豫算額	歳入	二、五四五、〇〇
	歳出	二、六七六、一〇
昭和二年年度決算額	歳入	二、一四七、一八
	歳出	二、八五三、〇〇
昭和三年年度豫算額	歳入	
	歳出	
奨励金並補助金下附ノ有無		
三百圓	昭和二年	
三百四十圓	同三年	

名稱 南野協會

事務所所在地 岡山市外今村中仙道
 創設年月日 大正十五年二月
 經營主體又ハ代表者 代表者 土光午次郎
 沿革概要

大正五年南野學園ヲ創立シ農村文化建設ヲ計畫シ爾來讀書會ヲ農事研究會、保育園婦人會ヲ開キ大正十五年統一

シテ南野協會ヲ稱シ漸次對展シツ、アリ
 目的及事業種類

イ、目的 農村文化ノ建設
 口、事業 毎月十日 讀書會

二十日 農事研究會
 三十日 南野講座
 毎日 幼稚園

時々必要ナル娛樂講演會

會員數及分布狀況

讀書會	三十	農事研究會	六十
曉會(婦人)	三十五	小供會	五十
幼稚園	三十	臺所講	三十
ソノ他			
分布	大野村ノ有志者		
	家庭 百五十		

主ナル役職名並其氏名

會長 土光午次郎

副會長 土光 一乃
 總務 貝原 瑕璋
 職員 山本 田鶴

資産(種目別)

建築 七千圓
 敷地 一千五百圓

維持方法

寄附金、會費	
昭和二年年度豫算額	歳入 一、五〇〇、〇〇
	歳出 一、五〇〇、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入 一、六〇〇、〇〇
	歳出 一、六〇〇、〇〇
昭和三年年度豫算額	歳入 一、六〇〇、〇〇
	歳出 一、六〇〇、〇〇

名稱 金岡村濟世會

事務所所在地 上道郡金岡村役場内

創設年月日 昭和二年八月十九日

經營主體又ハ代表者 代表者 向井 信雅

沿革概要

大正十五年十一月十九日縣主催ノ活動寫眞會ヲ開キ主旨ノ宣傳ヲナシ續イテ寄附金ノ募集ヲナシ寄附者百七名ヨリ二百五十二圓ノ金ヲ得テ是ヲ基金トシテ昭和二年八月十九日漸ク總會ヲ開キ今日ニ至ル

目的及事業種類

防貧、救貧、兒童保護、人事相談

會員數及分布狀況

會員ハ全村ニ分布シ初メ資産ノ狀況ニヨリテ百七名ヨリ寄附ヲ得テ成立シ今日モ異同ナシ

主ナル役職名並其氏名

會長 向井 信雅
 副會長 廣田 大次郎
 委員 廣田 大次郎 同 光岡 甚四郎

委員 山崎良夫 同 飛岡藤五郎
 同 玉置岩松
 幹事 山下銀三
 顧問 岡崎四郎
 評議員 (三十名)

資産 (種目別)
 金壹百三十二圓三十一錢 本村信用組合へ貯金

維持方法
 會員ノ負擔ニヨリテ維持スルモノナリ

昭和二年度決算額 歳入 一〇〇、〇〇
 歳出 〇
 昭和二年度決算額 歳入 八一、四一
 歳出 〇
 昭和三年度決算額 歳入 一九〇、〇〇
 歳出 〇

名稱 天理教邑久上道聯合會

事務所所在地 上道郡可知村大字大多羅四九六ノ一

普通會員 六十名
 分布狀況 上道郡 可知村、芳野村、西大寺町、雄神村、沖田村、君津村
 邑久郡 裳掛村、行幸村、豊村、鹿忍村
 右ノ教會所在地ヲ中心ニ兩郡内ニ散在
 主ナル役職名並其氏名
 會長 高田政次郎
 理事 藤原虎治 同 吉永筆次郎
 幹事 奥田鶴吉 同 津島 薫
 同 山本忠松 同 松井岩次郎
 同 仲田文吉
 會計 松井岩次郎

資産 (種目別)
 二十二圓五十錢 前年度會費繰越金
 維持方法
 特別會員 六圓 普通會員一圓ヲ毎年徵收シテ會ヲ維持ス
 昭和二年度決算額 歳入 二四、〇〇
 歳出 〇

創設年月日 昭和二年九月五日
 經營主體又ハ代表者 代表者 藤原虎治
 沿革概要

昭和二年度ニ於テ天理教中國聯合會及ヒ岡山縣聯合會設立ニ付上道郡聯合會設立其後ニ於テ邑久郡教會少數ニ付合併シテ邑久上道聯合會トシテ設立ス

目的及事業種類

- 1、目的 教祖立教ノ本義ヲ發揚シ郡内教會ノ聯絡教勢ノ發展ヲ團リ社會教化ノ事業ニ貢獻シ併セテ教務支應ノ事業ニ翼賛スルヲ以テ目的トス
- 一、教化事業上ノ調査報告傳達ヲナス事
- 二、講演文書講習會ヲ以テ教化事業ヲ行フ
- 三、各教會順番ニ例會ヲ開ク
- 四、其他

會員數及分布狀況

會員數 特別會員 十二名

昭和二年度決算額 歳入 二四、〇〇
 歳出 〇
 昭和三年度決算額 歳入 七六、〇〇
 歳出 〇
 昭和三年度決算額 歳入 七六、〇〇
 歳出 五三、五〇

名稱 豊並村濟世會

事務所所在地 勝田郡豊並村役場内
 創設年月日 昭和三年三月
 經營主體又ハ代表者 代表者 守安愛一郎
 目的及事業種類

濟世事業ノ遂行及之カ研究ヲナスヲ以テ目的トシ事業種類等未ダ創始記述スヘキ程ニ確立セシ目下事業基金造成ニ盡シ居レリ
 會員數及分布狀況
 目下 十名 (顧問一名委員九名)

主ナル役職名並其氏名

幹事 守安愛一郎
 相談役 豊並村長
 同 豊並校長
 同 西原校長
 同 豊並村駐在巡查

維持方法

寄附金

名稱 粒江村東粒江報徳會

事務所所在地 兒島郡粒江村東粒江公會堂

創設年月日 昭和三年四月十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 藤原數實

沿革概要

昭和三年四月十四日ヲ期シ惡思想撲滅ノ目的ヲ創立ス

目的及事業種類

1、目的 本會ハ教育勸語ノ御趣旨ヲ奉體シ知恩報徳ノ主意ヲ服膺實行ス

口、事業 一、毎月十四日ニ例会、當日ハ報徳會ノ講師又ハ先輩ニ道徳上ノ講話ヲ乞フ

二、毎月實行問題ヲ提出シ會員ハ熱心ニ履踐上努力ス

會員數及分布狀況

兒島郡粒江村東粒江一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 藤原數實
 理事 藤原甚平 同 齋藤楠太
 同 田邊庸太 同 藤原秀雄
 同 小川久志 同 小川靜男

維持方法

寄附金、會員ノ出金等

名稱 岡山市廣瀬町宇東町報徳會

事務所所在地 岡山市廣瀬町四十一番地

創設年月日 昭和三年六月九日

經營主體又ハ代表者 代表者 小山 嵩

沿革概要

昭和三年六月九日御大典記念事業トシテ町ノ決議ニ依リ設立セリ

昭和四年一月十五日岡山縣教化團體聯合會ニ加盟今日ニ至ル

目的及事業種類

教育勸語ヲ奉體シ實行問題ノ協議ヲ以テ目的トス

會員數及分布狀況

會員數 約四百名

主ナル役職名並其氏名

幹事 乾 保藏 同 片岡八郎
 同 風早徳右衛門 同 山田惣次郎

幹事	森上文次郎	同	小山 嵩
商議員	本郷 俣	同	稻田甚吉
同	堀崎萬次郎	同	得光仲三
同	大熊重三郎	同	龜井厚太
同	加藤猪三男	同	加藤長藏
同	片井石五郎	同	吉崎仁三郎
同	吉田清吉	同	田原貞造
同	宇治茂平	同	矢吹安次郎
同	山田条吉	同	山田太紋治
同	福島鐵三郎	同	小林清五郎

維持方法

寄附金

昭和三年度豫算額

歳入

一八、〇〇

歳出

名稱 古都濟世會

事務所所在地 上道郡古都村々役場内

創設年月日 昭和三年七月十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 薄井利武

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書發せラル、ヤ濟世會ヲ創設シ社會事業ノ遂行ニ努メ以テ聖旨ニ副ハンコトヲ期セシモ時機未ク到來セス漸ク昭和三年七月十四日本會ヲ創設シ今日ニ至レリ

目的及事業種類

- イ、目的 國民精神作興ノ聖訓ヲ奉體シ濟世ノ精神ヲ發揚シ社會共存共榮ノ實ヲ擧クヘク社會事業ノ遂行ヲ以テ目的トス
- ロ、事業 一、防貧、救貧、兒童保護及教化事業
二、勤儉貯蓄ト生活改善ヲ獎勵シ並ニ國體觀

念ヲ涵養シ思想ノ善導セシムヘキ方法ヲ

講ス

三、其他直接關係ナキ事業ハ省略ス

會員數及分布狀況

本會々員ハ二百五人ニシテ村一圓ニ亘リ大字分布ノ狀況左ノ如シ

大字 鐵	一六人	大字藤井	三一人
大字 宿	三九人	大字尖甘	二八人
大字 矢津	一〇人	大字南方上	二三人
大字南方下	五八人	計	二〇五人

主ナル役職員並其氏名

イ、役員

- 會長 薄井利武
- 副會長 安井要三郎
- 理事 堀切増太郎 同 井上壽太郎
- 同 水内五六 同 藤田惠三郎
- 顧問 西崎嘉太郎 同 岡崎鹿吉

ロ、職員

書記 石村博

維持方法

寄附金補助金會費其他ノ收入ニヨル

昭和三年度豫算額 歳入 二〇〇、〇〇 円
歳出 二〇〇、〇〇 円

名稱 岡山縣禁酒同盟會

事務所所在地 岡山市内山下十八番地

創設年月日 昭和三年十月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 三浦伊助

沿革概要

我方岡山縣下所在ノ各禁酒會運動ノ統一擴張ヲ計ル爲メ設立セリ

目的及事業種類

- イ、目的 國民精神作興ノ御詔書ノ趣旨ヲ奉戴シ矯風教化ニ努メ國力ノ振興ヲ期シ無酒國理想ノ實現ヲ達成スルヲ以テ目的トス
- ロ、事業種類
イ、縣下禁酒團體ノ聯絡統一ヲ圖ルコト
ロ、禁酒ニ關スル文書並ニ映畫ニ依ル宣傳ヲナスコト

ハ、國家禁酒ノ目的ヲ達成スル爲メニ中央機關並ニ

他ノ教化團體トノ聯絡ヲ保チ臨機ノ運動ヲナスコト

主ナル役職名並其氏名

- 會長 三浦伊助
- 幹事 荻野龜太郎 同 河本乙五郎
- 同 河本正二 同 高戸猷
- 同 玉井伊三郎 同 網島長次郎

幹事 成瀬才吉 同 野宮亮平
 同 楠田一雄 同 安本龜松
 同 御牧義太郎 同 森本慶三
 常任幹事 荻野龜太郎 同 河本乙五郎
 同 玉井伊三郎 同 楠田一雄
 同 安本龜松

維持方法

寄附金、補助金、維持會員、寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	四七〇、〇〇
	歳出	三四四、二四
昭和二年度決算額	歳入	三三二、七五
	歳出	三五一、四九
昭和三年度豫算額	歳入	三五一、四九
	歳出	

獎勵金並補助金下附ノ有無
 金一百圓 縣ヨリノ補助金 昭和三年度

名稱 芳田村濟世會

事務所所在地 岡山縣御津郡芳田村役場内
 創設年月日 昭和三年十一月十日
 經營主體又ハ代表者 代表者 佐藤太郎
 沿革概要

國民精神作興ノ聖旨ヲ奉體シ御大典ヲ記念スル爲ニ大正七年本村ニ於テ施行シタル米ノ販賣事業資金ノ殘餘金ヲ基金トシテ創立シタルモノナリ會員三百九十四人ヲ有ス

目的及事業種類

目的 精神修養ニ關スル講習講話 妊産婦保護施設。兒童保護。生活改善。地方改善。防貧及救貧。罹災者ノ救護。稀老者ノ慰安ノ施設。其他利用厚生ニ關スル施設

會員數及分布狀況

會員數 三九四名
 村内全戸數四四七戸ニシテ村内ラ區域トシ村民ヲ以テ組織スル

モノナリ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員
 會長 佐藤太郎
 副會長 瀬崎庄造
 理事 岡崎松次郎 同 安井安太郎
 同 黒住力太郎 同 保崎興三郎
 同 横山久太郎 同 小籤實造
 同 黒田金治

口、職員

杉村殿一郎

資産(種目別)

基金 一千七百十三圓八十二錢
 器具其他 五十圓
 計金一千七百六十三圓八十二錢

維持方法

寄附金、補助金、會費

昭和四年度豫算額	歳入	二七三、〇〇
	歳出	

名稱 廣島縣教化事業聯合會

事務所所在地 廣島縣廳
 創設年月日 昭和三年三月八日
 經營主體又ハ代表者 代表者 廣島縣知事
 沿革概要

本會ハ昭和三年三月八日創立シ縣下ニ散在セル教化事業ヲ主トセル各團體ヲ聯合シテ組織シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 教化事業ノ聯絡提携ヲ圖リ其ノ事業ヲ促進スルヲ以テ目的トス

口、事業 一、教化事業ニ關スル研究調査

二、講演會講習會ノ開催

三、パンフレット、ポスター其他印刷物ノ刊行

四、協議會ノ開催

會員數及分布狀況

七十三團體ニシテ縣下各地方ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

會長	廣島縣知事
副會長	廣島縣學務部長
同	正木義太
幹事長	社會課長
幹事	囑託 土井三郎
同	同 村松義郎

維持方法

寄附獎勵金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度決算額

歳入 四八、〇八
歳出

昭和三年度決算額 歳入 六五二、九二
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

二百圓	昭和二年度	廣島縣	
三百圓	同	三年度	廣島縣
三百圓	同	三年度	中央教化團體聯合會

名稱 廣島縣神職會世羅郡支會

事務所所在地 世羅郡東大田村和理比賣神社内

創設年月日 明治十二年六月

經營主體又ハ代表者 代表者 原田穠造

沿革概要

明治十二年六月世羅、甲奴、三谿、三郡聯合神道事務支局ヲ世羅郡津久志村天藤滿壽美宅ニ置キ天藤滿壽美氏支局長トナリ同十九年五月分離シ神道支局ヲ同郡廣定村宇賀信野友幸宅ニ置キ信野氏支局長トナル同二十五年八月

廣島縣神職取締所世羅郡支所ト改稱シ同四十二年二月廣島縣神職管理所世羅郡支所ト改稱シ支所信野友幸トナル

大正六年七月廣島縣神職會世羅郡支會ト改稱シ事務所ヲ世羅郡役所ニ置ク支會長ハ各郡長ヲ推戴シ、古玉壽太郎

長谷川徹爾、柏四郎九、津田諭吉、財滿正雄ノ各支會長ヲ經大正十五年六月郡役所廢止ト共ニ現在ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 廣島縣神職會ノ目的ヲ遂行シ兼テ神職ノ修養ニ資スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、神職講習會 二、國體講演會

三、神職ヲシテ地方公共事業ニ協賛シ民風民政ノ裨補ニ力セシムルコト

四、神職ヲシテ其神社ニ於テ神德講演ヲ開催セシムルコト

五、郡招魂祭ヲ行フコト

六、郡内氏子總代會ヲ行フコト

七、神宮崇敬ノ美風ヲ養成スル爲メ大旗頒布ノ事務ヲ行フコト

八、其ノ他本支會ニ必要ト認メラル、事項

會員數及分布狀況

會員數 十九名

三川村 二名	東村 二名	廣定村 三名
大見村 二名	津久志村 二名	小國村 一名
津名村 一名	上山村 一名	吉川村 二名
神田村 一名	西大田村 一名	東大田村 二名

主ナル役職名並其氏名

支會長	原田穠造
副支會長	天藤穆
幹事 後	藤東 同 遠藤壽一
同	原田一二 同 林幸磐
專務幹事	井口明
協贊員	各町村長十三名

資産（種目別）

基本金七十圓

維持方法

前年度繰越金、預金利子、賦課金補助金獎勵金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額

歳入 一、〇五九、〇〇

昭和二年度決算額

歳入 一、〇三六、〇〇〇

昭和三年度豫算額

歳入 一、三〇九、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）

二百七十圓 廣島縣神職會及郡内 昭和二年度
各町村獎勵補助金
二百六十八圓 同 三年度

名稱 廣島縣神職會

事務所所在地 廣島縣廳内

會長 御影地辰雄

副會長 太田清

同 三宅直了

幹事 山崎幹二 同 吉田和一

講師 高野義次郎 主事 石田清次郎

外顧問五名

資産（種目別）

基本金 三千五百圓

維持方法

各神職豫出金、縣費補助金

昭和二年度豫算額

歳入 一、一五一、〇〇

昭和二年度決算額

歳入 一〇、三八二、九六

昭和三年度豫算額

歳入 一一、八九一、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）

三千圓 昭和二年度 縣費補助

三千圓 同 三年度 同 上

創設年月日 明治十二年

經營主體又ハ代表者 代表者 御影地辰雄

沿革概要

縣下神職ヲ會員トシテ組織シ創設當時神職取締所ト稱シ後神職管理所ト改メ明治三十九年現在ノ神職會トス各郡市ニ支會ヲ設ケ全國神職會ト連繫ヲ保ツ

目的及事業種類

イ、目的 國體ヲ講明シ神社ノ隆盛ヲ教圖リ化訓育ヲ行

フ

ロ、事業 一、講演 二、定期雜誌發行

三、活動寫眞 四、育英事業

五、文書宣傳

會員數及分布狀況

四百五十名ノ會員ヲ有シ支會數二十四

主ナル役職名並其氏名

名稱 廣島縣神職會佐伯郡支會

事務所所在地 佐伯郡五日市町五番地

創設年月日 明治十四年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 河野貞夫

沿革概要

明治十四年創立廣島縣神職管理所佐伯郡神職管理支所ト稱シ大正五年七月廣島縣神職管理所規約改正ニ伴ヒ廣島縣神職會佐伯郡支會ト改稱ス

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的ス

ロ、事業

一、神社ノ整善及神職ノ風紀勤惰ヲ督勵スルコト

二、神徳ヲ講明シ斯道ニ關スル思想ノ涵養普及ニ努ムルコト

會員數及分布狀況

會員 二十名 佐伯郡一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 河野 貞夫
副會長 山田 厲
幹事 河野 貞秋
評議員 所 義彦

資產(種目別)

基本金 千八百五十四圓

維持方法

會員ノ負擔及寄附金ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額

歳入 一、四〇三、二二

昭和二年度決算額

歳入 一、三六四、〇一
歳出 一、一五三、二六

昭和三年度豫算額 歳入 一、三七八、八五
獎勵金並補助金下附ノ有無

百一圓五十七錢 廣島縣神職會ヨリノ補助金

名稱 廣島縣佐伯郡教育會

事務所所在地 佐伯郡廿日市町

創設年月日 明治二十四年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 正木 義太

沿革概要

本會ハ明治二十四年四月一日創立シ今日ニ至ル
目的及事業種類

イ、目的 教育ノ振興ヲ圖ル
ロ、事業

- 一、一般講習會、民衆講座、活動寫眞
- 一、體育大會(兒童、教員)
- 一、青訓、實補、教員、研究會

一、學習指導、公開教授

一、教育視察

會員數分布狀況

郡全體 會員一千百名

主ナル役職名並其氏名

會長 正木 義太
副會長 笹江 國太郎
幹事 八林 三四一
同 越智 順治
主事 大前 源市

資產(種目別)

基金 一萬八千圓

維持方法

基金利子、會費及會員離出金補助金

昭和二年度豫算額

歳入 三、〇八九、〇〇

昭和二年度決算額

歳入 三、二五六、〇〇
歳出

昭和三年度豫算額

歳入 三、〇四六、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

二百二十四圓 縣補助金 昭和二年度

名稱 廣島縣甲奴郡教育會

事務所所在地 甲奴郡上下町縣立上下高等女學校内

創設年月日 明治三十一年四月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 土居 肩吉

沿革概要

明治三十一年四月甲奴郡私立教育會設置

大正三年三月大修正ヲ加ヘタルモ時代ノ變遷ハ益々其ノ

根本的改造ノ必要ヲ生シ遂ニ大正七年四月ヲ以テ時ノ郡

長佐久間啓莊ヲ會長トシ甲奴郡教育會ト改稱シ同時ニ新

ニ會員並ニ寄付金ノ大募集ヲナス

本會々長ハ累代ノ郡長ヲ推戴セルカ郡制廢止ト共ニ大正十五年七月廣島縣立上下高等女學校長土居肩吉會長トナル

從來ハ教育研究ヲ主トシタルカ教育ノ背景トシテ最モ密接ノ關係アル農村ノ振興社會ノ改善ヲ目下ノ急務トシ之ニ關スル研究及施設ニ力ヲ注クニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 教育ヲ志シアルモノ相提携共同シテ教育ノ普及上進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、教育ニ關スル事項ノ研究調査ヲナス
- 二、官廳ノ諮問ニ應シ官廳ニ建議シ其他適宜教育ニ關スル意見ヲ發表スルコト
- 三、展覽會、講習會、講演會、體育會、研究會等ノ施設ヲナスコト
- 四、教育上ノ功勞者ヲ表彰スルコト

五、教育會議ニ代表者ヲ派遣スルコト

六、視察調査ノタメ委員ヲ派遣スルコト

七、教育上有益ナル事業ノ援助獎勵又ハ斡旋ヲナス

コト

八、青年團、處女會、婦人會指導ノ誘掖ニ努ムルコト

九、圖書文庫ヲ設クルコト

十、其他本會ノ目的ヲ達スルタメ必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

會員 四百五十名 郡内一圓

主ナル役職名並其氏名

- イ、役員
 - 會長 土居 肩吉
 - 副會長 下坂 權九
 - 理事 岡田 胖十郎 同 福場 靜記
 - 同 山口 周一 同 川上 保吉
 - 同 十代田 治右衛門 同 秋山 茂

同 藤井 建一 同 山田 八朗
口、職員
書記 岡田 貞雄

資産(種目別)

- 一、基本金 一千圓
- 二、器具圖書、其他物品 千三百二十四圓

合計 二千三百二十四圓

維持方法

會費及補助金ヲ主トシ其他獎勵金寄附金ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	七五七、〇〇
	歳出	八四三、四一
昭和二年度決算額	歳入	四九八、二七
	歳出	九五七、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	九五七、〇〇
	歳出	九五七、〇〇

獎勵金並補補金下附ノ有無

百十一圓 昭和二年度 縣費獎勵金

名稱 日本弘道會廣島支會

事務所々在 廣島市播磨屋町一六有末清重方

創設年月日 明治三十一年六月二十七日

經營全體又ハ代表者 代表者 有末清重

沿革概要

創立當時前大阪師範學校校長岡本之行ヲ經テ元宮中顧問官佐藤正、陸軍中將田部正壯ヲ經テ今日ニ至ル事業日ニ月ニ増大シ益々發展ノ域ニ進ミツ、アリ縣下ニ亙リ道德ニ關スル諸集合ノ招ニ應シ或ハ又隨的出張講演ニ努メツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 日本弘道會ノ主旨ニ則リ邦家道德ノ衰頹ヲ挽回シ堅實ナル基礎ヲ固ムルヲ以テ目的トス

ロ、事業 道德鼓吹ノ爲メ講演會ヲ開催ス

會員數及分布狀況

會員數 五百五十餘名

主ナル役職名並其氏名

支會長	有末清重
副支會長	志岐重義
評議員	森川脩藏 同 山縣齋高
同	岡島均 同 粟屋敏夫
幹事	花田仁三郎 同 澤崎裕造

維持方法

寄附金ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	一〇〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一〇〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一〇〇、〇〇

名稱 社團法人高田郡教育會

事務所所在地 高田郡吉田町

創設年月日 明治三十二年六月二十日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 社團法人

二、代表者 水無瀬 德太郎

沿革概要

明治三十二年六月二十日高田郡私立教育會ヲ組織シ大正十年二月二十七日社團法人高田郡教育會ニ改メ認可ヲ受ク

目的及事業種類

- 一、目的 高田郡教育ノ普及發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 二、通俗講演會
- 三、裁縫競技會
- 四、手工科講習會
- 五、兒童體育大會
- 六、體操展覽會
- 七、講習會
- 八、縣外視察員派遣
- 九、實習地品評會
- 十、補習教育研究會
- 十一、巡回文庫

會員數及分布狀況

高田郡内會員總數三百七十五名

内訳

二百五十名 小學校教員

百二十五名 町村長、地方有志者

主ナル役職名並其氏名

會長	水無瀬 德太郎
理事	芥川賛朗九 同 折口甚九郎
同	桑原道彦 同 石川隆次
同	和田壽美 同 柏 良照
同	横路一男 同 三好清九郎
同	水無瀬 德太郎

資産(種目別)

一、基本金	二千圓
一、器具其他	百圓
合計	二千百圓

維持方法

會費、補助金、寄附金ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 一、四四二、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 八二三、二八

昭和三年度豫算額 歳入 一、五四二、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
百二十二圓 縣ヨリノ補助金 昭和二年度

名稱 尾道市教育會

事務所所在地 尾道市久保尋常高等小學校

創設年月日 明治三十二年六月二十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 前 田 清

沿革概要

明治三十一年四月一日尾道市カ市制ヲ布キ御調郡ヨリ分レタルニ際シ尾道市民有志ヲ以テ本會ヲ組織スルコトニ決シ翌三十二年六月二十四日之ヲ設立シ尾道市私立教育

會ト稱ス

大正九年四月十六日尾道市教育會ト改稱シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 教育ノ普及上達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、教育ニ關スル事項ノ視察、研究、調査
- 二、講習會、講演會、展覽會、體育會及通俗教育ノ施設

三、教育ニ關シ官公署ニ建議シ諮問ニ應シ其他意見ノ公表

四、教育上ノ功績者篤行者並ニ優良兒童ノ表彰

五、雜誌ノ發行有益ナル圖書ノ刊行

六、其他教育上必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

イ、會員數 六百五十人

ロ、分布狀況 尾道市内各方面ノ人士ヲ網羅ス

主ナル役職名並其氏名

會長	前田清
副會長	野田茂吉
理事	小林徳太郎 同 佐藤良都知
	同 吉本佐吉 同 吉田峯三郎
	同 占部幹一 同 兒玉九市
	同 高橋軍二 同 松岡利市
常務理事	妹尾茂吉
職員	
書記	吉岡隆一 同 冠野和人

資産(種目別)

一、基本金二千六百七十八圓八錢

維持方法

會員ノ離出スル會費及補助金

昭和二年度豫算額 歲入 一、一四五、二八

歲出 一、三四四、六〇

昭和二年度決算額 歲入 一、九五五、五二

昭和三年度豫算額 歲入 一、六二八、五八

獎勵金補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

一百三十五圓 廣島縣ヨリノ補助金 昭和二年度

二百圓 尾道市ヨリノ補助金 同 二年度

二百圓 同 上 同 三年度

名稱 社團法人安佐郡教育會

事務所所在地 安佐郡可部町四百十二番地ノ二

創設年月日 明治三十三年十二月八日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人

ロ、代表者 中道卯之助

沿革概要

明治三十三年十二月八日第一回總會ヲ開催シ安佐郡教育

會ト稱ス

明治四十一年十一月二十一日第七回總會ニ於テ會則ノ改

正ト同時ニ社團法人トナスコトヲ決議ス

明治四十二年八月六日社團法人設立認可セラレ今日ニ至

ル

目的及事業種類

イ、目的 教育ノ氣脈ヲ通シ彼是協同シテ普及上進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、教育ニ關スル討議又ハ審査ヲナスコト

二、學藝ニ關シ講習會演說會通俗講談會ニ開催シ巡回文庫等ヲ開設スル事

三、官廳ノ諮問ニ應シ又ハ建設スルコト

四、教育視察員ヲ派遣スルコト

五、教育功勞者篤行者ヲ表彰スルコト

六、其他本會ノ目的ヲ達スルタメ必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

イ、會員數 一千三百十六名

口、分布状況

三篠町一二三	長東村一五	祇園村一三九
原 村二五	三川村六四	川内村四五
八木村二九	鎌井村一九	安 村八一
伊 村九八	戸山村三六	久地村一四
日浦村三六	小河内村四六	鈴張村四〇
飯至村三九	龜山村八〇	大林村二二
三入村七一	可新村百一六	深川村四五
中原村四〇	狩小川村四〇	福木村一一
落合村一四	口田村二八	山本村二〇

ハ、各町村小學校職員全部

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長	中道卯之助	
理事	瀬川卯一	同 桑原秀雄
	佐久間嘉吉	同 佐々木勝二
	堀與三郎	同 藤井哲夫
	小林登一	同 長迫又市

口、職員

理事 協 月實藏 同 築山清己
 專任理事 桑原秀雄 書記 住野正禪

資産(種目別)

- 一、基本金 五千五百三十五圓七十九錢
- 二、山林 一町七段步
- 三、器具 百三十四點
- 四、圖書 千四百四十二冊

維持方法

寄附金、補助金、會費等ニヨル收入

昭和二年度豫算額	歳入	七、四〇三、〇〇
	歳出	四、二〇六、四〇
昭和二年度決算額	歳入	三、六〇九、六四
	歳出	四、八三四、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	四、八三四、〇〇
	歳出	四、八三四、〇〇

奨励金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)
 二百六十四圓 縣費補助 昭和二年度
 千五百三十七圓 町村ヨリ補助 同二年度
 二千三百七十四圓 町村ヨリ補助 同三年度

名稱 廣島躬行會

事務所々在地 廣島市播磨屋町十六番地

創設年月日 明治三十六年八月

經營主體又ハ代表者 代表者 有末清重

沿革概要

創設以來別項記載ノ目的事業ノ遂行ニ努メ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 實踐躬行ヲ旨トシ積極的方法ニヨリ社會的道

徳ヲ進ムルヲ以テ目的トス

口、事業 社會各種ノ模範の人物即チ孝節婦義僕等ノ善

行ヲ表彰シ公私ノ職務ヲ行フニ當リ不時ノ災

厄ニ罹リタル忠實熱心ナル公私ヲ弔慰スル等

ノ事業ナリ

會員數及分布状況

會員十名

何レモ匿名ニシテ廣島市内有志ヲ以テス

主ナル役職名並其氏名

會長 有末清重

維持方法

必要ニヨリ所要額ハ會員平均負擔ス

名稱 財團法人 基督教婦人矯風會吳支部

事務所々在地 吳市下山手町二五帝國海軍々人ホーム

創設年月日 明治四十一年三月二十日

經營主體又ハ代表者 代表者 十時キク

沿革概要

明治四十一年三月二十日十時キク、其他數名ノ姉妹等ト

相謀リ吳婦人矯風會ヲ起ス其後會員増加ニ伴ヒ基督教婦

人矯風會ニ屬シ異支部ト改ム

目的及事業種類

イ、目的 本會ノ目的ハ基督教主義ニヨリ禁酒禁煙ノ勵

行ヲ始メ諸般ノ弊習ヲ矯正シ社會風教ヲ高メ且基督教ヲ傳播シ以テ人生ノ幸福ヲ増進スルニアリ

口、事業 左ノ各部ニ分チテ各々其仕事ヲ分擔ス

- 一、家庭部、料理、洋服、編物手藝等ノ講習ヲ開キ各家庭ノ向上進歩ヲ抄ル
- 二、廢酒教育部、學校トノ連絡ヲ取り兒童ノ禁酒教育ニ務メ、或ハ宣傳ビラ配布ヲナシ或ハ講演會ヲナシ或ハ全國小學校禁酒禁煙教育運費ヲ集ムル等社會ノ禁酒禁煙ニツトム
- 三、交際部、吉凶或ハ病氣見舞等全員ノ家庭ヲ訪問シ、會員ノ家庭ノ連絡ニツトム
- 四、社會部、天災地變等其時ニ應シテ種々救濟ヲナシ或ハ講演會ヲ開クコトアリ
- 五、財務部、會ノ運動資金ヲ得又維持費ヲツクル爲メニバザーヲ開キ或ハ浴衣ノ販賣ヲナス

六、修養部、名士ヲ招キテ講話ヲナシ會員各自ノ精神修養ニ務ム

七、風俗部、公娼制度撤廢ニ全力ヲ注キ公娼制度撤廢、教育運動資金ヲ募集シ其他風俗ニ害アル事ヲ防クニ務ム

八、法律部、法律家ヲ招キテ法律ヲ學ヒ、議會請願運動ヲナス

會員數及分布狀況

會員數七十一名

但シ海軍ノ移動ニヨリ會員ノ轉出者多シ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

- 支部長 十時キク子
- 副支部長 風間千枝子
- 書記々錄 石原公惠
- 同通信 柳沼歌子會 計 秦野喜久江
- 家庭部長 川田文子 廢酒部長 岡本則子

社會部長 柏村松枝 財務部長 秦野喜久江
 修養部長 ミス・タウン 風俗部長 山本親子
 法律部長 瀬崎楨乃 交際部長 風間千枝子

資産(種目別)

基本金 百二十三圓二十三錢

維持方法

會員ノ會費及バザー、活動寫眞、浴衣販賣等ヨリ得タル利益或ハ臨時寄附等

昭和二年度決算額 歳入 一、五八一、〇八
 歳出 二、三三七、九三
 昭和三年度決算額 歳入 五二一、四四
 歳出 二四九、三九

名稱 文化報德會

事務所々在地 廣島縣賀茂郡川尻町

創設年月日 明治四十一年八月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 柏尾輝喜

沿革概要

明治四十一年八月十三日創立發會式ヲ廣島縣賀茂郡西條小學校ニ於テ舉行、年號ニ因ミ四一報德會ト名ツク
 大正十一年八月三日總會ノ決議ニテ名稱ヲ文化報德會ト改ム

目的及事業種類

イ、目的 報德主義ニヨリテ地方文化ノ發展國民思想ノ

善導並會員相互ノ親睦ヲ圖ル

口、事業 總會、親睦會、會誌發行、パンフレット其他印刷物ノ刊行、講演會、講習會、成人講座、

演藝會等

會員數及分布狀況

六百二十名

- 内、過半数ハ賀茂郡内
- 百餘名ハ賀茂郡外ノ縣下
- 百餘名ハ廣島縣外ノ國內

二十餘名ハ外國

主ナル役職名並其氏名

會長 柏尾輝喜
副會長 檜高憲三
同 吉川光次

維持方法

會員ヨリ豫出スル會費、並ニ會員其他ヨリノ寄附金ニヨル

昭和二年度豫算額

歲入 八八七、八七

昭和二年度決算額

歲入 八四八、六七

昭和三年度豫算額

歲入 一二五六、七七

名稱 社團法人 蘆品郡教育會

事務所々在 地 蘆品郡廣谷村

創設年月日 明治四十二年二月

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人

口、代表者 津田諭吉

沿革概要

イ、明治三十二年二月蘆品深安沼隈三郡ヲ以テ西備教育會ヲ設立シ十有餘年間教育上ニ献贊スル所アリ

口、明治四十二年二月協議ノ結果獨立シテ蘆品郡私立教育會ト稱シテ教育總集會通俗講演會、講習會、活動寫真巡回講演會、視察員派遣展覽會開催ナトシテ教育上ニ貢獻セリ

ハ、大正十三年五月會則ヲ變更シテ財團法人組織トナシ役員制度ヲ變更シ同前ノ事業ヲナシテ今日ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 蘆品郡教育ノ振興ヲハカルヲ以テ目的トス

口、事業

總會、學事視察、體育大會、講習會、巡回講演會、活動寫真會、研究發表會、展覽會、教

練大會、教練指導員講習會、軍隊見學、實補

專任教員研究會等

會員數及分布狀況

イ、會員數三百二十名

口、分布狀況

主體小學校教員ニシテ他ニ町村長有志ヲ以テ會員トナシ居ル
カタメニ全郡各町村ニ分布セリ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 津田諭吉
副會長 卜部陸太 同 門利忠衛門
理事 信岡錦一 同 遠藤忠
同 藤田和市 同 藤原精市
同 佐長史六

口、職員

幹事 平井光太郎

資産(種目別)

基本金 二千百九十六圓

維持方法

縣費補助金、町村補助金、寄附金、預金利子、活動寫真機貸出料金、會費等ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 二、五五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 二、九七三、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 二、四〇七、〇〇

昭和三年度決算額 歲入 二、二五〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

千二百圓 縣費補助金、町村費補助金 昭和二年度

千二百圓 縣費補助金、町村費補助金 昭和三年度

名稱 先 憂 會

事務所々在 地 廣島縣沼隈郡松永町

創設年月日 明治四十四年一月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 村田靜太郎

沿革概要

明治四十四年一月三日創立
明治四十四年七月ヨリ毎月一回月刊雜誌「まこと」發行
地方文化ノ向上改善地方等ニ盡瘁
大正十年三月本縣ヨリ選奨ヲ受ケ、大正十三年以來内務省ヨリ助成金ヲ下附サレ今日ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 教會教化

ロ、事業

- 一、雜誌「まこと」發刊
- 一、講習講演會開催
- 一、懇談會、見學旅行施行
- 一、圖書、各種印刷物刊行
- 一、生活改善指導
- 一、禁酒禁煙獎勵

名稱 一 德會 廣島支會

事務所々在地 廣島市大手町五丁目神宮奉齋會内

創設年月日 大正三年十月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 田部正壯

沿革概要

創立ノ當務故眞鍋斌支會長トナリシモ不幸逝去セルヲ以テ佐藤正之ヲ繼承シテ支會長トナリ漸次發展セシモ大正十年四月逝去セリ尋テ同年五月十九日田部正壯氏之カ後任ニ推戴シ今日ニ至ル

會員數及分布狀況

市部二二四、郡部九九三計一二一七

- 一 德會廣島支會 佐伯郡吉田村分會
- 同 八幡分會 同 河内村分會
- 同 地御前村分會 安佐郡山本村分會
- 同 川内村分會 安藝郡音戸町分會
- 世羅郡上山村分會

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

一、職業指導及紹介

一、獨學者指導

一、倫理的結婚助成

一、娛樂研究

會員數及分布狀況

會員 三千四百四十八名

主ナル役職名並其氏名

常務幹事 村田靜太郎

幹事 寺岡實三郎

同 湯川大三郎

同 濱本清一

同 高木金三郎

資産(種目別)

資産金 計三千七百八十六圓

内公債 二千八百圓

預金 九百八十六圓

會長 田部正壯

幹事長 加藤雄次郎

幹事 岡島均

同 松村文太郎

同 中野實英

同 右田頼已

理事 中江誠一

同 杉井兵吉

同 笠岡増次郎

同 羽場榮太郎

同 中江誠一

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

同 中津直

名稱 廣島縣神職會廣島支會

事務所所在地 廣島市役所内

創設年月日 大正五年九月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 川 淵 龍 起

沿革概要

廣島縣神職會ノ組織セラル、ニ件ヒ廣島支會ヲ組織ス

目的及事業種類

目的 本會ノ目的ハ國體ヲ闡開シ神社ノ隆盛神職ノ向上

ヲ圖ルヲ以テス

會員數及分布狀況

會員數 十三人

市内各神社ノ神職ヲ以テ組織

縣社 一社 郷社 二社

村社 八社 無格社 二社

主ナル役職名並其氏名

廣島縣神職會廣島支會長

川 淵 龍 起

副支會長 佐々木忠夫

維持方法

各神社ノ負擔金及縣神職會ノ補助金ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 一五八三、八八

昭和三年度豫算額 歲入 一五九〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

廣島縣神職會補助金

百十三圓二十二錢 昭和二年度

百十三圓十二錢 同 三年度

名稱 日本基督教婦人矯風會廣島支部

事務所所在地 廣島市皆實町清交園内

創設年月日 大正五年

經營主體又ハ代表者 代表者 吉村クニ

沿革概要

一、社會部(理想的、學生寄宿舍) 現在清交園等

會員數及分布狀況

五十人

市内各教會員ノ婦人カ大部分ヲ占ムルモ教會員外ノ夫人モ含

主ナル役職名並其氏名

支部長 吉村クニ

副支部長 吉田幽子

書記 永久きくの

會計 勝部英子 同 則武ヨシ

維持方法

會費一人ニ付十五錢ヲ集ム

名稱 廣島縣神職會高田郡神職支會

事務所所在地 高田郡志屋村字志路

創設年月日 大正六年二月十日

大正五年以來、大部分、本部矯風會ノ事業ヲ分擔ス、一時婦人ホームヲ開キテ精神上又ハ物質上困難ニ陥リタル者ヲ救済シタル事アリシモ物資ニ乏シクシテ閉鎖スルノ止ムナキニ到ル、四年前社會部ノ働ラキトシテ學生寄宿舍清交園ヲ開ク年々眞面目ノ青年ヲ出シツ、アリ入園ノ青年ハ眞面目着實ナル人ノミナリ

目的及事業種類

イ、目的 世界ノ平和、純潔、禁酒

口、事業

一、廢酒部(禁酒ノタメノ努力)

一、家庭部(料理、衣服、家庭習慣ノ改善等)

一、法律部(法律ニ對スル請願ノ如キヲナス)

一、教育部(學校ニ對シ改善ヲ求ムル事禁酒ボスタ

一ヲ送ルヘキ事等)

一、傳道部(クリスト教宣傳ニ努ムル事等)

一、風俗部(廢娼等ノ事)

經營主體又ハ代表者 代表者 佐伯美穂

沿革概
神職取締所又ハ神職管理所トシテ明治二十五年頃ヨリア
リ大正六年二月一日廣島縣神職會高田郡神職支會ト改正
ス

目的及事業種類

團體ヲ講明シ神社ノ隆盛ヲ圖リ教化訓育スルヲ以テ目的
トス
總會、臨時會、研究會、講習會、招魂祭其他一般ノ祭祀
ノ統一改善ヲ圖ル

會員數及分布狀況

會員二十名

高田郡各町村一圓

主ナル役職名並其氏名

高田郡神職會長 佐伯善穂
同副會長 三上比良雄
同幹事 桑原道彦

同幹事 青山茂彦

資産(種目別)

現金七十圓
器具其他ノ物品二十圓

維持方法

郡内郷村社ノ氏子負擔金

昭和二年度豫算額 歳入 七〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 七〇〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 八〇〇、〇〇

名稱 福山市教育會

事務所々在地 福山市役所内

創設年月日 大正六年二月十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 中野有光

沿革概要

大正六年二月十二日創立同日發會式舉行時ノ市長阿武信
一氏ヲ會長ニ推戴教育ノ普及發達ニ努ム
昭和二年九月八日會長辭任ニツキ現市長中野有光氏ヲ會
長ニ推戴セリ

目的及事業種類

イ、目的 教育ノ普及及上進ヲ圖ルヲ以テ目的トス
ロ、事業

- 一、教育ニ關スル事項ヲ視察研究調査スルコト
- 二、講習會ハ市民講座、講演會、體育會、教育品展
覽會ヲ開クコト
- 三、青年團處女會其他社會教育ノ發達ヲ資クルコト
- 四、兒童生徒ヲ保護獎勵スルコト
- 五、教育上ノ功勞志篤行志其他優良兒童生徒ヲ表彰
スルコト

會員數及分布狀況

小中學校教員其他市一般有識有産階級
主ナル役職名並其氏名

會長	中野有光	理事	井上敬止	同	相原道登
同	高橋政吉	同	尾高藤三郎	同	坂本政七
同	大平要太郎	同	村上五郎吉	同	栗原定助
同	青景要七	同	麥田登	同	幹事長 松葉宇三郎
同	岡田忠次郎	同	幹事	同	

維持方法 寄附金、補助金、會費其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	一、八一三、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	八一四、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		
五十圓	市補助	昭和二年度
百六十三圓	縣補助	同二年度
五十圓	市補助	同三年度
五十圓	市補助	同三年度

名稱 大日本愛人會

事務所所在地 廣島市觀音町一丁目二十二番地

創設年月日 大正九年五月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 久保田百松

沿革概要

家庭看護法本會ハ大正九年五月以來ニ關スル講習會ヲ各地ニテ開催シ眞愛中學ヲ設立シ苦學生ヲ養成ス。縣下福山市、尾道市、吳市、山口縣、大分縣、福岡縣等へ支部北海道、大連、青島等へ宣傳ス

精神講話日曜學校、愛仁看護助産女學校、愛人會幼稚園設立シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的ス

ロ、事業 精神講話、學校經營、幼稚園經營、家庭看護法講習會開催

會員數及分布狀況

四百八十名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會費	久保田百松	
理事	木谷祐寬	田部正壯
同	香川富太郎	
幹事	香川卓二	櫻井博次
同	笹岡操	津田德義
同	秋山賢吉	田中一郎
同	脇田德太郎	
職員	久保田純一	
資産(種目別)		
金	四萬五千圓	
一土地		一萬七千圓
二建物		二萬三千圓
三器具		三千八百圓
四印刷物其他		千二百圓

維持方法

代表者負擔

昭和二年度豫算額	歳入	四九五、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	五一四、〇〇
	歳出	
昭和三年度豫算額	歳入	五一七、五〇
	歳出	

名稱 廣島縣共鳴會

事務所所在地 廣島市材木町誓願寺内

創設年月日 大正十年三月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 山本正男

目的及事業種類

イ、目的 融和促進ヲ期スルニ在リ

ロ、事業 講習講演會、雜誌「共鳴」ノ發刊、差別事象ノ調停

會員數分布狀況

約五千名

縣下各郡市ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

幹事長 山本正男

資産(種目別)

毎年縣並ニ内務省ヨリ補助金

名稱 廣島婦人會

事務所所在地 廣島市大手町九丁目澄川ミチノ方

創設年月日 大正十年四月二十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 澄川ミチノ

目的及事業種類

目的 會員相互ノ懇親ヲ圖リ智識ノ向上ヲ目的トス

會員數及分布狀況

會員數六十三名

分 布 市内一圓

主ナル役員並其氏名

幹 事 横山ます子
 同 牧ます子
 同 澄川ミチノ
 同 吉田ゆう子
 會 計 川口はま子
 同 堀田ゆき子

資産(種目別)

目下一千圓餘
 郵便局預金

名稱 佐伯佛教濟世軍

事務所所在地 佐伯郡廿日市町四十番地ノ一

創設年月日 大正十年八月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 吉本菅太郎

沿革概要

歐洲大戰亂ノ後外來思想ノ惡影響ヲ蒙リ且ツ經濟界ノ大恐慌ニヨリ益々思想ノ惡化ヲ來シ之カ臣救善導ヲ圖ランニハ須ク宗教的教化團體ヲ組織スルニ如クムナカルヘシト認メ之ヲ設立セリ

爾來加盟人員遂次増加シ大正十四年頃ニ於テハ總數一千五百名ヲ算スルニ至レリ其後多少ノ盛衰アリシト雖モ益々之カ堅實ヲ期シ昭和三年五月三十日廣島縣教化事業聯合會ヘ加盟ノ件申請ヲナン同年十二月三日付ヲ以テ其ノ承認ヲ得タリ

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シテ時弊ノ救濟ニ努メ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、聖德太子ノ御遺訓ニヨリ厚ク佛法ヲ信シ濟世利生ノ天職ヲ完ウセンコトヲ期ス
- 二、少數同胞トノ融和ヲ圖ルコト
- 三、日曜學校ヲ經營シ兒童ノ教化ヲ助成スルコト
- 四、藝妓團體並ニ婦人會員ノ教化ヲナスコト
- 五、敬老會ヲ催スコト
- 六、人事ノ相談ニ應スルコト
- 七、教化ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト
- 七、其他社會教化ノ講演ヲナスコト

會員數及分布狀況

本軍加盟軍人總數七百名アリ其ノ分布狀況ハ殆ト佐伯郡内一圓ニ及ヒ分隊三ツアリ軍人ハ何レモ青壯年ノ男女ヲ以テ主體トシ老年ノ者ハ入ルヲ拒マサレトモ客體トシテ扱ヘリ

其ノ主ナル町村名 廿日市町、五日市町、草津町、古田村、石内村、八幡村、觀音村、平良村、宮内村、地御前村、大野村、三和村、友原村、津田町

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

理事 吉本菅太郎 同 竹林地曉雲
 同 榎本米一 同 木谷勤造
 同 水田乙一 同 藤本梅太郎

ロ、職員

幹 事 澤 艶子 同 村上正見
 同 西 マサノ
 顧問 德 澤 龍 象

資産(種目別)

- 一、軍旗一旗 六十圓
- 二、オルガン一臺 二百圓
- 三、樂隊用具一切 六十五圓
- 合計 三百二十五圓

維持方法

本部長ノ出費及寄附者ノ寄附金ニ依ル

昭和二年度決算額 歲入) 一、二〇、〇〇 円
 歲出) 一、一五、〇〇
 昭和二年度決算額 歲入) 一、二〇、〇〇
 歲出) 一、一五、〇〇

昭和三年度決算額 (歳入) 一、二〇、〇〇〇
(歳出) * * * * *

名稱 修養團 廣島支部

事務所所在地 廣島市鞆町小學校内
創設年月日 大正十年十月二十一日
經營主體又ハ代表者 神尾省二
沿革概要

大正十年十月支部設立
爾來每月一回例會開催

目的及事業種類

イ、目的 流汗鍛練、同胞相愛ノ二大主義ニヨリテ總親
和總努力總向上總幸福ノ國家社會團體家庭等
ヲ作ルニアリ

ロ、事業

一、講習會、青年處女講習、戶主主婦講習等

名稱 社団法人 双三郡教育會

事務所所在地 双三郡三次町千八百二十八番地ノ一
創設年月日 大正十一年十月十日(社団法人許可ノ日)
經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社 團 法 人
ロ、代表者 世 良 茂

沿革概要

教育會設立ノ必要ヲ認メ十數年前設立シ更ニ大正十一年
社団法人組織トナシ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ双三郡教育ニ志アル者相提携共同シテ
教育ノ普及上進ヲ圖ルヲ以テ目的トナス

ロ、事業

- 一、教育ニ關スル事項ノ研究調査ヲ爲スコト
- 二、官廳諮問ニ應シ官廳ニ建議シ其他適宜教育ニ關
スル意見ヲ發表スルコト
- 三、展覽會、講習會、講演會、體育會、研究會文庫

一、講演會 講師ヲ派遣シ地方ノ開發ニ努ム
會員數及分布狀況

約三百名
專賣局 百七十名
縣病院 六十名
市内 百五十名

主ナル役員並其氏名

支部長 神尾省二
幹事 植田 勉
同 台 壽 治
贊成員 橋 爪 陽
同 小早川新一

維持方法

團員ノ積金有志ノ寄附

* * * * *

等ノ施設ヲナスコト

四、教育上ノ功績者ヲ表彰スルコト

五、視察調査ノ爲委員ヲ派遣スルコト等

會員數及分布狀況

會員正會員、特別會員、名譽會員ノ三種ニシテ左ノ各町村ニ分
布セリ

板木村	川地村	酒河村
十日市町	八次村	三次町
河内村	君田村	布野村
作木村	八幡村	吉舎町
萩原村	三良坂町	秋田村
神松村	田南村	川西村

主ナル役員並其氏名

役員

會長 世 良 茂
副會長 佐島豊一郎
理事 原田英男 同 井上政市
同 森保良一 同 森岡憲治

理事 吉光 昇

資産 (種目別)

基金一萬六千三百七十五錢

維持方法

會費補助金寄附金基金利息等ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 一、八九二、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、四九四、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 二、〇八九、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

百八十五圓 昭和二年度 縣費補助

名稱 佐伯郡佛敎奉公會

事務所所在地 佐伯郡二十日市町四十番ノ一

創設年月日 大正十年十一月十九日

經營主體又ハ代表者 代表者 德澤龍象

沿革概要

大正十年十一月時ノ郡長辻野三郎氏ノ主唱ニ依リ、社會教化、融和事業及釋放者保護事業等ヲ目的トシテ本郡各宗寺院住職ヲ中心會員トシテ組織シ爾來今日迄該事業ニ邁進シツ、アリ

目的及事業種類

- 一、思想善導及社會改善ニ關スル適切ナル事項
- 二、釋放者保護事業ニ關スル事項
- 三、融和事業ニ關スル事項
- 四、濟貧恤救ニ關スル事項
- 五、其他本會ノ目的ヲ達スル必要ナル事項

會員數及分布狀況

各宗寺院住職及町村長百二十六名

分布狀況

佐伯郡一圓

主ナル役職名並其氏名

名稱 社團法人 豊田郡教育會

事務所所在地 豊田郡忠海町

創設年月日 大正十二年四月九日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 社團法人

二、代表者 福間典海

沿革概要

明治二十四年一月私立豊田教育會ト各所少數ノ會員ニテ創設シ漸次發達世ノ進運ニ伴ヒ遂ニ大正十二年四月九日組織變更社會法人トナシ以テ今日ニ及フ

目的及事業種類

- 一、目的 郡教育ノ普及上進ヲ圖ル
- 二、事業

- 一、教育ニ關スル研究調査
- 二、講習會、研究會、展覽會、體育會
- 三、視察員派遣
- 四、活動寫真利用各種ノ講演會

會長 德澤龍象

副會長 佐和隆惠

理事 松野誓成

同 水戸圓教

同 竹林地曉雲

故選 義貫

西澤 天海

西山 晃曉

中村 善雄

資産 (種目別)

金二百七十三圓

維持方法

會費、寄附金及補助獎勵金ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 一八〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 六〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 一二〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

司法保護事業、獎勵金及補助會助成金下附アリタリ

五、會誌又ハ圖書發行

六、其他目的達成上必要ト認メタルコト

會員數及分布狀況

會員數 八百十二人

郡内各町村ニ於ケル小學校教員及町村有志者

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 長 福間 典海

副會長 領田 元太郎

常務理事 松浦 正彦

ロ、職員

主 事 加賀美 一松

資産 (種目別)

一、基本金二千六百二十三圓八十一錢

二、器具其他三千三百五十圓

合計五千九百七十三圓八十一錢

維持方法

會費、寄附金、補助金、其他收入

昭和二年度豫算額 歳入 四、五八五、〇〇

昭和二年度決算額 歳出 三、九六二、三三

昭和三年度豫算額 歳入 四、四三五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

三百五十七圓 縣費補助金 昭和二年度

二千圓 町村補助金 同三年度

名稱 社団法人 深安郡教育會

事務所所在地 福山市宇東町六百八十二番地

創設年月日 大正十二年四月十三日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社 團 法 人

ロ、代表者 石井貞之介

沿革概要

明治二十五年ノ頃深安沼隈二郡内ノ教育者カ相謀リ西備

教育會ヲ創立シ同三十年ノ頃芦品郡内ノ教育者ヲモ合セ

タリシカ同四十年ノ頃芦品郡分離シ同四十二年ノ頃沼

隈郡別レ大正五年七月福山町ニ市制ヲ實施セラレタル結

果西備教育會ノ解散式ヲ學クルト共ニ深安郡教育會ノ發

會式ヲ行ヒ同十二年四月文部大臣ノ認可ヲ得テ社団法人

トナシ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 深安郡ノ教育ニ志シアル者提携共同シテ教育

ノ普及上進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、教育ニ關スル研究調査ヲナスコト

二、講習會、講演會、研究會等ノ施設ヲナスコト

三、教育上有益ナル事業ノ援助獎勵又ハ斡旋ヲナスコト

四、其他本會ノ目的ヲ達スルタメ必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

イ、會員數 三百四十二人

ロ、分布狀況

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長理事 石井貞之介

副會長理事原 靜一郎

理事 木村 佐吉 同 堀 寬 吾

同 高垣 次郎 同 藤井萬太郎

同 藤井時太郎

ロ、職員

專任幹事 畑吉之助

資産 (種目別)

廣島縣農工債券 一萬九千百圓

基本金 六百六十四圓三十三錢

活動寫真器械 一組 (此價格一百圓)

維持方法

基本財産ヨリ生スル收入、深安郡各村ノ補助金本會員ノ會費及

其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	三、二一九、〇〇
	歳出	三、二〇七、三二
昭和二年度決算額	歳入	二、七九六、一一
	歳出	三、二五四、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	
	歳出	
奨励金並補助金下附ノ有無		
金二百八圓	廣島縣ヨリノ補助金	昭和二年度

名稱 社團法人 廣島市教育會

事務所所在地 廣島市國泰寺町三九番地廣島市役所

創設年月日 大正十二年五月七日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人

口、代表者 吉田賢龍

沿革概要

大正六年十一月創設

大正十二年五月社團法人ニ變更今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 教育ノ普及振興ヲ目的トス

口、事業 社會教育、小學教育ノ援助、市民體力ノ向上

教育輿論ノ作興

會員數及分布狀況

廣島市内 一千五百八十三名

主ナル役職名並其氏名

會長理事 吉田賢龍

副會長同 野田藤馬

常務理事 中 邑 元

理事 淺賀辰治郎 同 古賀圓太

同 熊手源藏 同 濱田惣右衛門

主 事 吉田房一

資産(種目別)

基金

債券額面金一萬八千八百圓

預金三百六十一圓十三錢

維持方法

會費、基金利子、補助金寄附金

昭和二年度豫算額	歳入	七、四七五、〇〇
	歳出	六、六六一、〇一
昭和二年度決算額	歳入	四、八一四、二八
	歳出	七、二二五、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	
	歳出	
奨励金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)		
四百七十六圓	縣補助	昭和二年度
千五百圓	同	同三年度
千五百圓	同	同三年度

名稱 社團法人 安藝郡教育會

事務所所在地 安藝郡海田市町字中組百三十五番地ノ二

創設年月日 大正十三年一月十三日

(社團法人組織前ノ創立ハ明治二十五年)

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人

口、代表者 天野兩石

沿革概要

本會ハ實ニ明治二十五年ノ創立シテ郡内教育者ノ一部ト有志ノ組織ニカ、ルモノニシテ其始メヤ數ニ於テ事業ニ於テ實ニ微々タルモノナリシカ會員ノ持久力ト一般教育者ノ自覺ト世運ノ隆盛トニ依リ漸次向上發展スルニ至リ殊ニ大正十二年十一月十日國民精神作興ノ詔書發せラル、ヤ基礎ノ強固ト事業ノ發展ヲ期スルタメ同十三年一月十三日社團法人トシテ益々隆運ニ向ヘリ近時都市接續ノ數ヶ町村ハ市ニ併合セラレ本會ノ管轄狹少トナリ經濟上ニ減收ヲ觀ルニ至リシモ經營上聊カ危憂ヲ來スコトナク事業ハ駸々乎トシテ微動タモセス今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ安藝部ノ教育ニ志アルモノ相提携共同

シテ教育ノ普及發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、教育ニ關スル研究調査ヲナス
- 二、講習會、講演會、展覽會、體育會、研究會等ヲ開設ス

- 三、圖書館博物館等ヲ設置ス
- 四、教育視察員ヲ派遣スルコト
- 五、會報ヲ發行
- 六、其他本會ノ目的ヲ達スルタメ必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

會員數一千二百五十名ニシテ郡内ノ教育者全部ト有志ノ一部トヲ以テ組織シ名譽會員六名、特別會員八名、終身會員九十七名其他ヲ通常會員トス

主ナル役職名並其氏名

- 會長 天野 兩石
- 副會長 岩澤 熊助
- 理事 長尾兼太郎 同 熊中利三
- 同 大 林 薫 同 丸石 壽夫
- 同 友澤善次郎

- 常務理事 宮庄 末一
- 主 事 佐々木 壽三郎
- 書 記 田 中 義 雄

資產 (種目別)

- 一、基本 金 三千五百六十圓
- 一、圖書其他器具 二千圓
- 一、預 金 一千七十五圓
- 一、未徵集金 一千九百二十圓
- 合計 八千五百五十五圓

維持方法

會費並ニ町村負擔金縣獎勵金、寄附金及其他ノ收入ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額	歲入	六、九七七、〇〇
	歲出	六、〇九五、〇〇
昭和二年度決算額	歲入	七、四一七、〇〇
	歲出	六、〇九五、〇〇
昭和三年度豫算額	歲入	七、一八六、〇〇
	歲出	七、一八六、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無		四百五十二圓 昭和二年度

名稱 廣島生活改善研究會

事務所所在地 廣島市社會課

創設年月日 大正十三年八月

經營主體又ハ代表者 代表者 戶津川 繁藏

沿革概要

大正十三年八月廣島市社會課ノ主催ノ許ニ廣ク廣島市中ニ趣旨書ヲ配布シ會員ノ募集ヲ行ヒタルニ中流家庭婦人主婦ノ賛同ヲ得、會員五百名トナリ市長ヲ總裁ニ戴キ社會課長ヲ會長トナシ生活改善ニ關スル講演會、講習會、展覽會ヲ開會シ視察、見學研究調査等ヲ行ヒ會員中ニハ講師トシテ卓越セル教師アリテ遠ク他府縣ニ出張出講スル者ヨリ漸次會員ヲ増加シ目下六百五十ヲ擁シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的

- 一、生活改善ノ宣傳及實行ノ促進
- 一、其他生活改善上必要ナル事項

口、事業 目的ニ沿フ爲メ評裁、編物、料理家庭研究等ノ講習會ヲ開催シ時々必要ナル講演會、展覽會見學調査等ヲ實施ス

會員數及分布狀況

六百五十名

分布狀況

廣島全市及市外隣接町村ニ約四十名アリ

主ナル役職名並其氏名

- 會長 戶津川 繁藏
- 幹 事 阿 部 秀 高
- 同 村 上 九 郎

維持方法

毎年市ノ補助金百圓ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額	歲入	一三〇、〇〇
	歲出	一三〇、〇〇
昭和二年度決算額	歲入	一三〇、〇〇
	歲出	一三〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歲入	一三〇、〇〇
	歲出	一三〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
廣島市補助金百圓下附

名稱 國本社廣島支部

事務所所在地 廣島市大須賀町六十五宮原彦一方

創設年月日 大正十四年十月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 田部正壯

沿革概要

- 一、大正十四年十月十一日發會式當日男爵平沼本社長以下數名廣島高等工業學校講堂ニ於テ大講演會公開
- 二、大正十五年十月五日男爵平沼本社長以下數名來廣同上講堂ニ於テ大講演會公開
- 三、昭和三年八月山車出動軍隊慰問ノ爲メ當支部會員ノ特志ニヨリ本社へ金品ヲ出捐ス

目的及事業種類

名稱 國本社吳支部

事務所所在地 吳市役所内

創設年月日 大正十四年十一月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 澤原俊雄

沿革概要

國本ヲ固クシ國體ノ精華ヲ顯揚スル爲メ大正十四年十一月十三日支部ヲ設立セリ

目的及事業種類

- イ、目的 國本社ノ趣旨ヲ實行スルヲ以テ目的トス
- ロ、事業
 - 一、國家並ニ國民生活ニ關スル諸般ノ事項ノ攻究
 - 二、德行ノ獎勵
 - 三、雜誌並有益ナル著作物發行及紹介
 - 四、講演會開催
 - 五、其他必要事項

會員及分布狀況

- イ、目的 國本ヲ固クシ國體ノ精華ヲ顯揚スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、國家並國民生活ニ關スル諸般事項ノ攻究
- 二、德行ノ獎勵
- 三、雜誌並有益ナル著作物ノ發刊及紹介
- 四、講演會ノ開催
- 五、其他必須ノ事項

會員數及分布狀況

イ、會員數 二九〇名

ロ、分布狀況 縣下一圓ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

支部長 田部正壯
常任幹事 宮原彦一

維持方法

必要ニ應シ本社ヨリ支辨ヲ受ク

イ、會員數 四百五十五名

ロ、分布狀況 吳市及附近町村ノ一部

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

支部長 澤原俊雄

評議員 小早川隆次

ロ、職員

幹事 小早川隆次

維持方法

會費及寄附金、其他ノ收入ニ依ル

名稱 勤儉獎勵廣島市聯合婦人會

事務所所在地 廣島市役所社會課内

創設年月日 大正十四年十一月

經營主體又ハ代表者 代表者當分ノ内 廣島市社會課長

沿革概要

從來各婦人團體毎ニ勤儉獎勵其他ノ教化事業ニ從事中ノ處勤儉獎勵運動ハ一團トナリテ協調スルノ効果アルヲ認メ茲ニ團結スルニ至リタリ

目的及事業種類

イ、目的 勤儉獎勵ノ協調運動ヲ以テ目的トス
ロ、事業 講演會、宣傳票配付、講習會、活動寫眞會等ヲ行フ

會員數及分布狀況

會員數約四萬八千三百三十四人ニシテ加入團體四十八團體ナリ

主ナル役職名並其氏名

聯合會トシテハ別ニ役職員ヲ設ケス必要ニ依リ其都度之ヲ設ク平素ハ加入團體ノ長ト連絡ヲトル

維持方法

加盟ノ團體負擔トス

昭和二年度決算額

歳入 一、二〇、〇〇
歳出

昭和二年度決算額

歳入 一、二〇、〇〇
歳出

昭和三年度決算額

歳入 五〇、〇〇
歳出

名稱 廣島縣同明會

事務所所在地 廣島市寺町廣島別院内

創設年月日 大正十四年

經營主體又ハ代表者 代表者 赤松慈恩

目的及事業種類

イ、目的 融和促進ヲ期スルニアリ
ロ、事業 講習會、講演會、雜誌「はらから」發刊

主ナル役職名並其氏名

會長 赤松慈恩

名稱 廣島縣神職會速谷神社支會

事務所所在地 佐伯郡平良村

創設年月日 大正十五年八月二十日

經營主體又ハ代表者 代表者 山田 厲

沿革概要

大正十五年八月二日廣島縣神職會規約改正ノ件決議セラレ其ノ筋ノ認可ヲ得タルヲ以テ同月二十日日本支會ヲ創立ス

目的及事業種類

イ、目的 團體ヲ講シ神社ノ隆盛ヲ圖リ教化訓育ニ資スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 神社ノ整善及ヒ神職ノ風紀動情ヲ督勵スルコト、神徳ヲ講明シ斯道ニ關スル思想ノ涵養普及ニ努ムルコト、公共事業ニ協賛シ民風民政ノ裨補ニ努ムルコト、神職ノ修養ノ爲研究會及講習會ヲ開クコト

會員數及分布狀況

會員數 五名

主ナル役職名並其氏名

會長 山田 厲

副會長 山内 眞

幹事 磯貝 潔

維持方法

寄附金、會員負擔金ニ依ル

名稱 廣島縣神職會安佐郡支會

事務所所在地 廣島縣安佐郡祇園村大字北下安

創設年月日 不詳

經營主體又ハ代表者 代表者 牧原直一

沿革概要

明治初年廣島縣神職管理所設置セラレ郡ニ管理支所ヲ置

ク當時支所長玉木巖雄副長牧原喜三郎タリ、後廣島縣神職會ト改稱郡ヲ支會ト改ム、支會長ハ代々郡長ナリシモ郡廢後神職中ヨリ互選ス

目的及事業種類

イ、目的

- 一、神職ノ一致協力ヲ圖リ神社ノ發展ニ努ム
- 二、國體ヲ闡明シ思明善導民風作興氏子ノ教化訓育ニ努ム
- 三、神職ヲシテ地方公共團體事業ニ協翼シ國民思想善導ニ努ム

ロ、事業 講習會、講演會、宣傳

會員數及分布狀況

會員數 二十名
分布狀況 安佐郡及廣島市、安藝郡、高田郡

主ナル役職名並其氏名

支會長 牧原直一
副支會長 藤川柳太郎

幹事 渡邊幸人

同 玉木龜久千代

維持方法

寄附金及補助金氏子割、神職割ヲ以テ維持

昭和二年年度豫算額	歳入	六、八八〇、〇〇
	歳出	六、六二五、七〇
昭和三年年度豫算額	歳入	七、〇三〇、〇〇
	歳出	

名稱 社團法人 比婆郡自治教育會

事務所々在地 比婆郡庄原町大字庄原一四二四番地

創設年月日 昭和二年三月三十一日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人
ロ、代表者 小山寛藏

沿革概要

館ノ開設

- 四、功勞者、篤行者、優良兒童ノ表彰
- 五、視察調査委員ノ派遣、指導獎勵又ハ斡旋
- 六、自治教育ニ關スル各種團體及事業ノ聯絡統一並
- 七、會員ノ扶助救済
- 八、青年男女ノ指導
- 九、軍人ノ優待
- 十、其他本會ノ目的ヲ達スル爲必要ナル事項

會員數及分布狀況

イ、會員數 七百八十名

ロ、分布狀況

郡内二十二ヶ町村、町村吏員、學校教員、宗教家等

主ナル役職名並其氏名

イ、役員
會長理事 小山 寛藏
副會長理事 新田八左右衛門

大正十二年郡制廢止ニ依リ郡自治及教育ノ振興ヲ圖ルヘキ確實ナル團體ヲ組織スルノ要アリトシ元郡斯民教育會ノ二團體アリシヲ合併セントノ議起リ大正十二年一月二十一日設立總會ヲ比婆郡役所ニ於テ開催シ滿場之ヲ可決シテ名稱ヲ比婆郡自治教育會トナセリ當時社團法人ト爲サントノ議アリシモ基礎鞏固ナラサリシタメ其運ニ至ラサリシカ大正十五年九月二十三日社團法人ノ設立許可ヲ申請シ昭和二年三月三十一日之カ許可ヲ得同年四月二十日登記ヲ了シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 自治ノ振興、教育ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、自治並教育ニ關スル事項ノ調査研究及發表
- 二、機關雜誌ノ發行發賣
- 三、講習會、講演會、展覽會、體育會ノ開催及圖書

副會長理事 磯田直一
理事 小鹽誠三 同 松村萬一
同 岡田秀穗
口、職員
幹事 藤井 治

資産 (種目別)

一、基本金
五分利公債證書 三百五十圓
現金 九千二百二十九圓
二、器具其他物品 千六百七十圓

維持方法

基本財産ヨリ生スル収入、會費、補助金、寄附金其他ノ収入ニ
ヨル

昭和二年度豫算額 歳入 三、二三一、〇〇
歳出 四、〇〇三、七〇〇
昭和二年度決算額 歳入 二、〇〇三、七〇〇
歳出 二、〇〇九、五〇〇
昭和三年度豫算額 歳入 一、三一九、〇〇
歳出 一、三一九、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

金二百四十圓 廣島縣補助金 昭和二年度
金九十圓 廣島縣自治協會助成金 同二年度
金百五十圓 比婆郡庄原町補助金 同二年度
金八十五圓 廣島縣自治協會助成金 同三年度
金百五十圓 比婆郡庄原町補助 同三年度

名稱 國本社尾道支部

事務所所在地 尾道市久保町五八四ノ四

創設年月日 昭和二年六月二十四日

經理主體又ハ代表者 代表者 白神小三郎

沿革概要

國本社本部ハ東京市ニアリ當支部ハ尾道市及御調郡沼隈
那豊田郡内ニ會員ヲ有ス

目的及事業種類

イ、目的 國民精神ノ作興ト智徳ノ並進ニアリ
ロ、事業 目的達成ノ爲メ時々講演會開催

會員數及分布狀況

會員 百五十一名

但シ昭和二年十一月末現在

主ナル役職名並其氏名

支部長 白神小三郎
評議員 氏名ヲ略ス
幹事 吉川峰三郎

名稱 山陽禁酒會

事務所所在地 佐伯郡八幡

創設年月日 昭和三年一月二十三日

經理主體又ハ代表者 代表者 山根貞夫

目的及事業種類

目的 本會ハ飲酒ノ弊風ヲ打破シ風俗ヲ矯正シ心身ノ健
全ヲ圖リ社會ノ幸福安寧ヲ増進スルヲ目的トス

會員數及分布狀況

會員 八目下七十餘名

本村ヲ中心ニ六ヶ町村ト廣島市及他郡ニモ會員ハ在リ

支部ハ四ヶ所設立

主ナル役職名並其氏名

會長 山根貞夫
副會長 小林喜慶一 同 田中福一
幹事長 本家達雄
會計 今井暢臣
幹事 迫田哲司 同 下矢突徳市
同 住田烈 同 辻
同 松原幸

維持方法

會員二十歳以上ハ毎月十錢納附、但シ新聞(禁酒新聞)雜誌ヲ
配布時々篤志有志ヨリ援助アレトモ會財政ハ極メテ困難ナリ

昭和三年度豫算額

歳入 二八〇、〇〇
歳出 四

右掲載以外ノ加盟團體左ノ如シ

團體	所在	代表者
佛教聯合會	廣島市寺町本願寺別院内	藤野哲雄
眞宗安藝婦人會	同上	同上
昭和協會	廣島市國泰寺町	渡邊源一郎
吳地方同和會	吳市役所内	上島定
矯風會尾道支部	尾道市十日市町	早川智勢
斯道會	同市東御所町七〇	前田侃治
南苑禁酒會	豐田郡南生口村	谷岡國松
神職會吳市支會	吳市八幡通	大刀掛信親
同 尾道市支會	御調郡向島西村	吉原晴景
同 福山市支會	深安郡吉津村	中島博光
同 安藝郡支會	安藝郡海田市町	天野雨石
同 山縣郡支會	山縣郡加計町役場	佐々木堅磐
同 加茂郡支會	茂賀郡西志和村	三宅直馬
同 豐田郡支會	豐田郡東野町	松浦清風
同 御調郡支會	御調郡向島西村	吉原晴景

神職會沼隈郡支會	沼隈郡本郷村	岡田熊次郎
同 苜品郡支會	苜品郡府中町	倉田市之丞
同 深安郡支會	深安郡吉津村	中島博光
同 神石郡支會	神石郡古川村	妹尾貫内
同 甲奴郡支會	甲奴郡上下町	松本常民
同 比婆郡東部支會	比婆郡八幡村	中島固成
同 西部支會	同郡比和村	伊達豊記
同 南部支會	同郡庄原町宮内	田鍋元免
嚴島神社支會	佐伯郡同神社内	菊地武夫
沼名前神社支會	同郡沼名前神社金	原利道
廣島縣教育會	廣島縣廳内	御影池辰雄
吳市教育會	吳市役所内	澤原俊雄
山縣郡教育會	山縣郡加計町	加計正文
賀茂郡教育會	賀茂郡西條町五七一	山下昇
御調郡教育會	御調郡栗原町小學校松	本久吉
世羅郡教育會	世羅郡東大田村小學校	原田 穉造
沼隈郡教育會	沼隈郡松永町小學校	原直幹
神石郡教育會	神石郡油木町	岡和藤二

名稱 山口縣教化事業聯合會

事務所々在地 山口縣廳社會課内

創設年月日 昭和二年三月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 大森吉五郎

沿革概要

本縣ハ大正十三年二月以降精神作興ノ御詔書ノ御趣旨ヲ奉戴シ屢々教化講演會ヲ開催シ専ラ縣民ノ思想善導ニ努メ來リシカ更ニ教化團體ノ連絡提携ノ必要ヲ認メ大正十五年三月縣下各種教化團體並ニ教化事業従業者及各郡市町村長三百餘人ノ會合ヲ求メ中央ヨリ山川健次郎男ヲ招聘シ教化運動促進ニ關スル協議會並ニ講演會ヲ開催シ聯合會組織ヲ決議ス

昭和二年三月二十五日設立總會ヲ開催シ以テ今日ニ及フ目的及事業種類

イ、目的 大正十二年十一月十日換發セラレタル詔書ノ

御趣旨ヲ奉戴シ國民精神作興ヲ期スル爲加盟

ロ、事業

教化團體及教化事業關係者ノ聯絡提携ヲ圖リ其教化事業ヲ促進スルヲ以テ目的トス

- 一、總會ヲ開催スルコト
- 二、講習會、講演會等ヲ開催
- 三、其他目的達成上必要ナル事業

會員數及分布狀況

- | | |
|-------------|-------------|
| 一、郡神職會 九團體 | 一、郡佛教團 十一團體 |
| 一、郡教育會 八團體 | 一、町村教育會 三團體 |
| 一、縣郡天理教會八團體 | 一、金光教會 一團體 |
| 一、報德會幹部會二團體 | 一、市村教化團 二團體 |
| 以上四十四團體 | |

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

- 會長 大森吉五郎
- 副會長 田中 英

常務理事 足立文男

理事男爵 國司直行 同 村上織江

同 山根文平

幹事 藤谷彌一 同 杉山佐七

維持方法

寄附金、其他補助金ニ依ル

昭和二年年度決算額 歳入 一、〇一六、〇〇〇

昭和二年年度決算額 歳出 八〇七、六九〇

昭和三年年度決算額 歳入 一、〇〇二、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

五百圓 昭和二年度 縣補助

百圓 同 二年 內務省

六百五十圓 同 三年度 縣補助

三百圓 同 三年度 中央教化團體聯合會

名稱 玖珂郡教育會

事務所々在地 玖珂郡岩國町大字錦見第三千二百三番地

創設年月日 明治二十三年一月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 碓 俊 聰

沿革概要

往年大日本教育會ノ創設ニ尋テ山口部會設置サレ明治二十年十月岩國分會ヲ起ス是本會ノ前身ナリ。後二年餘ニシテ大日本教育會ハ各地ノ部會ヲ廢シ其ノ獨立ヲ促シ來ルニ際シ岩國分會ハ明治二十二年一月之カ獨立ヲ聲明シ私立玖珂郡教育會ト稱シ爾來事務所ヲ岩國小學校、玖珂郡役所、岩國中學校等ニ置キ郡下教育ノ振興發展ノ爲ニ活動ヲ續ケ來リシカ大正十一年十月現會長碓俊聰氏就職翌十二年七月規則ノ大改正ヲ行ヒ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本郡教育ノ改善向上ヲ圖リ兼テ教化ノ普及發達ヲ期スルヲ以テ目的トス

口、事業

一、會報ノ發行

二、教育ニ關スル調査、研究、視察及講習會、講演會、展覽會等ノ開催體育ノ獎勵

三、各種教化團體ノ指導並ニ援助

四、其他必要ノ事項

會員數及分布狀況

イ、會員數 一八〇〇名

口、分布狀況 玖珂郡下一圓

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 碓 俊 聰

副會長 津田克太郎

理事 淺田五一 同 神村五郎左衛門

同 森生惟輔 同 坂戸熊吉

口、職員

主事 龜岡助一

資産 (種目別)

一、基本金 三千三百圓

二、積立金 一千六百圓

三、器具其他物品 五百圓

合計 五千四百圓

維持方法

基本金利子、會費、補助金、寄附金及其他ノ收入ニ依ル

昭和二年年度決算額 歳入 三、三六八、〇〇

昭和二年年度決算額 歳出 三、一四一、五二

昭和三年年度決算額 歳入 三、〇二四、一六

昭和三年年度決算額 歳出 三、四六八、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

金九百九十八圓 山口縣ヨリノ補助金昭和二年

金七百三十九圓 同上同三年度

名稱 小 鯖 村 教 化 團

事務所所在地 小鯖村役場内

創設年月日 昭和二年七月二十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 小鯖村長ノ職ニアル者

沿革概要

本團ハ昭和二年七月二十八日發會式ヲ舉ク

本團ハ大正十五年東宮殿下行啓記念トシテ設立シタルモ

ノナリ

目的及事業種類

イ、目的 本團ハ東宮殿下行啓記念トシテ設立シ常ニ聖旨ヲ奉戴シ國民精神ヲ興ヲ期スル爲メ村内各種團體トノ聯絡提携ヲ保チ教化ノ普及徹底ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、本團主催ノ村内各種團體聯合總會ヲ開催スルコト(毎年一回五月二十八日)

二、評議員會ヲ開催シ時運ニ適應セル教化施設ヲ協定スルコト(毎年四回)

三、篤行者ノ表彰ヲナスコト

四、其他目的達成上必要ナル事業

會員數及分布狀況

本團ノ團員ハ左ノ通り

- 一、神職全部
- 一、寺院住職全部
- 一、役場吏員全部
- 一、學校教職員全部
- 一、在郷軍人分會長
- 一、産業組合長
- 一、村農會長
- 一、青年團長
- 一、處女會長
- 一、婦人會長
- 一、村内醫師全部
- 一、村會議員全部
- 一、村報德會長
- 一、佛教少年會長
- 一、社會方面委員
- 一、各區長全部
- 一、其他本團ノ趣旨ヲ賛成シ評議員ノ承認ヲ經タルモノ

主ナル役職名並其氏名

團 長 小 鯖 村 長

副團長 小鯖小學校長

評議員	田 中 鐵 道	同	德 本 基 二
同	山 根 幸 雄	同	重 宗 壽 延
同	重 宗 常 助	同	古 屋 正 倫
同	鰐 石 信 一	同	三 浦 五 一
同	伊 本 安 一	同	山 下 龍 治
同	柏 野 久 四 郎	同	中 川 清 美
同	中 村 龜 吉	同	伊 藤 勇 之 介
同	篠 原 榮 之 進	同	重 宗 隆 敏

維持方法

寄附金及補助金其他ノ收入ニ依ル

昭和三年年度豫算額 歳入 七六、〇〇

獎勵金補助金下附ノ有無

六十圓 村費補助金 昭和三年度

名稱 美 禰 郡 教 育 會

事務所所在地 美禰郡大田町

創設年月日 明治二十四年六月七日

經營主體又ハ代表者 代表者 木 村 信 作

沿革概要

本會ハ明治二十四年六月七日ノ創立ニシテ私立美禰郡教育會ト稱シ當時ノ郡長富岡清軌氏ヲ會長ニ推戴セリ其ノ後明治三十二年五月會則ヲ改正シ會員ヲ増募シ本會ノ基礎ヲ鞏固ナラシメ、會長トシテ中山修三氏ヲ推シ、大正三年九月更ニ會則ヲ修正シ會名ヲ美禰郡教育會ト改メタリ、爾來歴代ノ郡長ヲ會長トシ學校教育ヲ補ヒ社會教育ノ普及及發展ニ寄與セリ、殊ニ大正四年會長桑原昌資ノ時御即位大典ヲ紀念シ奉リ、且ツ本會ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル爲メ基金蓄積ノ財案ヲ樹テ五ヶ年間ヲ期シテ基金四千圓ヲ蓄積シ、現在實ニ四千六百圓ニ上レリ、大正十五年郡役所廢止ト同時ニ現會長木村信作事業ヲ繼承シテ

以來着々事業ノ進展ヲ計リツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ國民道德ヲ鼓吹シ學術並ニ社會的識見ノ向上ヲ計ルヲ主眼トシ學校教育ヲ補ヒ社會教育ノ普及進展ヲ助クルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、學校教育上ノ研究調査施設
- 二、青年團處女會及社會教育ノ研究調査施設
- 三、前各項ニ關スル視察調査
- 四、其ノ他教育上有益ト認ムヘキ事項

會員數及分布狀況

郡下各町村ニ會員ノ分布ヲ有ス

現在會員 六六〇名(一般會員)

教員會員 一五〇名

計 八二〇名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 木村信作
 副會長 都通久藏
 理事 都通久藏 同 後藤與市
 同 末永三愛 同 栗屋鐵藏
 同 鮎川甲太郎 同 山本寶作

ロ、職員

書記 中坪忠一

資産(種目別)

銀行預金基本金 四千六百圓

維持方法

基本財産現金四千六百圓ノ銀行預金利子、縣費補助、町村寄附金等ヲ以テ經營ス

昭和二年度豫算額 歳入 二、三四五、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 二、七七三、四七

昭和三年度豫算額 歳入 二、七五〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

六百二十八圓 昭和二年度 縣費補助金
 四百九十九圓 同 三年度 同上

名稱 山口縣大島郡神職會

事務所々在 地 大島郡蒲野村美蒲神社々務所

創設年月日 明治四十二年六月

經營主體又ハ代表者 代表者 橋爪安定

沿革概要

明治四十二年六月創立以來郡内神職協同一致敬神思想ヲ鼓吹シ國民精神ノ作興ニ努メ今日ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 神社行政其他必要ナル事項ヲ研究討議シ敬神思想ヲ鼓吹シ併セテ民力涵養地方改良國民精神作興ニ努ム

ロ、事業

- 一、各神社ニ於テ講演會ヲ開催ス
- 二、神宮太麻曆ノ頒布ヲナス

會員數及分布狀況

大島郡内三町九ヶ村ノ各神社ニ奉仕スル神職十九名

主ナル役職員並其氏名

大島郡神職會長 橋爪安定
 同副會長 太田重勝

維持方法

會員ノ離出金及太麻曆頒布收入金ヲ以テ之ニ充ツ

昭和二年度豫算額 歳入 一五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一五〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 一五〇、〇〇

但シ講演會開催費ハ各神社ノ負擔トス

名稱 社團法人山口縣大津郡教育會

事務所所在地 大津郡淺川町大字東淺川宮城ノ下

第千三百四十八番地

創設年月日 明治三十六年二月十日

經營主體又ハ代行者 イ、經營主體 社團法人

口、代表者 松岡唯介

沿革概要

明治三十一年十一月七日發會式總集會開催會員二百四十九名明治三十六年二月十日社團法人トナル、特別會員ノ會費ハ基金トシテ積立ツ大正九年基金増募二千九十九圓ヲ得昭和四年度於テハ六千圓ヲ超過スルニ至レリ
創立以來小學校教育社會教育ノ向上及實業學校、高等女學校中等學校等ノ創立ニ直接開校援助セル所多シ
大正十五年一月社會教育ノ資料トシ六千餘圓ヲ投シテプライ映寫機ヲ購入セリ

目的及事業種類

口、職員

主 事 松岡唯介

資産 (種目別)

- 一、現金 五千九百五十圓
- 一、債券 勸業債券額面二十四券十二枚 (二百四十圓)
- 一、機械 活動寫真器械一臺 (千五百圓)
- 一、圖書 (二百五十二圓十五錢)

維持方法

會費、寄附金、基金利子、補助金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	歳出
	二、六九九、二〇	
昭和二年度決算額	歳入 二、八六一、三九六	歳出 二、二四七、〇六〇
昭和三年度豫算額	歳入 二、七九二、〇五〇	歳出
獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)		
七百七十八圓	山口縣費補助金	昭和二年度
千五百一十一圓	大津郡町村補助金	同 二年度
五百八十四圓	山口縣費補助金	同 三年度
千百三十五圓	大津郡町村補助金	同 三年度

イ、目的 教育ノ普及改良及其ノ向上

口、事業

- 一、通俗教育ノ普及ヲ圖ルコト
- 二、體育ノ獎勵ヲナスコト
- 三、講演會ヲ開催スルコト
- 四、學事調査及社會教育調査ヲナスコト
- 五、兒童ノ獎學
- 六、圖書購入

會員數及分布狀況

一六七九人

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

- 理事長 松岡唯介
- 副理事長 藤岡政治郎
- 理事 中村新之介
- 同 川崎雅太
- 同 大深萬吉

名稱 山口縣阿武郡教育會

事務所所在地 阿武郡萩町元阿武郡役所内

創設年月日 明治四十一年二月

經營主體又ハ代行者 代表者 岡田誠道

沿革概要

本會ハ明治十六年帝國教育會ノ前身タル大日本教育會創設セラレ縣ニ山口縣教育會ヲ置キ郡ニ支會ヲ置キテ之ニ從屬セシメシニ起ル其後二三ノ改廢ヲ經テ明治三十九年十二月教員間ノ親睦及知識ノ交換ヲ目的トシテ組織シタル阿武郡教員會ヲ改メテ明治四十一年二月阿武郡教育會ト名ツケ今日ニ至レルモノナリ

目的及事業種類

イ、目的 本郡教育ノ普及及上進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業